明治卅八年十二月十五日第三種郵便物認可　（日刊）
夕刊　滿洲日報　七月二十日
昭和五年七月二十一日　THE MANSHU NIPPO　（月曜日）　第八千六百九十六號　（一）

金融界共同調査の機關設立具體化
銀行營業の堅實化を其目的とする

【東京十九日發電通】日本銀行では十九日午前十一時より國際シンジケート銀行代表者の會合を催し九月一日償還期限の五分利償券借替條件並に棄償引受に付き協議した後、過般の財界對策懇談會以來問題となつてゐた金融業者の共同調査機關設置計畫につき池田成彬氏より說明あり滿場一致の贊意を表し東京、大阪、名古屋の各シンジケート銀行に於て具體的立案を爲し追て實現を期することゝなつたが該機關は英國の產業助成會社又は證券投資會社と全く異り我國獨得の計畫によるもので今日迄に大體意見の一致を見たる點は

一、株式組織とすること
一、資本金は大體職員五十名位の人件費を支出するに差支なき程度とすること
一、主要產業部局の顧問に現役に非らざる經驗者を擧ぐる事
一、社長には現役に非らざる斯界の權威者を擧ぐる事

等であつて調査の目的は現在の個々の調査機關の缺點を補ひ完全なる科學的調査を爲し銀行營業の堅實を期せんとする

獨逸國會解散
九月に總選擧

【ベルリン十七日發電通】ヒンデンブルグ大統領は本日ドイツ國會に對し解散を命じた理由はドイツ國會が大統領の提出せる課稅改正令に對する決議の結果三十六票對二十一票で否決せる爲めである總選擧は來る九月十四日以前に行ひ新國會は十月十四日以前に召集する旨發表した

農村の救濟を協議
帝國農會で農村の負擔輕減を近く政府に要望する

【東京十九日發電通】陰慘なる不景氣は農村を極度に窮乏せしめ農民は自暴自棄に陷り稍もすれば直接行動化せんとする傾向は全國の農民に及び事態漸く切迫を告げて來たので帝國農會では十八日午前十時から同會事務所に緊急幹事會を招集し農林省からも係官列席地方實情の報告に次ぎ對策を協議したが、各代表は交々立つて農村經濟不安の深刻化を訴へ全般に自暴自棄の氣風の橫溢してゐる旨を陳べたが、此際何等かの對策を講ぜない限り憂ふべき事態が招來されるであらうと憂慮されてゐる、目下考へられてゐる對策は農村救濟資金の支出、自給自足の獎勵、農產物加工の講習、農民負債の有利借替等であるが、農村の窮況を打開するには手緩い限りで期待されてゐない、帝國農會では引續き全國評議員會、全國農民大會等を開催、危機に瀕した農村の救濟の爲め救濟資金の支出農村負擔の輕減の爲め官吏の減俸要求等を政府へ要望する由である

朧海線の馮玉祥氏

朧海線出動中の馮玉祥將軍はこふした簡單な服裝で百姓等と世間話をしたり、軍隊の連中に百姓の耕作手傳をさせたりしてゐる、（上圖）は蘭封附近で百姓耕作の手傳をなしつゝある馮軍の下士卒（下圖）は砂の上に腰をかけ乍ら耕作を眺めてゐる呑氣な馮玉祥將軍（寫眞は最近戰線より北平へ歸つた支那側要人の撮影）

對支文化事業を國民政府が妨害
留學生の補助拒絕命令

【上海十九日發電通】國民政府教育部は對支文化事業を日本の對支文化侵略なりとして妨害的態度を執つてゐるが、最近留日學生及び日本見學の支那學生は今後對支文化事業部の補助を受けるなとの命令を發した

擴大會議と各方面の情勢

汪精衞氏

【天津特電二十日發】左右兩派の合流にて國民黨擴大會議開催の宣言を見たが會議の成立に就いて次の如き觀測が行はれてゐる

汪精衞氏は職名宣言に郭泰祺氏の代理で署名したが其從來の主張から果して眞實に贊成したか疑問だ現に陳公博氏の許に來たと言ふ贊成電報は發表されてゐない、飽くまで廣東第二期委員を國民黨の正統なる實體と認めてゐる汪精衞氏が西山會議派の共產成宣言に言ふ共產黨驅逐の本家論を肯定するかどうか曾て妥協を說かず理論鬪爭に終始してゐる汪氏には恐らく大なる不滿があらう、不滿あれば北上は殆ど難しいと見らなくてはならぬ

西山派

西山會議派は共產黨呼りをつゞけて來た關係から汪精衞氏と果して合流をつゞけ得るか、假りに擴大會議が成立しても實力派と提携して左派に對抗することにならう故に兩派の爭鬪は今後もつゞけらる…ものと考へらる

閻錫山氏

閻錫山氏は兩派を妥協せしめたことに就いては成功したが右の如き關係から政府を黨部の上に置いて果して確乎たるものに組織し得るか況んや反蔣派の實力は僅に黃河流域を出でざるに於てをやだといふのである

米國上院の軍縮表決
來る二十二日

【ワシントン十九日發電通】アメリカ上院特別會議は十九日ロンドン條約の各條項の逐次朗讀を開始したが、これが終つて後總ての保留提案に對する投票を行ひ其の翌日愈々條約に對する最後の表決をなす事になつたが、各派とも月曜前の表決をせぬ事に同意したから結局最後の表決は二十二日の火曜日となる模樣である

馮、閻兩氏との間には完全な諒解がある
香港から赴燕の途中長崎で汪兆銘氏の時局談

【長崎十九日發電通】反蔣介石氏の旗幟を掲げ雌伏久しき支那革命の大立物汪兆銘氏は北方軍閥に擁立され十九日午後三時長崎に入港の郵船梧州丸にて香港より到着北平に向ふが、氏は陳歩韓と變名し一行十名である、氏は語る

南京政府樹立の際は自分も同じ革命の志を有し蔣介石を支持したが、蔣の政治下に於ける支那は內亂絕へず、これ蔣の惡政の結果で遂に自分も反蔣的態度を採ることになつたのである、新政府の抱負は專政々治を廢し民主主義を確立するの一語に盡きる、今や反蔣各派は共同戰線を張り余と馮、閻との間には完全なる諒解を有してゐる、北方新政府の顏觸は今の處不明である樹立の上は卽時議會を開き度いと思ふ、對張學良との關係は張は目下嚴正中立の態度を探つてゐるが今後我等に興するを希望する對外政策は孫文の遺志に依り親善主義を採る

なほ一行は上陸後ジヤパンホテルに滯在し門司發天津行便船につき照會中にて便船の都合にて大連經由北平に向ふかも知れぬが、船會社よりの返電なき爲め出發の期日經由地不明である

津浦線督戰のため閻氏濟南へ出發
石家莊で覃振氏と會見して政府問題を協議す

【北平特電二十日發】閻錫山氏は十九日正午太原發石家莊に着し同夜擴大會議代表覃振氏と正太ホテルで會見し政府問題を議し、直ちに形勢重大に變化せる津浦線の督戰の爲め濟南に出發した

覃振氏と記者團石家莊到着

【北平十九日發電通】擴大會議代表覃振氏と日支記者團は今朝石家莊に到着したが閻錫山氏より卽時太原發石家莊に向ふべしとの電報に接したので一行は氏の來着を待ち會見し明日徐州へ向ふ事となつた、閻錫山氏の來石は津浦線の形勢に鑑み總司令部を一歩進めたもので或は直ちに前線に出動して督戰すべしと見られる

昭和製鋼所問題で仙石總裁と記者團の問答

【東京特電十九日發】昭和製鋼所問題は既報の如く去る十四日關係閣僚會議に於て遂に結論に至らず散會したので其後此問題が果して如何なる解決に向ふかは各方面の注目を惹いてゐるが、これに就いて仙石滿鐵總裁は十九日午後滿鐵東京支社に於て滿鐵出入記者と會見の際同問題を中心として左の如き問答を交した

記者　齋藤總督とお會ひになつたか
總裁　イヤ、未だ
記者　何時會はれるのか
總裁　何で齋藤と會はねばならぬのぢや
記者　昭和製鋼所の問題で總裁に會ふ心算だと齋藤さんが言つて居た
總裁　フン、左樣か
記者　一體此の問題で朝鮮總督と會ふ必要はないのか
總裁　先方ではあるか知らぬが此方では別に必要は感じて居ない
記者　昭和製鋼所問題も十四日の會議では結論に至らなかつたが第二回は開くかどうか
總裁　ソレは分らん、必要があれば開く、無ければ開かんだらう
記者　ソレでは問題は一體什うなる、中止するのかソレともやるのか
總裁　これから調査の上決めるのぢや
記者　ソレに就いて拓務省では近々何か聲明書を出すとの噂だが
總裁　餘計な事ぢや、拓務省がそんな事をする筋合では無いのぢや
記者　餘計な事と言はれるのが監督官廳ではないか、現に拓務省は昨年昭和製鋼所事業の中止命令を出したぢやないか
總裁　ソンな命令なんか受付けん直ぐ戻して了つたヨ、認可するとかせんとか云ふことなら話は分るが、事業をやるかやらぬかと云ふ樣な場合幾ら監督官廳でも餘計な事をする必要はない
記者　總裁の希望する政府の回答は有つたか何うか
總裁　大藏省から回答がないので十四日の會合となつたのぢや
記者　それで政府の回答があつた譯か
總裁　左樣ぢや、そして後から種々の參考書類を呉れたヨ
記者　では問題は什うなるのか
總裁　その參考書類を調べて良く研究して極めるのぢや
記者　此の研究調査は何時終るか
總裁　ソレは未だ分らん
記者　一年後か二年後にでもなるのではないか
總裁　フ・ウン、そうかも知れん
記者　更らに專門家をして實地調査させるといふのは事實か
總裁　それは近い內の仕事ぢや、政府に關係無くやるのぢや
記者　此の仕事はもう政府に關係なく極めると云ふ意味か
總裁　ソウぢや、それでも遲れぬとなると止めるばかりぢや
記者　理事はもう全部決定したか
總裁　未だ三人殘つて居る
記者　其の內定の分を入れて理事は何人になるか
總裁　合計八人ぢや
記者　もう增員しないか
總裁　規定は四人以上ぢや、何人でも增そうと思へば增せる
記者　十二部も出來たから後は社員理事でも採用したら怎うか
總裁　適任者さへあれば……
記者　社員理事が無いので社員の士氣が沮喪せぬか
總裁　お互ひに緊張して働らけば士氣は沮喪せんぢや
記者　燈臺下暗しで案外脚許に人材が居るのでは無いか
總裁　先づ働らいて見せる事ぢや、そしたら自然認められるやうになるものぢや

滿鐵雇傭支人は金建で支拂ふ
生活費の調査に基き一般相場の換算率によらぬ

銀價の暴落は全く底止する處なく暴落に暴落を重ねてゐるので日常品の大部分を外國品に仰いでゐる一般支那人の生活費は益々騰貴しつゝあるので最も多く支那人を雇傭してゐる滿鐵では賃銀を銀建にしてゐる關係上對策を講ずる必要があるので前月から今月にかけて生活必需品六十數種について物價調査を行つた處高粱、粟其他直接生活に關係ある食料品が大部分土產である結果、加工品に比し昂騰率が少ないのと且つ一面日本品中昨今値下げした商品が多いので五等品種についてウエートを附し作表した結果は銀の相場が一割六七分の暴落であるに反して生活費は八分乃至九分見當の騰貴であることが明かとなつた、滿鐵では右生活費の調査に基いて賃銀を金に換算して渡すことゝなつたので今後も滿鐵は必ずしも市中相場に依らず滿鐵だけの換算率を設けると

遼寧省の新豫算
軍費は月二百五十萬元

【奉天特電二十日發】遼寧省の十九年度新豫算は七月から實施されてゐるが、一ケ月軍費二百五十萬元、政費百二十萬元、臨時費三十萬元、合計四百萬元で前年度に比し月額約百三十萬元の減少である

無產三派の合同大會
黨首は麻生氏

【東京廿日發電通】日本大衆黨全國民衆黨地方無產中間派合同大會は廿日午前十時より芝協調會館に開會し黨名を全國大衆黨黨首に麻生久氏を推すに決した

西園寺公御殿場へ

【御殿場廿日發電通】西園寺公は十九日興津坐漁莊より當地別莊に轉地して來た

ヘレン陛下の御離婚取消し

【ブカレスト十七日發電通】ルーマニア皇帝カロル陛下の前皇后ヘレン陛下との御離婚は取消しとなつた旨本日公式に發表された

うらる丸船客

【門司特電二十日發】廿一日大連着うらる丸乘客中の主なる者左の如し

佐藤正典、田路舜哉、向田直正、中村五郎、高砂正太郎、淺見涉、片桐康惠、寺島由松（辯護士）猪子富齊之助、藤波修、汐見三郎（同志社大學教授）程國瑞、菱刈虎之助、宮崎三郎

日曜閑話
颱風は生蕃語か
―歐洲から逆輸入さる―

七、八、九の三ケ月は日本にありては暴風雨の時季である。二百十日の前後、二百二十日となればまづ暴風雨の時節から解除され、やれ／＼といふところ。今年も早九州から日本本土、朝鮮方面を襲ひ、その餘波が、この滿洲にまで影響し、この頃、例によつて天候不順。だが本年は、支那の舊曆といふと六月が正閏の二ケ月あり、また七月も二十日といふのであるから、八月上旬頃までは大體、天候平穩と見ても、八月中旬から九月にかけて、すなはち二百十日の前後、例によつて有り難くない暴風雨に見舞はれぬとも限らぬ。實に厄介な話。

×　×

それも臺灣島附近、殊に石垣島を中心として七、八、九月の間に低氣壓が發生し、それが東支那海を東北に進行して普通、九州から日本の本土を襲ふのであ。年々識々、二百十日といへば、日本では直ちに大荒れを聯想するぐらゐになつてゐる。世界の何所にも例のないもので、これ日本の國民性、民族心理を形成するに與つて、また力あつたともいへやう。

×　×

われ／＼日本人が二百十日といふ觀念と同じやうな觀念が、臺灣の生蕃の頭にも刻みつけられ、恐ろしい大荒、大暴風雨、それがタイフーンといふ名稱で呼ばれてゐたものといふことも推測し得るのである。タイフーン、何か芝居の外題にもあつたと思ふが、とにかく何となく一種の壓迫を感ぜしめられるやうな言葉である。

×　×

タイフーン、日本でも元は大風などゝいつてゐたが、それがたゞの大風でなく、臺灣方面に起つた低氣壓の移動によつて進行する節的な特殊のものであるといふところから、これに颱風といふ新造字を當てはめることになつた。恐らく台かタイに則して臺灣に發生して吹き來るといふ意味も含めたものであらう。颱の字は支那には全くなかつた。

×　×

ところで、このタイフーンといふ言葉であるが、西洋ではすなはちギリシヤ語から來てゐる。すなはち巨人とか風の神などといふ言葉から轉化したものゝやうにいふが、西洋の文獻に徴すると字は一五六七年には Touffon 一六一〇年には Tuffon 一六八〇年には Tuffoon と呼ばれたやうに時代によつて變つて居り、例の航海家、冒險家などが、東洋から傳來したものではあるまいか。支那には大といふ字と風といふ字はあるが、タイフーンなるものゝ事實が支那の、殊に長江から以北、いはゆる中原に存在しなかつたところからすれば、それが臺灣の生蕃から歐洲の航海家、冒險家に傳はり、報告や記述として一般に歐洲へ流布せられたものと推定されぬこともないのである。

×　×

そのタイフーンに對し、われわれ新聞人が颱風の字を當てはめたなどは、最も要を得てゐるものといふべく、大風といふやうな言葉と區別したところに、颱風の特殊性の存することも承認された次第である。謠曲「翁」のうちの難解文句が、西藏語から來てゐるか、それとも北滿の韃靼などの傳來かは知らぬが、この頃、最も厄介なタイフーンなる言葉が、臺灣の生蕃語に發生してゐるといふのもマンザラではあるまい。而して吾人は、重ねて颱風なる造字をした新聞人に對し敬意を表する。（一記者）

人事

▲兒玉國雄氏（鐵道省事務官）廿日出帆はるびん丸にて內地へ
▲宮部幸三氏　同上
▲橫山正男氏（ヤマトホテル專務）同上

天氣豫報

廿一日（南東の風）曇一時晴れ

各地の溫度

	十一時	昨日最高
大連	二四・六	二八・五
旅順	二四・八	二七・六
營口	二八・三	三〇・〇
奉天	二六・七	三〇・一
長春	二六・九	二七・七

滿潮（午前五時四十分　午後五時卅分）
干潮（午前零時十五分　午後十一時十分）

九州の暴風雨被害

福岡縣下の被害 一千萬圓に及ぶ 死傷者は九十名

【福岡十九日發電通】十九日午後一時迄に判明せる福岡縣下被害は死者八名、負傷者八十二名、家屋倒潰千六百四十八戸、半潰二萬二千七百四十九戸、其の他破損七千二百七十二戸農產物被害を合せて一千萬圓に上ると

長崎縣下も損害甚大 一千萬圓突破

【長崎十九日發電通】縣警察部では全縣下の被害一千萬圓以上と見られ之が復舊には材木、煉瓦、瓦等莫大を要すべく無謀の賣値を唱へ又は賣惜みを爲すものなきを保し難きに依り十九日附管内各署に宛て不正商人の取締方を嚴命した

完全な家は一軒も無い 長崎縣郡部の損害

【長崎十九日發電通】南松浦郡中有川、奈良尾、魚目三村の倒潰家屋十、非住宅二十、發動船沈沒七和船沈沒三十、堤防決潰三、北高來郡海岸方面の住家にして完全なものなく全部を通じて倒潰一割と見られ死二、負傷八、農作物全滅の個所多し、南高來郡の内被害最も甚だしかるべしと見らるゝ東海岸方面島原町外十三ケ町村は報告未着なるも他の判明せるもの住家倒潰八十七、半潰百四十三、死者一名、負傷者八、馬の死一、西彼杵郡矢上、喜々津、日見三ケ村の住宅倒潰九十四で縣當局の談に依れば水稻の被害はさしてなかるべきも大豆、小豆、粟、西瓜其の他果實、蔬菜類は全縣下を通じて五割以上の被害と見られてゐる

熊本縣の被害

【熊本十九日發電通】熊本の被害は本日迄に判明せるもの死者四名、負傷者四名、倒潰家屋住家八十五戸、非住家百四十二戸、流失及沈沒せる船舶三十一隻

佐世保小學校 校舍全潰す

【長崎十九日發電通】長崎縣保安課に達したる佐世保市の被害は家屋の倒潰八戸、半潰十戸、佐世保小學校々舍全潰、沈沒船汽艇二隻發動機船、團平船十六隻ボート數十隻、破損五隻

東海道線開通

【東京廿日發電通】興津、江尻間故障の爲め不通となつた東海道線は二十日午前一時開通した

琴湖江大增水 附近村落危險

【京城十九日發電通】慶尚北道永川郡から洛東江に流れる琴湖江は十八日午後十一時六米增水更に二米を增せば琴湖、河陽等一帶は全滅の外ない、尚東海岸方面は船家屋の被害多く甘浦九龍浦兩港は全滅を傳へらるゝも通信杜絕の爲め詳細不明

天皇陛下御臨幸 士官學校卒業式に

竹田宮、李鍵公も御卒業

【東京十九日發電通】陸軍士官學校では十九日天皇陛下の行幸を仰いで本科四十二期學生二百十八名、豫科二十一期學生(支那學生)八十五名の卒業式を擧行した、此の日天皇陛下には午前七時四十五分御用邸御出門、同八時逗子驛御發同九時十五分東京驛御着、直ちに士官學校に行幸、諸員奉迎裡に便殿に入御遊ばされ、次で初線に御召され、校庭に於ける分列式を御閲兵の後優等生の講演を御聽取、劍術の熟演を御覽あり、再び校庭に於いて本年御卒業の竹田宮恒德王、李鍵公殿下を始め騎兵科二十二名の騎乘の妙技を天覽の後、卒業證書授與式に臨御、優等學生に恩賜の銀時計を下賜遊ばされ、十一時五十分同校御出門、午後零時五分東京驛御發、葉山御用邸に還幸遊ばされた

新選手で固む安中軍 面目一新の奉中軍

豫選大會出場チーム

地平線上の彼方に——赤い夕陽が靜かに落ちて行くとアカシヤ樹の並木をゆるがせて新綠の葉末を流れて行く一風の淸涼に今まで汗とほこりとにまみれ球に夢中になつてゐた選手達の面上には包み切れぬ緊張の色が漂ふし疲れ切つた其の瞳にも何物かを窺はなければならぬ大きな抱負も見える

安東中學チーム

[illegible]の雄安東中學チームは創立の日尚淺く僅く三ケ年しかも本年度のチームは今春新らしく組織されたと言ふてもよい程選手の變り樣で、本年三月投手内村、捕手伊東のバツテリーの外に同軍の至寶主將宮岡遊擊手、打擊を以て恐れられてゐた吉塚左翼手の卒業を見本年期待をかけられてゐた一壘の鹽坂は病氣の爲め赤痢足勝本中堅手の轉校等々!其の練習の苦しさも察するに餘りある、今春以來兩俱選手諸瀨、酒井兩氏の熱心なコーチと市川教諭の涙ぐましい指導に依つて連日血のにじむ樣な猛練習を續けてゐる、安中四百健兒の名譽を双肩に擔ひ炎熱九十度、シトシトと降りそゝぐ雨の中汗と土に諸の見分けもつかなくなつた十數名の野球部員は今や勝利目指して精進してゐる

▽——△

齋藤、牛田、中原さう言つた連中が遠慮容赦なく素晴らしい長打をカン〱と見飛ばしてゐる打擊の練習がすむと少しの休む暇もなく直にシートノックが開始される筒瀨コーチの猛烈なノックは選手の疲れを問題にせず倒れて後止む迄續けてゐる

▽——△

内野の守備では宮岡主將の後釜として中原之に變り確實なゴロの構へ投球モーションの速さ宮岡先輩にはおとらぬ好守備振一段と光つてゐる、投手板には正投手として齋藤を置き五尺六寸の長身を利して投ずる大きなアウトカーブ、第二投手としての齋藤は左利にしてサイドスローの速球に敵の打擊を封ぜんとしてゐる

▽——△

今迄の歷史をたどつて見るのに新興チームにして優勝の榮を擔つたチームは極めて少ない、然し故人も言つた伸びんとするものは先づ屈すと一路優勝の榮を目指して邁進する同軍の必勝を祈ると共に此の言葉を同軍に捧げたい

▽——△

同軍選手は二、三、四年を以て組織されはち切れる樣な元氣を以て安東市を代表して來襲する同軍の力戰は必ずやファンの期待を裏切らないであらう、安東中學チームのメンバー次の通りである

投 齋藤(三年)
捕 巻淵(三年)
一 藤枝(四年)
二 松井(三年)
三 牛田(四年)
遊 中原(四年)
左 高橋(四年)
中 桑門(四年)
右 上野(二年)
補 安房(二年)
補 山中(二年)
補 鈴木(一年)

奉天中學チーム

昨年の全滿中等學校野球豫選大會に於てイの一番優勝組たる青島中學チームと決勝し惜くも敗れた瀋陽の雄奉中チームは本年こそはとの意氣物凄く同校細川儀一氏の獻身的努力に以て充實したるメンバーを揃へることが出來た、去る十日暑中休暇に入ると同時に同校寄宿舍兩寮に合宿し猛練習を續けて居る

▽——△

チーム監督たる細川儀一氏は勿論名和校長まで炎天に汗ダク〱で練習してゐる、チームの側に出かけ必勝を期しての最善の練習を督勵してゐるその陣容は左の通りである

1 長坂久良三
2 松岡清治
3 佐々木盛雄
4 水口登志男・上田幸男
5 細野二三男
6 城戸仁
7 木村芳好・池田正明
8 齋藤俊夫
9 片山勤・萩尾護・館田利雄

監督 細川儀一
主將 松村清治

投手長坂は昨年大會にも出場し青中小平と双び稱されたが本シーズンに入るや益々元氣で後の得意とするカーブは益々冴えを見せて居る、これを援くる松村捕手は強騙な體格の持主で元氣なことは同チーム第一で、最強打者として他チームより恐れられて居る、而して佐々木水口細野城戸の各々野手は堅壘を以て誇り池田木村齋藤片山の外野の好守は松村投手をして後顧の憂をなからしめる左翼手池田はまた投手として活躍すべく左翼片山は同チーム中の最年少者で現在二年生である

昨年に比し同チームは面目一新し青中、大商の牙城に食ひ込まんとして居る、同チームの活躍こそ本大會を賑はすものと大なる期待を以て迎へられて居る(寫眞は安東中學チーム)

エ大學を押へ 明大が優勢

鶴田、佐田共に一着 汎太平洋水泳大會

【ホノルル十八日發電通】汎太平洋水泳大會第一日の成績左の如し

△千五百米自由型
一着 クラッブ(米)二十分六秒二
二着 カリリ(布)
三着 武村(明大)廿分四十三秒

△二百米平泳
一着 鶴田(明大)二分三秒
二着 馬渡(明)
三着 ソーザ(布)

△二百米自由型
一着 佐田(明)二分十八秒
二着 カリリ(布)
三着 ゾリラ(アルゼンチン)

△六百米リレー
一着 エール大學チーム 六分十九秒八
二着 フイマカニ、クラブ(布)
三着 全ハワイチーム
四着 明大

第一日の得點は明大二十八、エール大學二十一(飛込みの得點を含む)で明大はエール大學を押へた

汎太平洋水泳大會

【ホノルル、十八日發電通】第二日は前日に引續きワイキキ戰勝記念プールに開始された、此の日クラーレンス、クラッブは八百メートル自由型で十分十五秒四の世界新記錄を作つた各競技の成績左の如し

△八百米自由型
一着 シー、クラッブ(米)十分十五秒四(世界新記錄)
二着 カリリ(布哇フイカマニ倶樂部)
三着 武村清(明大)十分四〇秒
四着 安田爽喜(明大)十分五〇秒
五着 ゾフラ(アルゼンチン)
六着 リーデイ(米)

△四百米平泳
一着 ミラード(エール大學)六分二二秒六
二着 鶴田義行(明大)
馬渡は四着

△百米自由型
一着 マユエル、カリリ(布哇フイマカニ倶樂部)五九秒六
二着 バツトラー(エール大學)
三着 ブラインズ(エール大學)
佐田は六着となり佐多、浦木共に失格

△二百米背泳
一着 マイオラ、カリリ(布哇フイマニ倶樂部)二分三九秒
二着 竹村清(明大)

△八百米リレー
一着 布哇フイカマニ倶樂部 九分二九秒四
二着 明大チーム九分三七秒三
三着 エール大學 タッチの差
四着 オール布哇

第二日迄の得點
明大 五一點
エール大學 四六點

對伊デ盃戰 米國三勝

愈よ佛國とチヤレンヂ

【パリー十九日發電通】デヴイスカツプ、インターゾーンアメリカ對イタリー第二日ダブルスはイタリー組奮闘の効なくアメリカの勝となり斯くてアメリカは三勝してフランスにチヤレンジする事となつた

アリソン ヴアンリン(米) 五—七 六—二 六—四 一—六 六—三 モルプコ ガスウリニ(伊)

高松宮殿下 シヤンパンの古戰場御視察

【パリ十九日發電通】シヤンパンの古戰場御視察になつた高松宮殿下は十九日午後パリへ御歸還遊ばされた

列車顚覆は何者かの所爲

ボールドの犬釘を拔取つて 現場は全く修羅場

【ハルビン特電二十日發】五家双城堡間に於ける列車顚覆の際、二等車にあつた滿鐵社員加藤氏は救護車にて歸哈、左の如く語る

ヘットと眼を醒ますと列車はレールを外れて轉がり下を見ると水溜に一方の窓硝子を破り逃け出した、日本人は高橋隆一氏外女子供が乘つてゐたが幸無事であつた所が眞夜中の事で眞暗がりに皆目見當がつかず、荷物や懷中物を紛失したもの、重輕傷者の呻き叫ぶ聲に全くの修羅場と化し、鬼氣迫るを覺えた、原因は連日の雨に地盤が龜裂してゐたためと稱するがレールのボールドが外され、犬釘十數本拔いてあつた點からすれば單なる事故ではなく何か目的としたもので馬賊の所爲とすれば直に列車を襲擊せねばならぬが、そのことはなかつた

尚負傷者二十九名は何れもハルビンに送られ病院に收容加療中である

はるびん丸の御客さん

大商の選手を乘せて内地へ

廿日出帆はるびん丸……來る廿五日より三日間京都において開催される全國青年演武大會に出場の爲當地大連商業劍道部選手梅宮正外五名が高野教諭に引率され、同じく來る廿七日大阪濱寺において開催される全國中等學校庭球大會に出場の同校選手石野敏雄、國松隆甫君が、先輩、學友等に勵まされ出發した、同じく早稻田大學滿鮮視察團一行十六名も同乘歸國の途に就いた

聯絡會議は先づ成功

兒玉事務官一行歸國

オデッサにおいて開催された歐亞聯絡會議に出席中であつた鐵道省事務官、兒玉國雄、寳部幸三兩氏は廿日出帆のはるびん丸で歸國の途に着いたが埠頭には關東廳關係滿鐵關係の人々で多忙を見せた同氏は

「ロシヤが腰を入れて一生懸命にやつてゐてくれるので非常に好都合だ、會議の模樣等は哈爾賓でもお話ししたし重複を避けるが大體において成功と云へる、まづ歸つて報告した上改めて關係方面の協定をとげる筈だ」

老虎灘の惡船頭

高い船賃を貪る 船頭を取り締る

老虎灘海岸は夏に入つてから太公望や納涼船遊びで非常に賑やかである從來老虎灘の船頭はこれ等の船賃を高く貪るため太公望や納涼者にとつては頗る不愉快な氣分を與へるとこゝがあつた、これがため老虎灘派出所では今回營業船飯に數字板を打ちつけ更に「一時間三十錢、半日(六時間)一圓五十錢、一日(十時間)二圓五十錢」といふ賃金標を掲示させることゝし若し不當の規定以上の不當賃金を要求した場合は船の番號と不當要求賃金とを是非派出所まで通知して貰ひたいと、尚老虎灘會でも老虎灘の發展策として派出所と共力し船賃を一定の上不當の要求を絕對に防止することゝなり遊覽者をして愉快に遊ばせることに努める筈だといふ

廣發丸を沈めた英船長

あす取調べ

既報山東角沖合において當地松浦汽船所有廣發丸と衝突これを沈沒せしめた英國プリユーフアンネル船エネアース號(一萬五十八噸)は廿日朝上海より入港した當時の模樣については、W、K、オールス船長は口を緘して語らず「何れ役所の調べがあるでせう、それまでは」と事情發表を留保してゐるが當地海務局では目下石井廣發丸船長につき事情調査中だが對手船たるエネアース號の入港を機として廿一日同船船長オールス氏を召喚木村理事より取調べる筈

本社劇艶色生膽秘譚の舞臺

訪日伊機

チ、ハル着

【ハルビン特電二十日發】イタリー訪日飛機はウエルフネに無事着陸してゐたが、十九日飛行を繼續ハルビン通過すると

【ハルビン特電二十日發】大倉男美術展に答禮の訪日イタリー飛行機は本日午前八時四十五分チチハルに着いた

奥元帥葬儀

二十四日執行

【東京十九日發電通】奥元帥の葬儀は二十四日午後三時より四時まで青山齋場で執行することゝなつた、葬儀委員長は金谷參謀總長と決定した、儀仗兵は多分一ケ旅團となる模樣である

侍從御差遣

【東京二十日發電通】畏き邊りでは二十日午前十時奥元帥邸に牧野侍從御差遣御慰問あらせられた

首相、鎌倉に靜養

【東京二十日發電通】濱口首相は午前九時新橋驛發鎌倉別莊に向つたが一泊靜養の上明朝歸京の筈

僞密偵が身體檢査

所持金を拔取る

二十日午前二時ごろ大連若草山東興本寺儲ボーイ丁興臨(二一)は常盤橋附近を通行中、大連署の密偵と稱する一名の支那人に「一寸來い」と大連技藝女學校宿舍裏の空地に連行され折柄待ち合せてゐた二名の支那人と共に身體檢査をされ歸宅を許されたが、歸宅後財布を調べて見た處金十圓紙幣一枚拔き取られてゐるのを發見吃驚して大連署に届け出たので目下犯人搜査中であるが、一面また丁興臨の申立てにも不審の點あるので取調中である

探偵を救ふ少女

見よ!怪奇、戰慄、魅惑の大渦卷江戸川亂步先生の傑作大探偵小說『魔術師』は果然天下の大評判!早く講談倶樂部八月號を御覽あれ!

海水浴中溺死

十九日午後二時ごろ北平から避暑のため來連、老虎灘日四十一番地に滯在中の李志平(一三)は老虎灘と石槽屯との中間小老虎灘海岸で海水浴中心臟痲痺を起し溺死した

奉天で國產の自動車を製造

【奉天特電二十日發】兵工廠の迫擊砲廠では廠長李宜春氏の首唱により豫て工廠内に自動車部を設けドイツ人及びフランス人技師を傭聘して自動車製作に努力中であつたが十八日迄に五臺を製造することを得たので近日中に各方面の參觀を求めて盛大なる試運轉を擧行することになつた、同廠では支那全國を通じて國產自動車の魁であつて將來自動車の舶來を止めて見せつと大變な鼻息である

侠艶一代男

次回連載新講談梗概

加州金澤犀川の渡守平助の惣領清吉は同藩家老松浦彈正の息市之介に些細なる事より無禮打にされんとしたを、同藩近習妻木鐵太郎に救はれ、後にそれが原因して妻木を暗打ちにせんとした市之介の附人二人迄を殺害切腹の餘儀なきを殿の情で食祿を召しあげれ罪の償ひとして江戸屋敷加賀部屋仲間（加賀鳶）に當時の慣習として落されたが意外にも清吉は一昔江戸町火消八番組下か組の纏持として羽振を利かせ、昔、老父が蒙りし遺恨から神田祭禮の日に加州侯の供先を亂す椿事出來、この際もまた折よく供うちに加はる妻木鐵太郎の爲に危ふき一命を救はる。三年後の同祭禮の夜、明神下料亭忍で舊事を回想して懐しき物語をしてゐる二人の座敷へ、堀の鬱憤を叶家の一葉が逼げ込んできた跡を追ふ加州藩士大塚源十郎との間に遺恨をかもすに到る。源十郎は自ら御てまと云ふ八丁火消取締役を志願し部下である鐵太郎に怨みを報ゆる機會を覗ふ。一方に加賀鳶と八番組とは消火區域を一つにせる爲め兎角に紛擾が絶えず、いつも双方で喧嘩の花を咲かす犬猿の間柄であるが、か組の清吉と鐵太郎は主従、兄弟よりも親密である。仕事の上で敵である兩人の間に、叶家一葉を絡んで、戀の花は咲くが、情と義のために兩人ともに妓を譲り合ふハメに陥る。外に小便組と云はれる大名旗本荒しの妾、竹代とその父、明き盲目の消玄、火の玉小僧典膳など法網をくぐりて悪の限りを盡し、毒婦おさしみお象の執拗なる戀慕鐵太郎の男らしさに惚込んで、死を賭けて言ひ寄り、追ひ廻すのと、小便組竹代の美人局や悪計をあばく所から更に此等江戸を荒す奸惡なる一味との間にも事件を惹き起すに到る。鐵太郎をめぐつて三巴の妖艶の花は開らくが、仲間に身を落しても、あくまで士魂を失はぬ彼は加賀鳶と云ふ大名抱へ火消に一つの變つた型を遺す程に、同じ役仲間を善良に感化する、本郷の火事に消し口爭ひによりか組の纏を奪つて、加賀邸へ引あげ、同組の清吉が單身、それを取り戻しに乘り込み、こゝでもまた三度、鐵太郎は清吉の危ふき生命を救ふことなどあり、表面は敵であるが兩人の間は一層に親愛の度を深める。

加賀鳶八丁火消組頭役である大塚源十郎は一葉に絡む戀の遺恨から鐵太郎を失はんとし、神田の失火の際に彼を火中に突き落さんと計るを、その身代りとしてか組の清吉が一身を犠牲にし、彼がこれ迄うけた恩義に報ゆる。

源十郎は叩き斬られた。

清吉の死骸の側で、鐵太郎は江戸の花と云はれる町火消や人足の間にも、武士に見られない、美しい優れた情義を持つ者のあるのを知つて、男泣きに泣いて悲しみの底に悩んだ。

殿のお許しが出て、再び彼は武士に取り立てられる事になつたが堅く固辭して、一生を加賀鳶として送る自由を願つた。

作者の言葉

『侠艶一代男』執筆について

華紅ケアル　米田祐太郎

元祿文化を誇る爛熟たる華の都に德川幕府の末路は暗示されてゐる。

戰國の遺風は地を撒つて、優柔な卑俗が上下を侵蝕しつゝあつた。それは細身づくりの太刀に華車を競ふ武士階級が長夜の夢に現をぬかし、編笠茶屋に、猪牙舟に、赤岩の遊廓に、屋根船の粋を悦ぶ色里の味を覚えては、町人でなくも魂を大空に飛ばすのに變りはなかつた。

湯女の肌合ひ、若衆、女歌舞伎の色修行、辰巳、堀江の藝者は擢いて、岡場所の地獄――山猫、けころ、船饅頭まで八百八街、脂粉の香に充ち、妖冶な媚態に眩惑した。

この間に生命を的に生きて居る一團があつた。士魂は僅そこに殘され、闇の夜に咲く江戸の花。町火消は五十二組、旗本定服ひのガエン一組、大名火消の三種類が猛火の下に鎬を削つた。

加賀鳶は百萬石金澤城主前田侯のお抱えで。

本篇の主流をなすもの、侠と義の二筋に生きる男の中の男一匹。舞臺は江戸から加賀の金澤、寧妓才士は云ふ迄もなく、當時の世相と人情を描いて、善悪兩道の花をさまぐに咲かしてみたい念願である。

小便組や美人局、目明き按摩やおさしみお象などと云ふ變つた所も躍出する。

作者の手前味噌はこれ位に留めるが、どうか作者伊藤松雄氏同様に御愛顧を賜らんことをお願ひします。

終りに一昔前、十年餘りを生活した滿洲の舊知に紙上で再びお眼通りする光榮を悦んで居るものであります。

今夜限りの『艶色生膽秘譚』

あすから二の替狂言

讀者優待割引で連日盛況

劍劇界の覇王河部五郎一座の實演は十八日初日以來非常な好評を博し連日盛況を呈し充實した舞臺の熟演は完全に觀客を魅惑して大喝采を博し御目見得狂言は今夜限りで特に本社劇「艶色生膽秘譚」は舞臺に油が乘つて興味の中心となつてゐるが、愈々今晩限りであるからこの機會を逸せぬやう昨夕刊を以て大團圓となつた「艶色生膽秘譚」の愛讀された方は見落しなく本社刷込みの優待割引券を利用して觀劇されたい、尚一座は明廿一日と廿二日の二日間は二の替りに新劇目として左の通り上場すべく何れも新醴等でお馴染の狂言揃ひで一層の好評を以て迎へられるであらう

河部五郎の笹川繁藏　二の替上演

米田華紅氏作新講談

『侠艶一代男』を連載

挿畫は伊藤幾久造氏の麗筆

構想の雄壯と變幻極まりなき事件の展開を有つた本紙夕刊連載講談「艶色生膽秘譚」は湧き返る讀者の好評裡に愈々二十日附夕刊を以て哀艶多彩な終末を告げたが、續いて連載の講談は支那文學研究者として將又大衆文藝作家として毅然として新興大衆文壇に鎣立する華紅米田祐太郎氏原作「侠艶一代男」を登載する事となつた、物語は背景を混迷錯綜の時代維新前後に執り、凋落の悲愁に頽廢する武家階級から意地と伊達とに氣競ふ加賀鳶に身を滴めた仁侠一代男妻木鐵太郎と恩怨の義理に惱む江戸火消か組の清吉を主役とし、之に配するに暴戻悪逆の武士、艶麗無比の藝者、旗本荒しの妖婦、法の陰翳を横行する幽侍等々、筋は變轉として豫想を許さず、筆鋒は冴えて紙上に讀者を悩殺せずには措かない、挿繪は纖細怪奇な筆致を以て插繪畫壇に輝く伊藤幾久造氏、先づ作者の言葉に原作の片影を尋ねて戴き度い

河部五郎觀劇會 讀者優待割引券

この券持參者に限り特等三圓廿錢、一等二圓八十錢、二等一圓六十錢、三等八十錢に割引

主催　滿洲日報社

河部五郎觀劇會 讀者優待割引券

この券持參者に限り特等三圓廿錢、一等二圓八十錢、二等一圓六十錢、三等八十錢に割引

主催　滿洲日報社

十人以上の團體優遇

特別に割引き

河部五郎一座の本社劇は連日好評裡に盛況をつゞけ本紙刷込みの讀者優待割引券持參者に限り特等四圓を三圓二十錢、一等三圓五十錢を二圓八十錢、二等二圓を一圓六十錢、三等一圓を八十錢に優待割引してゐるが、更に團體組見の申込みが殺到しつゝあるも團體に對する特典がなかつたので本社にては特にこの點を考慮し本日より十人以上の團體觀劇に對しては一般讀者割引以外に優遇法を講じ出來るだけ多くの愛劇家に内容の充實した河部五郎一座の劍劇を紹介することにしたから十人以上の團體觀劇は便宜上歌舞伎座で取扱つてゐるから電話四五三八番へ申込まれたい

二の替

▲天保長脇差（三場）

第一　八木村不動堂前
第二　飯岡助五郎宅の場
第三　笹川村の大亂鬪

關八州に俠名を轟かせた任俠笹川の繁藏が飯岡助五郎の爲め非業の死を遂げ其上屍に痰吐く助五郎の態度に助五郎の乾兒三浦屋の孫三郎が餘りの暴擧に愛想つかして却つて笹川の後繼人等と助五郎を討ち自分も義理の刄に伏すと言ふ天保水滸傳中の粹を抜いたもの

▲修羅王（七場）

第一　山科街道の夜
第二　旗本山縣の邸
第三　柳櫻千代香の寓居
第四　向島土手の大劍陣
第五　早繩重吉の侘住居
第六　隅田川畔の吹雪
第七　再び千代香の寓居

維新の風雲急の秋旗本に生れた山縣は心中勤王討幕の大義燃ゆる誠に毎夜覆面してひそかに佐幕の銘々を倒し自ら修羅王と號して洛中洛外にある同志と通じて江戸に於ける隠れたる活躍を描いた既に日活で映畫化された名篇でファンに印象深いものを劇化したる由

▲國定忠次（四場）

第一　赤城山の血烟り
第二　信州權堂ケ辻
第三　同山形屋の店先
第四　本郷の小松原の嵐

新國劇澤田正二郎氏の爲め行友李風作の書卸した劍劇の獨參陽で今や澤田亡き後の忠次役者と自他共に許してゐる河部の忠次は極め付と折紙のつけられたもの場面は赤城に立籠つた忠次一家から山形屋ゆすりの小氣味よい所を見せ小松原仕返しの殺陣に到るまでを演出する筈で例の映畫式高速度撮影によるテンポの早い舞臺とカワベジヤズバント伴奏で相俟つて三〇年式大衆演劇の本領を發揮すべくファンの見逃し能はぬ狂言揃ひであると

野球にさんぐいぢめつけられた興行界は久し振りでけふの日曜日は試合がないので大喜び▲朝來の盛大に海水浴行も滅からうと力み返つてゐる▲河部五郎の「妙法院勘八」で西岡弘が出演するとお客が無精に喜び殊にショッキリチャンバラは好評嘖々▲そして愈々大詰になると棧敷にならんだ美形連、もうお終ひになるの、心細い聲を出して▲戀人とでも別れるやうに河部の舞臺姿に名殘を惜む▲いよく板について舞臺に油が乘つて來た本社劇「艶色生膽秘譚」は今夜限り▲蛇喰ひ仙人は人間にあんなものを食すのは殘酷だと關東廳から嚴しいお達示▲本人に言はすとあんなものより喰べられないといふから困つたもの

嫂を悼む
——綠濃い夏の京都——
横澤宏

昭和三年六月、僕は何を思つたか京都の千本通り鞍馬口に住んでゐる兄の所へ手紙を出した。

一年も、二年も音信を聞きもせず聞かせもしない僕であつたが、嫂が病むでゐると聞いて急に思ひ立つた手紙である。

嫂についての記憶——まだ僕が京都に居つた時分は兄と結婚もしてゐなかつた。

時折兄の所へ來る手紙で其の人を識つたのと、一、二度兄の所へ訪ねて來た時に逢つた位の、薄い記憶ではあつたが、僕は嫂が好きだつた。

ちよツと跛足をひいて歩く癖があつた。

兄は、それを説明して、

「リユウマチなんだヨ、京都の女にはリユウマチが多いんだ」

そう言つてプレペアード、カフエの罐の蓋を開けて飲まして呉れた事がある。

繪日傘を丸めて、日本髮の匹を氣に掛けながら淺い夏の日差のなかを跛足をひきながらやつて來る嫂と、糺の森の前で擦れ違つた事がある——。

そのひとが病む……と聞いて僕は兄の所へ一書を飛ばし「何にか姉さんを慰めるものを贈りたいがどんな物がいゝだらう」と質ねたのである。

家信は斯うだつた。

「女房の病氣はもう大分いゝ、醫者は、床上げももう直きだらうと云つてくれてる。

子供は名を均と云つて中々丈夫らしい。

ひとしつて名は君の名の語呂に似てをるのでいゝと思つたのだ——いゝと思つた理由なんざ別にない、たゞいゝだらうと思つたゞけだ。

女房は君の御手紙に感謝してをる、今の所はアイスクリームだけを甘がつて食べてる位の無元氣さだから「何々を欲しい」などゝ云ふやうな元氣は全くありはしない」

昭和三年七月六日の兄からの手紙である——それから二年間、例に依つて兄も僕も音信を聞きもせず聞かせもせずであつた。

それが突然、この十四日に「嫂の死」を知らされたのである。

實に暗然たる氣持だつた。

その前日は日曜日、夏家河子で散々遊びほうけての翌朝である、漱石に「報」をみた時にはジインとした重量を胸に感じた。

色々の記憶が綠濃い夏の京都を背景に頭の壁に映し出される。

こんな時、何時も想ひ出されるのは京都の植物園である……あの芝生で寢轉んで、センテイメンタルながら空の蒼さに見入りたい。

▲

先日、此の鬱々たる氣持を抱へて、或る女のひとの許を訪れた。

罵められるまゝに辻占をひいてみたが、何度繰返しても「凶」だつた。

「凶いわネ」

女のひとは心掛らしく、そう言つた。

僕はごろりと寢轉んだまゝ無言だつた。

常日頃のように、それを一蹴するだけの氣力もなかつた、屈折した心をあぐねてこんな事にもふいと嫂の死などを結びつけて考へてみたりするのだつた。

—一九三〇・七—

艶色生膽秘譚の初日を觀る
永賀見太郎

河部五郎の初日に「艶色生膽秘譚」を見る、本紙に百七十七回に亘つて連載された新講談を僅々五場に盛つたものであるから、その劇化に無理があるのは仕方があるまい、がしかし却々面白く出來てゐる、たゞ「艶色生膽秘譚」の主人公が野晒お仙であるが、河部は女形がやれないだけにその脚色に苦心のあとが充分に窺はれる。これを河部の演物に注文した方が無理だつたかも知れない、河部が左近と右近の二役を演るのではないかと豫想してゐた、双生兒の左近と右近を一人二役でたゞ髷か何かの扮裝で區別をつけて置けばいゝと考へたが、舞臺を見て河部の一人二役は演れないことがわかつた これは映畫を腦裡に描いてゐた爲めの間違ひで、映畫では容易なダブルロールが舞臺ではそうたやすく出來ないことを、忘却してゐたからである。小佛峠の場と上野の場で左近と右近が顔を合すところを映畫ならダブルロールで行けばよいが、舞臺でこの兩場面だけに代役を使つたのでは面白くない、矢張り左近と右近は河部の一人二役で行けない。その代償に河部の左近に配して敵役で馴染の深い山本禮三郎の右近で、この二人の顔合せが興味をそゝつてゐる。座附作者栗村俊二氏の脚色五場は小佛峠の場、大川端の場、諏訪明神の場、追分旅宿の場、上野の場の場割となり、小佛峠の序幕が一番芝居になつて面白い。双生兒の左近と右近の性格を先づ紹介して次ぎに血卍組の左近と三藏と鐵誠の三人が顔を合せて河部山本の顔が揃ひ、河部は大芝居を見せてゐる。

第二の大川端の濱町河岸は野晒お仙が登場して左近を見染めるが變幻極まりないお仙の説明が不足してゐる、宇治龍子のお仙は凄艶さに食ひ足らないところがある、宇治龍子のあの豪辭なら矢張り私はもと一座してゐた五味國枝のお仙に未練が殘る、この女優は悪達者といふよりも舞臺馴れが邪魔をして癖りを身につけ過ぎて芝居をしてゐる。

第三の諏訪明神の森は死んだ筈の右近が蹈つて來て妙香に言ひ寄り斬つけられた腹癒せに伯父の波多野典膳を殺す。右近の山本禮三郎の見せ場であるが、この優は滋味走つてスクリーンで見るやうな小氣味のいゝ敵役を見せる、たゞ顔を言へば常に正面を切らず盲をふつて臺辭をいふことである。

第四の追分の旅宿の階上は闇川が淺間山で野晒お仙に誘眠術を教への歸途でお仙の色氣は幕あきのお仙が横になつてゐるところが上乘。闇川はいさゝか變な三枚目になり過ぎたが、それだけこの場の芝居を面白く見せてゐる。お仙が右近を左近と間違へる出會は初日と言ひ乍ら大分勝手が違つた。大詰の五重の塔附近は左近と右近の立廻り。これに捕手も加つてチヤンバラの爽快味を見せるが河部の落ちついた太刀先に對して山本の必ず上段から太刀を下す御兩人の殺陣は大向ふを唸らして和洋合奏で映畫式に展開する立廻りの場面、お仙が左近と右近を間違へて左近をうつ短銃一發も生葵のやうにきいて序幕に次ぐ大芝居となつて事件は解決をつけずに右近を逃して興味をあとに殘してゐる。

さて出來上つた劍劇「艶色生膽秘譚」五場は同じ星の下に生れた左近と右近が血で血を洗ふ運命をテーマとして序幕の左近の豪辭から始まつて大詰に追ひ込んでゐるのであるから大詰の左近の双生兒の運命を呪ふ豪辭は幕切まで殘しておいた方がヨリ以上效果的であるまいか（初日の夜）

金田氏の駁文 (三)
池内赤太郎

ほそぼそと墻山路をゆきかよう道ありにけり雨やみにけり

を評して「道ありにけり雨やみにけり」では歌の調をなさぬ。と斷じたのに對し

これに就いては作者の深い詠嘆を僕も認めるが、然かし三十一文字の外に「かうしては歌の調をなさぬ」といふ規則があるのだらうか、此處でも僕は評者が如何に形式主義者であるかといふことを痛切に否むことは出來なくなるのである。

と言つて居る。確乎たる定見なくして「紀明」等の語を用ゆるは沙汰の限りである。金田氏は「歌の調」の如何なるものであるかをさへ知らないのである「小書生達」とやらも聞くがよい。歌の調とは作者感動の調の表れを指して云ふのである。島木赤彦爾靈山上にての作に

海の日の沒りて明るき山の上こに戰ひて誰か歸りし

といふのがある。この歌に表はれたる沈痛極まりなき調を見よ。それは直ちに作者の深き感慨の調であることを思へ。これが假に

海の日の沒りて明るき山の上こに戰ひて誰か歸りけん

であつたとしたら如何であるか、「誰が歸りけん」になる前歌の感慨の調は出てゐないと斷言するに憚らないのである。即ち「誰が歸りけん」では、いまだ完全な一首の歌の調をなさぬと言ひ得るのである 「道ありにけり雨やみにけり」は作者感動の調を表し得てない、歌の調をなさぬと云つたのはここにある。この論評は内容面も一首死活の重要點に就いても云つて居るのである。然るを「此處でも僕は評者が如何に形式主義者で」等と言つて居るのは、戸迷言の甚しいものであることを知るべきである。

◇

山を負ひて展けし村の閑寂さよ梨の白花いまさかりなり

四月のをはりの一日梨の花咲き散る峡に遠く入りつも

に對する小生評言に對し

「四月」或は「閑寂」といふ用語に拘泥して居られるのあらうがそんな形式論は別としてこの場合これらの直截な用語が韻律の上から云つても歌全體の氣分にも何等齟齬を來してゐるとは思はれない。」

と金田氏はこゝでも形式といふことを云つて居るが、氏は何を捉へて斯樣な盲目評言をなすか餘りにも他愛がなさ過ぎる。小生の評言の何處が形式論なるか。小生の評言は悉く内容のだらしなさを指摘せるものではないか。更に面白き事には、加能作次郎氏の齋藤茂吉選別歌會席上作

この俺に歌を作れといふけれど歌は作れぬ無事であれ茂吉

を擧げ來つて

互選の結果斷然一等に入選した要するに格調——形式——もさる事ながら内容の大事なことは言を俟たない

等と判りきつた事を云つて居る。なる程加能氏のこの歌は高き評價を以ては臨めないが、宴會席上での作として充分探れる歌であり前掲二首の歌等より數段高等な出來榮である。またこれを直截なもの云ひぶりの歌とするに何等異存ない。歌は斯くの如く直截であるべきである。故に小生は「四月のをはりの一日」に對し「第二句の月日に作者にとつて何か特殊な事情があるならばこの場合それを具體的にいふべきである」と指摘してゐるのである。それを具體的に云ふことは、多少でもこの歌に直截味を持たし得る道であるからである。金田氏は小生の手數を省くために好見本を提供して呉れた譯である。この歌を擧げ來つて如上の批評歌が同一の直截さにありとなさんとするは即ち金田氏の歌に對する盲目を自ら天下に暴露せるものであることを思へ。

◇

同氏の製作がぞんざいに過ぎると評したのに對しても喋々と辯じ立てゝ居るが、小生の評言を徹底だにせしめ得られないこと最早明白であらう。茲に於て失笑に價するのは

苦吟の跡が今評者をしてぞんざいに歌つたかの如く思はしめるならばそれは一面作者の成功とも見るべきものであらう。

と云ふ金田氏の盲目言であり「要するに氏の批評が當らざる如く」等といふヒヨツトコ言である。再び小生の前に斯くの如き言が吐けるか

◇

なほ金田氏は同氏を北原白秋氏が口を極めて讃めたと云つて居る 讃めたのは同氏の製作態度を讃めたといふのであるが、詩人白秋と雖もその位の讃め方位は知つて居るであらう。小生は白秋の如く同氏を歌道の書生扱ひしないのである。小生の態度は白秋より眞摯に眞劍に同氏並に其他の同人諸氏に對して居るのである。小生の評言は或は苦言であつたかも知れぬ。白秋よりも眞摯に眞劍に對へて居るからである。「認識不足」の語はこれに熨斗をかけて金田武一氏その人に呈上する。

夏を描く
黒松のこと
靜田晴雄

縁起わにふわりりと淡い秋草模樣お盆提灯のしツぽがすーと影を流した

「姉さん、どなたか初盆だね」

と中年の男。黒松の二階座敷、一寸見てくれのきく部屋、次が八疊の中古部屋で、はいり際にチラリと見たところでは佛壇があつて灯の入つた盆提灯が大分並んでゐる樣子——

浪速町から、磐城町と、歩き廻つたそのあげく、雨に降られた四人づれ、大連と云ふ處は大人の遊びに困る所だと疲れた足を引づり上げたのが黒松の二階である。

扇風機の風はなまぬるい……と止めてうちはをとり、左手に杯をあげる事にする。

「鮎ならございます、鱸が專門でなも、外の魚は鱸り……」

名古屋訛が一寸出る言葉つき、顔に身を起すと、濃紫の襟を嚙むやうに——ふつくりとした、頤の深い仲居さんが云ふ

「安東の鮎じゃあ……」

事もなげに云ひ切つたが……

「が無いよりは……それに水見がよからう」

と中年の男が納得顔

「では鮎でめしあがりますか」

「いや、箸で食ひませうワハヽ」

肴がきて酒と話がはずむ。雨が本降りになつて、涼しい風が青簾を搖り動かして部屋を通る。

「藤棚や雨に紫末濃なる……夏の雨も句や歌にすれば美しいね」

フイと風流な話が飛び出す

「こん句もありますね、黒猫のさし覗きけり青簾……青簾はよいが黒猫は有難くありませんね」

と若いのが云ふ

「ごもつとも、青簾、黒猫、盆燈籠……成程ぞつとしませんな」

と、突然中年の一人が……

「姉さん、佛さんは何樣かね」

不意にギヨツとした女

「……御主人で……厄年の四十二で……」

フツと立ち上つて窓から見下す……夏の夜更けの雨の路一筋白く彼方此方にぬれそびれた人力車の影がちら／＼と立つ。

滿洲日報

主婦之友 八月號 夏の生花と手藝號

夏の生花の生方寫眞百種發表

生花の家元大家が特に生けられた夏の涼しい生花寫眞百種を「主婦之友」獨特の美しい口繪で發表しました。とても素晴らしい出來榮えです。尚ほその上に大附錄を添へて僅か五十錢。

- ▲盛花の生け方順序寫眞畫報
- ▲投入の生け方順序寫眞畫報
- ▲池坊の生け方順序寫眞畫報
- ▲床の間向の夏の生花寫眞畫報
- ▲食堂向の夏の生花寫眞畫報
- ▲應接間向の夏の生花寫眞畫報
- ▲山と水の小品花の寫眞畫報
- ▲食卓向の夏の生花寫眞畫報
- ▲書齋向の夏の生花寫眞畫報
- ▲野菜と果物の盛物寫眞畫報
- ▲廣間向の夏の生花寫眞畫報
- ▲玄關向の夏の生花寫眞畫報
- ▲廊下向の夏の生花寫眞畫報

諸流家元大家十先生の新發表 生花上達の祕訣百ヶ條公開

盛花、投入、池坊その他の流儀花等、生花に關する一切の新祕訣が、我が代表的の大家先生方によつて、「主婦之友」に公開されました。この一ヶ條でも御覽になれば、直ちに生花上達の祕訣を摑むとができます。お花を稽古なさる方の新しい虎の巻との大評判。

美人女優が化粧の祕密を發表

- ▲素顔に見える白粉のつけ方……（森 律子）
- ▲七分間の早化粧で長持ちの祕訣……（筑波雪子）
- ▲肌を美しくする寢化粧の祕法……（栗島すみ子）
- ▲洋服ばかりの私の化粧法祕訣……（及川道子）

家と人との運命の祕密

病人の出る家？ 死人の出る家？ 繁昌する家？ その他、吉凶一切の家相上の運命に關する恐ろしいやうな祕密を、四人の專門家が初めて誌上に公開されました。

經濟的の避暑案内

家庭に在るよりも、却て經濟的で、愉快な避暑のできる秘境の地を、近くに發見した愛讀者の、詳しい經驗を誌上に發表しました。北は北海道より南は鹿兒島まで。

政府から獎勵金の出る有利な副業案内

農林省副業課の新發表

不景氣〱と悲觀なさいますな。有望な金儲け法は、却てかういふ時勢にころがつてをります。八月號發表の特別記事は、永松副業課長を初め、專門技師の方々が、責任を以て發表されたもので、時節柄最も有利な副業案内であります。

- ▲夏の病氣の看護法の祕訣
- ▲肺病の熱を除る新療法
- ▲皮膚病根治の民間療法
- ▲（誌上相談）婚約中に貞操を破つた處女
- ▲夏向の料理法百種を發表

賀川豊彦先生の長篇小說

大々的人氣の「東雲は瞬く」いよ〱發表!!

「死線を越えて」の作者賀川先生の苦心の傑作小說「東雲は瞬く」がいよいよ發表されました。日本に斯くも力強き小說は、嘗て現はれなかつたことを斷言いたします。

- ▲吉屋信子氏の暴風雨の薔薇
- ▲長與善郎氏の輝く廢墟
- ▲白井喬二氏の人肉の泉
- ▲曾我廼家五郎氏の人情喜劇
- ▲五月信子の赤裸の情史

誰にも出來て直ぐ役に立つ 夏向の手藝品作方五十種

- ▲ハンカチで作つた夏の手藝
- ▲タオルで作つた夏の手藝
- ▲日本手拭で作つた夏の手藝
- ▲フクサで作つた夏の手藝
- ▲廢物利用の新手藝品
- ▲涼しい電燈カバー
- ▲一圓以下の男兒服作方
- ▲一圓以下の女兒服作方

（ハンカチーフで作つた赤ちやん帽子）

特別附錄 日本八景名所圖繪

名所圖繪の第一人者たる吉田初三郎畫伯が苦心に苦心を重ねて執筆された新名所圖繪で、竪七寸、横五尺三寸の大形に表紙を附した、上等アートペーパー十度刷。世界空前の大附錄を添へて、定價は普通號通りの五拾錢であります。

（附錄つき）五拾錢

東京神田駿河臺 主婦之友社 （振替東京一八〇番）

祝 大連連鎖商店街 大阪屋號分店開設

中央大學教授 明治大學講師 商學士 橋本良平氏著

現代の株式會社

四六判布裝三百八十頁 金壹圓八拾錢 書留十八

最新刊

あらゆる物價を低廉ならしむるには大量生產を要し、大量生產は必然的に大資本を要する。この產業の合理化上將來の企業經營は多數の資本を糾合したる株式組織を基準とすべきである。株式組織とは如何なるものであるかを知るは重要なる社會常識の一つである。本書は會社研究の權威たる著者が株式會社の組織よりその運用に到る全般に亘り豐富なる實際的材料に據り極めて平易に其實際を說明せられたるものである。

法學博士 松本烝治氏序 東京稅務監督局長 青木得三氏序 中央大學講師 マスターオブアーツ 島田德氏著

證券と投資

四六判三百三十頁 定價金壹圓八拾錢 書留送料十八錢

好評再版 內容一斑

▲證券論—企業の集化と產業資金の證券化—株式と債券の分類—公債と社債—支那證券—公社債の本質—市場發達史—日清日露戰役—大震災と證券界—米國の證券界▲投資の理論—投資の意義—選擇の要件—元本の安全性—滿足なる收益—市場性—適法なる事—投資と證券業者—我國の證券業者—證券業務—引受—相談—保護預り▲投資の手續—公社債發行—募集手續—保管と元利金の取立—債券債表（以下略）

同科大學講師 商學士 太田哲三氏著

貸借對照表の作り方見方

四六判布裝三百六十頁 金貳圓八拾錢 書留送十八錢

訂正增補

好評九版 內容一斑 增補

▲貸借對照表とは何か資產と負債—消極と積極の對照—單なる帳尻に非ず—法律の規程▲會計年度と記帳技術—資產負債法と損害法—單記式復式記帳—交換取引と損害取引▲貸借對照表の內容—資產—形態上の區別—固定—運轉—流動▲繰延資產資本主勘定▲貸借目錄—會計上の評價法—所謂時價主義▲減價償卻▲蛸配當▲消卻の記帳公示法▲通常の資產▲營業其他の無形資產▲繰延勘定▲社債及對外負債▲資本主に關する勘定▲保證債務と偶發債務▲評價勘定▲積立金增資減資▲貸借對照表の分割と合併▲決算分析法—原始的方法—比率法—指數法—趨勢法—財政病源—損益表分析▲固定資產減價步合表（損費として稅務當局より認めらるる消卻步合

大每經濟部記者 長永義正氏著

支那經濟物語

四六判四二〇頁 定價貳圓五十錢 書留送料金十八錢

好評再版 內容一斑

支那の社會と經濟—矛盾の支那—米倉から米借りに—銅貨十枚の生活費—株式會社は發達しないか—支那の農業問題—東農政策—耕地面積—地大物博—農民運動の效果如何—饑の慾望—荒地開拓—支那の再生は農業から—匪賊とは—分布—世界各地の華僑の勢力—支那の關稅—外國貨物の治外法權—支那貿易と關稅—支那の紡績業—支那紡績業の關係—支那勞働者の研究—紡績の對立—經濟絕交表—支那の異民族—日支經濟關係其他

後藤朝太郎氏著

支那風俗の話

口繪寫眞四六判五百四十頁函入 プリン裝金貳圓八拾錢 書留送廿二錢

三版出來 內容一斑

▲支那宿の印象▲支那の風俗一斑▲江南に見る清明節の情緒▲武漢三鎭ネクタイの童子軍▲支那內地の汽車に乘りて▲北支那の田舍の情趣▲支那地方文化の情味▲支那人の風流心▲支那人の樂天生活▲支那民族生活の推移▲北京趣味津々たる界隈▲北京城外の農園情緒▲北京東城に郭元白人の信義と論愚談▲貧民學校の落花流水遊戲▲大武術と手品▲支那上代の貨幣と裝飾用具▲山寺の精進料理▲支那茶館と樂館の情趣▲正月氣分（以下略）

大賣捌 大阪屋號分店 大連連鎖商店街（常盤橋通） 電話 五三三一 五三四 振替大連二二七番

大連市浪速町 大賣捌 大阪屋號書店 電話 五一八八番 五七九〇番 振替大連五五番

（總本店）東京（支店）京城、奉天、旅順

最新刊

- 冠松次郎著 雙六谷 實價二圓六十二錢送料八錢
- エー・エス・ニィル著 霜田靜志譯 問題の子供 實價一圓三十七錢送料八錢
- 今田謹吾著 陶器の鑑賞 實價二圓七十三錢送料十錢
- 小林鶯里著 俳句は如何して作るか 實價一圓二十六錢送料八錢
- ハインリッヒ・ストレーベル作 猪俣津南雄譯 獨逸革命の役とその後 實價二圓十錢送料十錢
- 鶴田成雄著 南阿の偉人 拓セシル・ローヅ 實價一圓二十六錢送料八錢
- アイザイヤ・ボウマン著 露崎厚譯 南米大陸 實價一圓八十九錢送料十錢
- 大澤一六著 大衆法律教程 實價一圓二十六錢送料八錢
- 木全德太郎著 中國電報 聲音字彙 實價一圓五十錢送料六錢
- 新聞濟次著 體驗を語る 實價二十一錢送料四錢
- 廣間圭著 事實物語 小學五年生 美談 實價一圓二十六錢送料八錢
- 井上吉次郎著 村と町と 實價一圓三十七錢送料八錢
- 水田鍬之輔著 街頭の廣告の新研究 實價二圓六十二錢送料十錢
- 辰巳利文著 大和雜報記 實價二圓四十二錢送料十錢
- マイケル・ゴウルド作 一億一千萬 實價一圓五錢送料六錢
- アンドレ・リュルサ著 市浦健譯 建築 實價一圓五十七錢送料六錢
- 安藤德器著 幕末海戰記 實價一圓五十七錢送料八錢

大連市大山通 滿書堂書籍部

最新刊

- 不景氣で一人で出來る 鶴輔著 健康法 實價一圓五十七錢送料十錢
- 吉原隆次著 特許法詳論 實價一圓八十九錢送料二十錢
- 佐藤康平著 工學博士 鐵筋混凝土 桁橋の設計 實價二圓六十二錢送料十錢
- アトリヱ社編 風景畫選集 實價一圓五十七錢送料八錢
- 十一谷義三郎著 時の敗者 唐人お吉 實價一圓四十七錢送料十錢
- 大妻コタカ著 可愛いらしい子供服 實價一圓五錢送料十錢
- 附伊豆與關東 羽北海道樺太 日本溫泉案內 實價二圓六十二錢送料十四錢
- ヴェ・サラビヤノフ著 荒川實藏譯 史的唯物論入門 實價一圓三十六錢送料十錢
- スターリン著 入江武一譯 最近の問題 實價一圓五錢送料八錢
- 守田有秋著 燃ゆる伯林 實價一圓三十六錢送料十錢
- 松島總道著 プロの新戰術國際 共產黨 實價一圓六十八錢送料八錢
- スターリン著 田畑三四郎譯 レーニン主義の基礎 實價八十四錢送料六錢
- 永井亨著 日本思想論 實價一圓二十六錢送料八錢
- 吉松一能著 人間一茶の生涯 實價一圓八十九錢送料十二錢
- 神田正雄著 動きゆく臺灣 實價二圓十錢送料十錢
- プロレタリヤ科學研究所編 支那問題講話 實價一圓五錢送料八錢
- 靜岡縣女師第二附屬小學校編 生活指導學校經營の實際 實價一圓四十七錢送料十錢
- 一九一七年に於る 湖舛譯 ロシヤ農民運動 實價八十四錢送料六錢

大連市浪速町 大阪屋號書店

社說

舊態を更めぬ支那の政局

蔣軍對反蔣聯軍の對峙、久しきにわたるに最近さらに發展の模樣なく兵士には戰意なく幹部は徒らに政治的解決に狂奔してゐる。奉天側は高いところから見物してゐるので南軍は盛んに抱き込まんとするが北方は必ずしも援助を欲せず奉天側が嚴正中立を守つて與れさへせば可なりと做してゐる模樣である。奉天側とても必ずしも野心なきにあらざるも今日の場合、輕率に動くの危險を感じ現金ならば古い武器を賣却するぐらゐのもので先づ漁夫の利を占めつゝあるといふところ。從つて疲弊し切つた南北兩軍は兩すくみの形勢にあり結局は共倒れに終るのでないかとさへ觀測されるに至つた。尤も蔣氏の奧の手たる黃白を以ての政治的解決は財政的に不可能に陷り再三再四の總攻擊令も功を奏せず馮氏の攻擊も依然として停頓の狀態にあり而して戰局が永びけば中央政權を以て任ずる蔣氏の南京政府に不利なるは明白である。ここにおいて蔣氏は主力を徐州に集結し北進して濟南を奪回せんと作戰しつつあるものの如く隴海線、而して京漢線南段、武漢の守りも拋棄せんとする背水の陣を布くものとも察せられるが兎に角かくの如く戰局が發展せずに疲弊に疲弊を重ぬるよりは死中に活路を求むべくイチかバチかの作戰に出たものとも觀測される。

◇

併し支那の現狀から觀察して與し南軍が勝つても、また北軍が勝つたとしても歸するところ彊弩の末勢、魯縞を穿つ能はずといふことになり支那の國民革命、南北の統制といふやうなことは百年、黃河の淸澄するのを待つと一般なりとせねばならぬ。馮氏は或ひは蔣氏の東退により隴海線より又は京漢線より南進して武漢を手に入れ廣西軍と連絡して湖南方面を反蔣軍の勢力範圍となすことが出來るかも知れぬ。また蔣氏は韓軍などと呼應し濟南の奪回に成功するかも知れぬ。併しながら孰れにしても結局は同然、大なる支那の政局には些の影響あるものといひ得ぬであらう。南北いづれが勝つも負くるも結局それだけのことであつて國民革命とか南北統一とかいふことゝは何らの關係もないことになるのである。早い話が所在に割據し相對峙してゐる新舊軍閥は悉くこれ孫文の三民主義を祖述し國民革命を云爲せぬものはないのである。それは表面であり事實は蔣も馮も閻も張も何らの變哲もない同じ軍閥の列に墮したものといふことが出來やう。現に汪精衞氏と閻錫山氏らとが擴大會議を開き北方政權を樹立せんとしつつあるではないか。そこに主義主張といふやうなものがあるとは何人も信じ得ぬであらう。ただ勢力抗爭の都合上、國民の希望や常識に反し年中の行事として相對峙しつつあるに過ぎぬのである。そこに建設更生の意義なきは勿論、結局は軍閥自體をも燒却し去らずんば止まぬのであらう。

◇

かくの如く考へて來ると吾人は支那の現狀に對し相當、絕望の聲を放たざるを得なくなるのである。先に最も眞面目なる歐米人などの間にも共管論などの擡頭しつゝあるも所以なきにあらずと思ふのである。勿論、吾人は支那人と共に支那の共管といふやうなことには絕對反對であるけれども支那の軍閥が今日の如く無意義な抗爭を繼續しつつあるにおいては近所近邊の最も迷惑とするところとせねばならぬ。かくいへばとて吾人は必ずしも支那の前途に對し決して悲觀するものではないが現狀に對しては直ちに樂觀も出來得ぬことは支那の人士といへども認めねばならぬところであらうと思ふ。ここにおいて吾人は蔣介石氏が隴海線を拋棄して主力を徐州方面に集結し濟南の奪回を作戰しつつあるが如く古い形ばかりの三民主義國民革命から覺醒し何らか新らしい新主義、新思想を創造し以て支那の國民革命の完成に努力すべきではあるまいか。形骸のみの主義思想には一般民衆も倦怠を來してゐる。支那の國民生活の實情に立脚し現實に即した辦法を以て南北統制、國民革命の部分的なる達成にても企圖するの必要を感ぜぬのであらうか。孫文の三民主義は餘りにも偶像化し去つた。

最後の四巨頭會議の結果 けふ非公式參議官會議
海相官邸にて開催

【東京二十日發電通】新國防計畫案に關する最後の海軍四巨頭會議は二十日午前九時から海相官邸に開會、財部海相、谷口軍令部長、岡田、加藤兩參議官參集し奉答文案につき協議二時間に及び十一時散會した、この結果廿一日午前八時半より海相官邸に非公式軍事參議官會議を開き協議するに決した

奉答文案の決定は本日の會議に持ち越す
條約兵力量と國防との關係は 四巨頭の意見一致

【東京二十日發電通】二十日の四巨頭會議の內容は先づ谷口軍令部長より伏見大將宮、東鄉元帥を歷訪し又五回に亘る巨頭會議を開いた結果に基き軍令部に於て作成せる條約兵力量の諮詢奉答文案に對する一の私案を提示し三巨頭の諒解を求むる處あつたが

一、條約兵力量と國防との關係如何

の問題に關しては「國防上缺陷あり」の一點は過般の巨頭會議通り四巨頭もこれを確認する處あつたものゝ如く其の表現方法即ち奉答文案の最後的決定は總て二十一日の參議官會議に持ち越す事として散會した

張學良氏が出兵拒絕
蔣氏の催促に

【上海特電十九日發】支那側に達した消息に依れば張學良氏は遂に蔣介石氏の出兵催促を體よく拒絕することに決定したと、而してこれが爲めに張氏は暫時奉天には歸らず一切の政務は、臧式毅王樹翰兩氏に電命して代理せしむると共に湯玉麟、王家楨兩氏を一時南京に歸任せしめない事となつた

一日で纏めたいが可なりむづかしい問題だ
財部海相語る

【東京二十日發電通】谷口軍令部長から屢次問題の推移に就いて報告を聞いてゐるが明日は非公式參議官會議を開くので常とは事情が違ふので今日は特に加藤、岡田兩大將にも來て貰ひ明日の打ち合せやら事務上の事に就いて話をした明日一日で纏めたいと望んではゐるが可なり難しい問題だから……

けふの會議で國防案說明
谷口軍令部長語る

【東京二十日發電通】第六次四巨頭會議の散會後谷口軍令部長は左の如く語る

明日八時半から非公式參議官會議を開くので今日は單に其の手續上準備上につき話し合つたに過ぎない集つて一時間半位で散會した事から推察しても激論もなく雜談的に終始した事が明かではないか、明日は自分が主として說明する

まだ言へぬ
加藤軍事參議官談

【東京二十日發電通】正式參議官會議も間近く迫つてゐるから今日は內容に觸れることは一切出來ぬ從つて明日の會議でスッカリ纏まるかどうかもいふべき限りでない總ては明日になつて見なくては判らぬ

激論せぬ
岡田參議官談

【東京二十日發電通】今日は大した事はないサア一つ會議室を君達に見せて遣らう椅子も一つも飛んでゐないし器物もチヤンとしてゐる處から判斷して激論なんかなかつた事がよ、判らう、へ……今日の會議の內容が夫れは云へない君等が判斷するさ、これから各大將と共に各家へ暑中御機嫌奉伺のた

め繼續する

生糸大奔騰

【橫濱十九日發電通】橫濱生糸市場は現物廿圓高淸算三圓方の大奔騰を示した其の原因はニューヨーク市場の安定に買氣擡頭を報じた氣先本日又十仙內外の續騰と全國觀糸家蠶家の對策氣構へ及び九州方面の暴風雨被害による桑園の被害など强氣的材料の外に淸算市場に於ける賣方が之れ迄宮りやであつたため最早賣込みの餘地すくなしと見て利拔きを急いで居る等の爲めである

秩父宮殿下御西下
飛行隊御入隊

【東京二十日發電通】秩父宮殿下は今夏陸大學生として九州太刀洗飛行大隊四聯隊に特別御入隊の爲め明廿一日葉山御別邸より御歸京皇太后陛下に暫しの御別れを告げさせられ二十二日午後九時四十五分東京驛發列車で妃殿下御同伴御西下廿三日午後三時四十分神戶解纜大阪商船紫丸にて別府に向はせられ廿六日同地御發熊本及び雲仙御巡歷三十一日久留米御着八月一日より御入隊の御豫定である

婦人公民權は貴族院が難關
市町村會議員選擧の改正法律案を來議會に提出

【東京二十日發電通】婦人公民權附與に關しては內務省では安達內相の所謂漸進主義により先づ市町村公民權即ち市町村會議員に對する選擧權を附與する方針の下に調査を進め右に關する改正法律案を來議會に提出する事に大體決定してゐるが、閣內にても種々異論もある模樣で該法案提出までには相當曲折を免れぬものと見られ又議會に提出されても衆議院は大多數を以て通過するであらうが貴族院においては政府が餘程の努力をしない限り握り潰しの運命に陷るのではないかと豫想されてゐる

前年との比較
七月中旬貿易

【東京十九日發電通】大藏省發表七月中旬に於ける外國貿易は（單位千圓）

輸出	三三、六九二
輸入	二九、三六一
合計	六三、〇五三
出超	四、三三一

で昨年同期に比し

輸出	二九、三九五
輸入	二四、七四七

を共に減少した一月以降累計

輸出	八〇一、二二七
輸入	一、〇一七、八一二
合計	一、八一九、〇三九
入超	二一六、五八五

で昨年同期に比し五千八百七十萬七千圓の入超減となつてゐる而して本旬出超の原因は棉花の輸入減退に依るもので生糸綿織物の輸出不振は依然として前途樂觀を許さざるものがある

奉答如何は政府に關係なし
濱口首相の時局談

【鎌倉二十日發電通】濱口首相は二十日午前十時自動車で鎌倉の別邸に赴いたが一泊靜養の上二十一日午後五時鎌倉發歸京の筈であるが、二十日別邸に於て左の如く語つた

軍縮條約問題

近く開かれる軍事參議官會議は軍部限りの問題で政府とは全然無關係のものである、法理論から云つても事務上の見地から見ても軍事參議官會議が條約の樞府諮詢前に於ける必要條件と云ふ譯ではないが政府が其の終了を待つてゐるのは政治上これは待つ事が適當であると考へたからである、法理上並びに事務上の準備は主として外務省で行つてゐるが、それも大體目鼻がついたから軍事參議官會議が濟めば一日も早く樞府諮詢の手續を執る事としたい、それが今週中に出來るかどうかは判らぬが何れにしても左程遠い事はあるまい條約兵力量に關する若槻全權や私の表現方法が問題となつてゐるとの事であるが、若槻全權も敢て此の條約兵力量は完全無缺のものであるとは云つてゐない國防に就ての政府の所信は特別議會當時と何等變りはない、軍事參議官會議の奉答文が如何に決るとしても理論上政府としてはこれに對し賛否の意見を表明すべきでないと同時にこれに依つて何等の拘束を受くるものではない、從つて私は軍部を對照とする論爭を好まないからこの際は沈默を守り度い

豫算問題

本年度實行豫算節約も明年度豫算編成方針も決定を見たが、それ等を貫く根本方針は從來と少しも變らない、明年度豫算編成方針中に減稅方針を示さなかつたことに就て非難攻擊が多い樣だが夫れはロンドン條約の批准前で軍縮剩餘金が確定しない爲である、然し軍縮剩餘金を減稅に振り向ける政府の方針には斷じて變りはない、減稅の六年度年度額はまだ確定してゐないが財政其の他の關係から至つて少額であらう、然し七年度八年度には漸次增加する筈である

公債政策

從來と一向變りはない、然し失業救濟は自ら前問題だと思ふが今の處國債を起してまで遣る考へはない、地方起債緩和で十分であると考へてゐる

露支の國境に赤匪現はる
馬賊が共產黨と連絡

【ハルビン特電二十日發】東支東部線露支國境東寧縣に根據を有する陳東山と稱する約二百の馬賊は中國共產黨と連絡し、共產主義による農民の解放、封建制度の破壞下級巡警、支那兵の懷柔をスローガンとして決議し各地の匪賊を連絡に力めつゝあり、滿洲における赤匪として注目されてゐる

八吋巡洋艦の建造案提出
アメリカ上院特別會議に

【ワシントン十九日發電通】アメリカ上院特別議會は開會後既に二週間を過ぎロンドン條約に對する贊否の討論も大體終了し山も見え出したが十九日は外交委員長ボラー氏の投票決議提出後月曜迄休會を宣せられたこれより先き反對派のビンガム氏は

アメリカは他國が大小何れの巡洋艦を建造するともそれに關せず八吋巡洋艦を建造すべきである

との修正案を提出し

日本は主觀的にロシア又は支那の脅威を感ずると信ずる時には直ちにエスカレーター條項の適用をなし東洋に於ける勢力の均衡を破るであらうからアメリカはこれに對し東洋方面に投資せる自國の利益擁護に努めねばならぬ

と修正案の提出理由を述べたが、モーゼス氏の戰時潛水艦使用の人道化を武裝なき商船に限るべしとの修正提議と共に彌次り倒され次いでマサチユセツツ州ウオルシユ氏は

アメリカは條約の範圍內で最大の建艦をなすべし

との決議案を提出した

軍縮條約問題

政局の前途に就いて與黨は依然樂觀す
故意に審議を澁滯せしめたら蹶起し樞府と一戰

【東京二十日發電通】ロンドン條約問題につき民政黨は政府を信頼し依然靜觀の態度を持つてゐるが目下同黨の得てゐる情報に基く幹部側の意嚮を綜合すれば左の如し

愈々樞府へ御諮詢となれば種々の宣傳議論に拘らず條約の阻止は出來ぬ又其の成立は國民大多數の希望であるからこれ等の實情に鑑み案外反政府系の策動等も恐るべき機會なくして無事通過すべき形勢が察知される、又この際期に反し故意に樞府の審議を澁滯せしめんか與黨は蹶起して政府を鞭撻し樞府と一戰を交へる覺悟であり濱口首相も本條約の批准には牢固たる決意で臨んでゐる、然もこの背後には猛烈なる國民の支持ある以上これが前途に就ては憂ふるには當らない、又目下これに關し財部海相の進退問題が傳へられてゐるが、海相は全權として政府の回訓に從ひ調印したものであるから飽くまで條約の成立に努める責任と義務があるし海相自身もこの決心で折角努力中であるから此の際辭意を漏らす等の筈もなく又其のいわれもない、只部內統率の責を負ふて辭任する事はないとも限らぬが、若し斯る事實があつても政治的責任を負つて辭任するにあらざる以上何等現內閣に累を及ぼすものにあらず

と云ふにあり政局の前途に就いて樂觀的意嚮である

左右兩派が合流するまで
（上）擴大會議成立經過

反蔣派の政府組織に就いては北方人士の一黨專政に對する深い反感が原因して種々の議論が行はれたが結局閻錫山氏は「先づ最高黨部を成立せしめ黨部より政府を產出せしむる」との屢次の聲明を易へず趙丕廉氏らをして黨統の爭議に亘る左右兩派の調停に周旋せしめた結果さしもの難題とされた左右兩派の合流は蔣介石＝南京黨部＝南京政府＝戰爭等の共同目標を前にしては血は水よりも濃く七月六日頃に至り完全に成功し先づ左派は汪精衞氏の六日一日附通電に基き擴大會議の發起に於て黨統論の面目を保ち、右派は廣東上海の派別を放下せしめて之に贊成し、以て「第二期の併立」の自論に立場を明白にしたので遂に七月十三日懷仁堂に於て擴大會議召集の宣言を發表せられた、これ南京黨部を否認する左右兩派の國民黨復興運動として國民黨史の一頁を飾る近來の事件である、而して北方に黨部を成立せしむる左右兩派の合流理論として左派は先づ第一に……「國民黨第二期中央執行委員は今や討蔣運動の形勢にかんがみ卽日北平に移り國民革命を領導すべきところ各執行監察委員中十六年秋の共產黨事件にて共產黨なるが故に除籍されたる者あり、蔣逆に阿附して資格を喪失したる者あり、守正不阿の同志なれど尙身を危地に處して北來し能はざる者あり、蔣逆の壓迫を受けて海外に逃亡せる者あり、全體會議に參與する者は極めて少ない、事實斯くの如きを以て茲に法理の窮するところを救ふの必要に迫られたので同人は中央黨部擴大會議を組織し所有る前委員並に現在討蔣運動に重責を負ふ同志の一致參加を求めて中樞の充實を期し更に第三期全國代表大會を籌備し黨國の基礎を奠定せんことを議決した」と提議宣言した、如何にしても法定數が不足であり死兒の齡を算へるが如き廣東第二期委員の現狀としては之を繼續するに右の如く說かざるを得ないと同時に所謂討蔣革命には實力を其第一要素とすること申すまでもなく、斯くて黨員の實力派を加へ黨と武力の結合を高唱せざるを得ないのであらうが、此宣言に依りて多少の讓步はあつても左派の面目は充分保持され合流理論は最も巧妙に高唱せられてゐる

◇　◇

之に次で右派は同じく中國國民黨第二期中央執行委員會の名義に於て……「十四年三月總理逝世後第一期中央執監委員會は共產黨の爲に黨を害し中國を害するに鑑み此多く北平西山に第四次全體執行委員會を開き共產黨の肅淸を議決し並に中央執行委員會を上海に移した次で十五年三月上海に第二次全國代表大會を開き第二期中央執行委員を選出したのが本會である、十六年南京、漢口兩中央執監委員會に一致し、黨の糾紛は異議なく此秋三つの中央が具合して特別委員會を組織したが幾何もなく蔣介石は不正の手段を以て團結せる黨を破壞し黨政の權を獲得した（中略）今日討蔣の軍事緊急の時全黨の團結は殊に急とするところであるが幸ひに汪精衞同志及現在重要責任を負ふ同志が中央擴大會議の組織を提出したが本會は之を必要と認め此に中央黨部擴大會議に贊成し以て中央の充實を期し並に第三次全國代表大會を準備し以て黨國の基礎を奠定せんことを議決した」と贊成宣言した右派の爭つた所は第二期委員の正統問題で廣東のみを正統とするならば上海も亦正統とすべきであるが二つを正統とせば正統なきに如かず故にこの際共に正統問題を論ぜず團結合流しやうといふのが主張であつたので調停派は之亦巧妙に廣東、上海の肩書を削り共に國民黨の第二期中央委員とした爲め右派の自論は完全に貫徹し左派と同じく面目は充分保持された

松黑航運問題を黑河で露支協商
その結果は注目さる

【ハルビン特電二十日發】黑河において露支航行委員會議が開催されれ議增氏が航業公會の代表と支那側委員となり、ソウエートからは水路局長と領事が代表となつて目下松黑の航運問題に關して協商中であるが、支那側では黑河における露支委員會はモスクワの正式會議と直接の關係はなく將來松黑の航行權問題が本會議において解決した曉、始めて有效となるもので一九二八年締結した暫行協定の延長であると露支正式會議と直接的關係については否認した、然し黑河の會議こそ將來の露支松黑航行權と密接の關係を有するものであることは肯定されてゐる

產品輸出獎勵
支那側意氣込む

【奉天特電二十日發】東北各省は土產品の移輸出を獎勵する目的を以て現在土產品の輸出關稅は三割減、鐵道運賃は五割減の特典を與へてゐるが、金高の今日は國產品發展の絕好機會であるとして東北政務委員會は今回關稅及び鐵道運賃を更に現在以上に低下することに決定し既に同會より交通委員會及び海關に夫々交涉を開始した

列車妨害を圖る兇漢を射殺す
巡察兵に斬りつけ頑强に抵抗 草河口鐵橋附近で

【安東特電二十日發】昨十九日午後七時ごろ連山關守備隊巡察兵强矢一等卒外二名が劉河下方の草河口鐵橋附近に差し蒐つた際二十五六歲の支那人が鐵道線路上に列車運行妨害を爲しつゝあるを目擊したので直ちにこれを引捕へんとしたところ、右支那人は矢庭に兇器を以て巡察兵に斬掛り强矢、豬股兩一等卒に負傷せしめたが巡察兵は止むなくこれを射殺した、因に右事件は宛も奉天驛十五時三十分發の釜山行急行列車が通過する直前であつたが未然にこれを發見したので列車は無事に通過する事が出來た、なほ二名の負傷は孰れも輕傷の爲め約二週間で全治の見込であると

井上藏相御殿場へ

【東京二十日發電通】井上藏相は豫算節約も一段落を告げたので十九日御殿場の別莊に向つた靜養の

上月曜に歸京二十一、二日頃から胃腸病院に約一週間入院十二指腸蟲驅除をする筈である

訪日伊機
あす東京着

【ハルビン特電二十日發】訪日イタリー機は午後二時領事、エムシヤノフ氏出迎へ裡に齋哈し五時奉天へ向ひ明日東京着の豫定である

洮索鐵道工事
進捗し一部開通

【奉天特電二十日發】興安屯墾區督辦署の手に依つて工事中の洮索鐵道は資金難の爲め一時工事停頓してゐたが最近大いに進捗し本月十一日に葛根廟まで百二十支里の軌道敷設工したので近々列車運轉を開始すると

宇佐美所長赴任

新任滿鐵哈爾賓事務所長宇佐美寬爾氏は夫人家族同伴で本二十一日午前九時大連發急行列車で赴任の途に上る豫定であると

撫順子

三晝夜七十五時間坑內に生埋になつてゐた二人の男が十八日午後七時微傷だに負はず元氣で出て來た▲撫順の老虎臺採炭工宿舍九棟採炭夫王利（二一）及び同楊中玉（四二）と云ひ十五日午後四時老虎臺坑圓形十八片に入坑交替時間にもあがつて來ずに行先不明となり大騷ぎになつたどうも坑內崩れの爲生埋めになつた形跡があるので▲十八日朝來二十數名で同人等の入坑個所を掘進んだ所前記の如く七十五時間呑まず食はず土砂のなかに生埋めになつてゐたのがのこ〳〵這ひ出したのでやれ〳〵と一同大喜び珍しい生埋めで助つたレコードである

深刻な不景氣來で物價は下つたか
値下時代と大連の物價 各方面の意見

深刻なる不景氣の反影で内地では今や滔々たる諸物價の低下時代を現出せんとしてゐる、金解禁と世界的不況による貨幣價値變動時代における當然の成行である、安く物が生産又は供給されることが産業合理化の眼目であり、安く物價を支拂ふことが消費節約の目的でもある以上、供給者も需要者も、合理的に諸物價の低下を圖ることが急務であらう、吾々の住居は果して公正なる家賃を以て供給されてゐるであらうか、食料品の販賣價格は原料價格と果して均衡を得てゐるかどうか、そこに不當な搾取と、無駄な消費が行はれてはゐないか、更に銀價國に生活する邦人としては金銀比價の變動による諸物價の變化に細心の注意を拂ふてゐるかどうか、吾々は諸物價に對し公正なる批判の眼を向けることが現下の急務なることを信ずるが故に最近喧しく問題視せられて來た家賃問題、その他一二の物價について各方面の意見を示してみよう

日本一の高い家賃
東京の最高一疊一圓八十九錢
なぜ値下げ出來ぬか

最近内地で調査された家賃の相場は一疊當り平均東京市内が最高で一圓八十九錢、次は横濱の一圓六十四錢、東京郡部一圓六十三錢、神戸が一圓三十二錢、大阪が一圓二十一錢で其他の都市はそれ以下となつてゐる、大連では正確な調査はないが邦人住宅で高いのは一疊當り三圓以上で二圓以下といふのは極めて少いから無論平均二圓以上となり恐らく日本一の高い家賃であらう、何が故に家屋建築費としては内地よりも安かるべき大連の家賃が斯くの如く高率であるか、その原因として好況時代建造された家屋は殆ど東拓、鮮銀、正隆、滿銀等に擔保となり、殆ど大連のみにても數千萬圓に上る資金が不動産に固定し、金融業者は家賃收入を以て原價の銷却或は貸付金の利息に充當せしめてゐるので諸物價安の折柄なるも家賃を下げぬ一因を造つてゐると言はれてゐるが右に對して東拓、正隆、滿銀當事者の意見を徴せば左の如し

大勢に順應し値下を考慮
決して高い事はない
池田鴻業公司支配人談

東拓が處分した不動産は鴻業公司といふ子會社が管理經營する仕組になつてゐるので同公司は市内に七、八百軒の貸家を所有し正隆、滿銀等と相並ぶ大家主である、そして家賃が甚だ高過ぎることも兩行と選ぶところがない、然し同公司において最も注目に價することは例の家主根性のため自ら尖端を切つて値下を斷行する勇氣があるかは頗る疑問であるが力強い要望と輿論が起れば大勢に順應して値下げすべく今春來考慮を重ねてゐることである、即ち池田支配人は左の如く語る

當方は市内に七、八百軒の貸家を所有し、家賃は修繕持で一圓五十錢（鮮人向きの貸間）から二百圓程度まであり、疊當りにすれば沙河口方面が一圓、市内が一圓半乃至二圓見當になつてゐる、この點においては東京の一圓半乃至二圓當りと

同一で あるが修繕は總て當方持になつてゐるので左程高きに失するものとは思はれない、現に利廻りは二分位に當つてをり、軒數は少いが旅順や沿線のものは殆ど引合はない程度のものです、成程好況時代の工費高の家も少くないがそれ等は東拓より恩惠的に引下げて引取つてゐるから家賃算定の基礎にも餘り無理はないつもりである、然し家賃値下の機運が汎く高まつてくれば、それは大勢ですから當方でも今春來愼重に種々研究は重ねてゐる、これについて正隆や滿銀あたりと

意見の 交換をしたやうなことはない、値下げの場合を想像すれば一律に引下げることは困難だ、新建のみなら出來やうが當方は新古入交つて諸所に散在し中には古い借主であつたりその他種々の理由のため法外に安いのがある一面に割高のもあるからである、つまり同一率に値下げするよりその間手心を加へた方が公平だらうと思ふ

需給關係で通り相場がある
最高は一疊三圓以上
佐々木正隆貸付課長談

當行の管理家屋數は約六百戸、家賃收入月額二萬圓程度であるが、家賃は支那人向住宅の最低二三圓位から最高二百圓、平均二十七八圓見當の家賃で

住宅向と して野津ビルの疊一枚當り三圓以上が一番高率となつてゐる、原價が高くなつてゐるから家賃を引下げないなど、非難もあるが、家賃の基礎を決してそこに置いてゐるのではない。貸金の利息が家賃でとれるなどと考へるのは間違ひだ、家賃の滯りとか修繕代とかみれば大家としては決して儲かる仕事ではない、家賃はやはり通り相場で定まるとでもあるし大連の家賃が高いとすれば需給關係によることゝ思ふ例へば

三十圓で 借りる人があるから三十圓で貸すまでの事で採算を無視して社會奉仕的に引下げると言ふ譯にも行くまい、只野津ビルの如きは多少高いから從つて皆塞がつてもゐない、これは當行としても引下げねばならないかとも考へてゐる、尤も建築費の安い昨今では新規に家屋を建ることは充分採算がとれるであらうから遞信局等の低利資金でも利用して小住宅の拂底を緩和することは必要であらう

支那側も値下要望
滿銀支配人談

滿銀の現在所有家屋は三百二十五戸、この家賃收入月額九千圓、擔保家屋百十六戸、この家賃月額四千圓、合計四百四十一戸、家賃收入約一萬三千圓程度であるが、利息としては現在の家賃でも決して採算のとれるものではない、もし他に比較して大連の家賃が高いと言ふならば矢張りそれは需給關係によるものであらう、尤も銀安の折から支那人方面からはしきりに家賃の値下げを要求されてゐるがこれは又事情氣の毒でもあるから金拂ひの家賃は引下げその代り小洋錢拂ひの家賃は幾分引下げて調節したいとも考へてゐる

年一割六分の利廻り
ある新築借家

新しく建てられる借家は一割乃至二割方は安いが現在市内の貸家業の採算工合を一例を擧げてみる、これは最近譚家屯に鐵筋コンクリート借家八戸を建た某家主の採算控へである

▲土地三千圓（百坪）
▲建築費一萬四千圓計一萬七千圓
▲この家賃、六十圓一戸、三十圓七戸計二百七十圓

而して普通家主は公費、修繕費其他諸雜費として家賃の二ケ月分を削除して考へるから右の借家は六疊二間四疊一間で三十圓であるから實收入は一年十ケ月分即ち二千七百圓となる、即ち年一割六分の利廻りであり、又六年と四ケ月せば家賃の上りで土地と建築費は上つて了ふ譯である

市民消費經濟の癌
銀相場の變動を知らぬ顏して
車馬賃の無駄拂ひ

滿洲における日本人の日常生活上安くて便利であるだけに却つて無駄な消費を行つてゐるものに車馬賃がある、恐らく内地では病氣か旅行の時か一年に一度か二度位しか人力車を利用しない人でも滿洲ではどうかすると一日に二度でも三度でも乘る、一度に僅か十錢か

二十錢の の車賃としても年に積れば、或は日本人全體が支拂ふ額を考へたら可なり莫大なものであらう、最近の調査によれば大連市内だけでも人力車數は千四百二十臺、車夫數は晝夜の交替もあるから車數より多くて約二千名乘用馬車が七百臺で馬夫は約八百名となつてゐる、假に車夫一日の稼高が一人平均一圓、馬夫が三圓とすれば一年間の大連の車馬代は百六、七十萬圓に上る勘定である乘客の七割が日本人とみれば一年に百十萬圓以上の金が十錢、二十錢と

小出して 日本人の手から汗ばんだ馬車ニーヤや車ニーヤの手に渡されてゐることになる、日本人が人力車や馬車を必要のみの利用に止めたら恐らく年に數十萬圓の節約がそこにも行はれるからであらう、更に日本人は惡いくせで銀が高い時も安い時も同率の車賃を支拂つてゐる、銀が百圓以上の時も昨今のやうな五十圓臺に下つた時も同率な車賃を支拂つてゐる、支那人などは小洋錢十錢位で乘るところを日本人は約倍額以上の金十錢で乘つてゐる

金銀比價 の變動に無頓着な日本人の惡いくせである、かくて日本人は車馬賃に對しても二重三重の無駄を支拂つてゐる譯である

うどん玉一つの原料は六厘
原料人件費が高い
内地の方が安い珍現象

最近にいたり麵類其他飲食物の値下の傾向を生じつゝあるが、既に内地各都市に於て五錢のうどん、十錢の洋食が堂々と他を壓して引合つてゆくのに諸原料、人件費も内地に比し遙かに安い大連において出來ぬ筈はないと言はれてゐる一例をうどんそばにとつて大正八九年の好景氣時代に十錢に上つて以來今日に至るも何等値下げせぬが、試みに當時と今日との原料品値を比較せば左の如くで何れも半額となつてゐるのである

	大正八年	昨今
麥粉一袋	五圓	二圓三十錢
そば粉（同）（卅七斤半）	六圓	二圓四十錢
醤油十樽	百十二圓	四十八圓

右の如くであつて今日うどん玉一つは六厘の原料で出來るのである

天皇陛下 御軫念遊ばさる
各地暴風の被害天聽に達し
御救恤金御下賜か

【東京二十日發電通】天皇陛下には十八日九州、沖繩、朝鮮地方暴風雨被害甚だしき趣きを聞し召され深く御軫念遊ばされたが被害程度判明すれば特に御救恤金御下賜の御沙汰あらせらるゝ筈

眞晝の點景

遠來の高師軍再び大敗す
對教專陸上對抗競技

【奉天電二十日發】廣島高師對教專の對抗陸上競技は二十日午後二時から教專グラウンドにおいて擧行、兩軍緊張し、半までは兩軍相讓らざる大接戰を演じ、その後教專優勢を示し、高師軍奮戰したが及ばず、四〇、五對二二、五で教專大勝し、遠來の高師軍再び敗れた

坪川氾濫し關町洪水
路上浸水六尺

【岐阜二十日發電通】岐阜縣下は大豪雨のため武儀郡關町を貫流する坪川氾濫し關町一帶は洪水となり全町浸水路上の水は三尺乃至六尺に達した

被害は甚大

【岐阜二十日發電通】十九日より降り出した大降雨で岐阜縣武儀郡關町を中心に同郡美濃町倉知村加茂郡富岡村三和村加治田村一帶の各町村は大洪水となり各地とも消防組、在郷軍人、青年團等總出にて避難民の焚出し救助に努めたが午後八時頃より漸く減水し始めた二十日午前十一時までに判明せる被害の狀況は浸水家屋床上七百五十戸、床下千五百戸、全潰家屋四十五戸、半潰二戸、流失二戸、埋沒四戸、橋梁の流失二十九、死者四名、負傷一名行方不明者二名である

九州地方の暴風雨被害

【東京二十日發電通】九州地方暴風雨被害左の如し（二十日正午まで報告到着の分）

長崎縣 死者二十四名負傷者五十三名行方不明二十四名家屋全潰千二百三十五戸同半潰千六百四十九戸非住家全潰千八百棟同半潰千六百六十六棟船舶沈沒流失破損六百九十一隻

福岡縣 死者十三名負傷者百三十九名行方不明なし家屋全潰千八百三十二戸同半潰二千四百三十二戸（非住家を含む）船舶沈沒流失破損五十八隻

鹿兒島縣 死者六名負傷者十七名行方不明一名家屋全潰九百七十戸同半潰千百十九戸非住家全潰七百三十五棟同半潰四百二十八棟船舶八十八隻

熊本縣 死者五名負傷者五名行方不明九十二名家屋全潰不明同半潰百四十二戸

佐賀縣 死者十二名負傷者三十七名行方不明なし家屋全潰六百九十三戸同半潰二百七十四戸非住家全潰百六十三棟同半潰百九十三棟船舶不明

宮崎縣 死者なし負傷者五名行方不明なし家屋全潰四十六戸同半潰二十五戸非住家全潰六十五棟同半潰三十棟船舶不明

沖繩縣 死者一名負傷者二名行方不明なし家屋全潰八十八戸同半潰九十八戸其の他不明

大分縣 死者なし負傷者なし行方不明一名家屋全潰六戸其の他不明

山口縣 死者一名負傷十名行方不明なし家屋全潰二十戸同半潰七戸非住家全潰四十五棟同半潰五棟船舶四十五隻

尚通信機關不通の處あり調査遲延せるものあるを以つて尚多少増加の見込み

大連チームが壓倒的に優勝す
全滿クレー射撃大會

【湯崗子特電二十日發】大連滿鐵友會主催本社後援に係る昭和五年度全滿クレー射撃大會は二十日午前八時から湯崗子射撃場に於て擧行されたが、參加チームは大連、奉天、安東の三チームで出場を期待された鞍山選手は出場せず、競射の結果は豫想の如く大連チーム筆頭選手を始め間山、辻、安藤の諸選手又好調を續けて斷然他チームを壓倒し、本年度の伏見若宮殿下御下賜優勝カップは大連チームの手裡に輝き、個人競射では辻周一氏（大連）良く射當てゝ前滿鐵總裁寄贈カップ授與の榮を擔ひ、同午後三時閉會した、因に成績は左の如くである

伏見若宮殿下御下賜優勝カップ受賞者
一等 兼頭助一（大連）五〇點 二等 間山平松（大連）四八點 三等 辻 周一（大連）四七點 △四等 平賀 覺（安東）△五等 安藤忍（大連）△六等 大友啓次郎（奉天）△七等 林半九（大連）△八等 田村四郎（大連）△九等 小日山淺吉（大連）△十等 市川金太郎（大連）

前滿鐵總裁カップ賞受賞者 辻 周一氏（大連）

待たるゝ大相撲 愈よ廿八日から
朝鮮の興行が雨で延期され
一行は總勢二百名

好角家より大なる期待をかけられて居る日本大相撲協會西方の當地興行は二十三日から晴天五日間例年の如く電氣遊園下で興行されることになつて居たが朝鮮における各地の興行が雨のために延期された結果當地の興行も止むなく延期されることになつた、即ち一行は二十二日長春、二十四、二十五の兩日奉天においてそれ〴〵巡業し二十六日十七時着列車で來連二十七日は旅順で白玉山奉納相撲を行ひ二十八日より愈々好角家連中の熱狂裡に興行されるのである、一行は夏場所の西方力士に新大關玉錦及び若葉山の兩力士を加へ總勢約二百名で例年の如くそれ〴〵市内各旅館に分宿することになつた一行の顏觸れ左の如くである

▲東方		▲西方	
横綱	宮城山		
大關	玉錦	大關	豐國
關脇	若葉山	關脇	能代潟
小結	錦洋	小結	朝汐
前頭	雷の峰	前頭	眞鶴
同	寶川	同	星甲
同	幡瀬川	同	劍岳
同	若瀬川	同	吉野山
同	太郎山	同	大蛇山
同	沖ツ海	同	朝光
同	晴の海	同	池田川
同	汐ケ濱	同	高浪

又五日間の各力士後援會は左の如くである

▲沖ツ海後援會 二日目、三日目
▲玉錦後援會 三日目
▲幡瀬川後援會 三日目
▲若瀬川後援會 三日目
▲豐國會 四日目
▲朝汐會 四日目
▲高知縣出身力士會 四日目
▲海光山後援會 四日目

なほ又入場料は特等三圓五十錢、一等三圓、二等二圓五十錢、三等一圓五十錢 正面棧敷四人マス十四圓 三方同 四人同 十二圓 尚兩棧敷とも五日間申込の方は十圓割引の由

ヨットで大西洋を横斷する
アメリカンカップ競走參加

【ゴスポート（英）十九日發電通】アメリカンカップ爭奪ヨット競走に參加するサー・トーマス・リプトン所有シヤムロック五世號は十九日エンジン附ヨット・リン號に附き添はれつゝ多數群衆の歡呼裡に當地出發大西洋横斷一路アメリカに向け出發した船長はハード大尉で乘組員は全部で廿三名である

デ盃戰の成績

【パリー十九日發電通】デ盃戰インターゾーン・イタリー對アメリカ試合第一日シングルス・ロット對モルブルゴ試合を續行した結果左の如くロットの勝となつた

ロット（米） 三—六 九—七 十—八 六—三 モルブルゴ

支倉六右衛門の渡航船模型
陸奧伯に寄贈

【仙臺二十日發電通】宮城縣桃生郡十五濱村長山下啓介氏は伊達政宗の命に依り支倉六右衛門がイタリーに向つた際使用した帆船模型を陸奧伯に寄贈する筈

奉天

強制を避けて家賃相談會組織
單に調停機關として穩健なる行動を執る

家賃値下げに關する各機關代表の打合せ會は十九日午前九時から奉天俱樂部に於て開催されたが結局該問題は特定人間の問題であつて外部から嘴を入るべきものでない しかしこの問題が現下の社會問題となつてゐる以上若し奉天の家賃にして好況時代の家賃がこのまゝ固定してゐたり或は價格評價の下つた古家の家賃が引下げられなかつたりする場合は相當考慮方承認せねばならぬし又家主の立場から考へても理窟ぜめにも行かぬ點もあるので差當り餘り堅苦しくない調停機關を設置しやうと云ふことになり地方事務所、居留民會、商工會議所、地方委員會、金融業者、不動産組合、一般貸家業者から一名宛の委員を出し家賃相談會なるものを組織し毎月二回位例會を開き家賃に關する借家人、貸家主間の申出でに對する審議の上調停をなすと云ふ極めて穩健な方法で進むことになつた

左の如く協議決定して五時廿分閉會した

協議事項

一、人力車々體に關し警察に要請の件　警察側は從來部分的に車體の檢査を行つてゐるが之を徹底的に行ひ車體の改善を圖るやう警察當局に要請することに決す

二、失業者救濟機關設置に關する件　提案者安倍委員缺席のため保留となる

報告事項

一、江島町支那人家屋改築方に關する件　前記家屋は滿洲起業、土木建築及び某氏の所有のため滿鐵としては所有者に對し街の發展、衛生、治安維持の見地から書面を以て改善方を慫慂してゐる

二、道路調査に關する件　調査委員の報告あり次いで地方事務所土木係と懇談した結果滿鐵側も道路の惡いことを認め極力改善すべき旨を言明し尚氣付の點は申出るやう希望する處もあつた

三、市場物價に關する件　市場會社の香取事務と會見し種々懇談したが香取氏は逐次改善をなしつゝある旨說明した

地方委員懇談會

既報地方委員懇談會は十八日午後二時からヤマトホテルに於て開催家賃値下問題に關しては各機關代表と協議の上具體案を決定することになつた

莫大な額に上る車夫への支拂ひ
日本人だけで五百六十圓に達す

奉天署では十九日市内要所三ヶ所に於て人力車夫の一日の收入高につき調査した處最高金票の八十錢最低卅二錢で平均四十錢であるが附屬地内の人力車は二千臺と見て一日の稼高は八百圓であるその中七割は附屬地内の日本人が支拂つてゐるので日本人が車夫に支拂つてゐる車賃は一日五百六十圓、一ヶ月六千八百圓、更に一ヶ年にすると實に廿萬二千六百圓といふ驚くべき金高となつてゐる

◇東北迫擊工廠では豫て獨逸技師フオメン氏を招聘し同氏監督の下に貨物並に乘客飛行船二臺新製作中の處去る十五日完成したので近く飛行試驗を行ふ由

◇十九日午前七時頃驛前千代田通入口に於て市内乘合自動車運轉手オルロフ(四〇)と大西邊門外馬車夫徐子忱(五三)の馬車が衝突し馬車は後部右側車輪が使用出來ぬまでに破壞したが被害金現大洋五圓は双方にて半額宛出すことにして解決した

國勢調査講演

沿線各地において講演中の内閣統計局統計官森數樹氏の奉天における講演會は廿四日午前十時から公會堂に於て開催される事になつたが多數來聽を歡迎すると

町の便り

◇佐賀高等學校講演部員は廿七日來奉盛大な講演會を開く由であるが會場は未定である

◇北寧線白旗堡、饒陽河間水害で不通であつたが十八日十五時開通した

◇十九日午前十時頃葵町一番地先を古揚部長が巡邏中風呂敷包を所持する二名の支那人を發見し一名を取押へ調べた處後は饒陽生れ工業區高順棧無職馬志○(二二)と稱し他の一名と共謀して錦町一番地元非某方の留守宅にしのび込み女衣類その他三十點價格五百四十七圓を窃取し逃走中と判明した引續き取調中であるが後は附屬地荒しの大泥棒であると

人事

▲兒玉鐵道省書記官　十八日過奉赴連
▲菊竹鄭家屯公所長　十八日來奉
▲大内第卅八聯隊長　十九日長春より來奉
▲靑木奉天車輛事務所長　十八日來奉
▲高山安東警察署長　十九日朝來奉
▲森岡安東領事　同上
▲奉天水泳選手一行　十八日京城へ
▲廣島文理科大學陸上部選手一行十六名　十八日大連より來奉
▲佐藤代議士一行二名　十九日長春より過奉赴連

鞍山

煙草試作視察
藤田農務課員

滿鐵本社藤田農務課員は十八日來鞍し煙草試作地を視察したが沿線各地に比し成績頗る良好であるから近く再び來鞍して懇ろに指導する豫定であると

三浦内務局長
二十七日來鞍

新任關東廳内務局長三浦碌郎氏は二十七日午前十一時四十四分著列車にて來鞍し製鐵所、警察署、郵便局其他を視察し午後八時發列車にて北行の豫定である

秋田鑛山教授
製鐵所視察

秋田鑛山學校教授豐島輝護、栗原浩次郎の兩氏は近く來鞍し大孤山製鐵所選鑛工場、第三熔鑛爐等を見學の豫定

久留島庶務課長
赴連

鞍山製鐵所庶務課長久留島秀三郎氏は二十一日大連滿鐵消費組合本部に於て開催せらるる理事會議出席の爲め二十日急行にて赴連豫定

庭球試合
橋頭軍を迎へ

鞍山庭球部では二十日午前十時より滿鐵コートに於て安奉線橋頭軍を迎へて對抗試合を擧行すると

笑話會例會

鞍山笑話會では二十二日午後七時より寮町俱樂部に於て月例會を催すと

撫順

新規事業費は八百廿萬圓
炭礦部の六年度豫算

炭礦部六年度事業費豫算會議は十九日午前を以つて終了したが各採炭所その他より提出せる原案は一千四百萬圓であり既報の如く結局一千萬圓位で落付くものと關係者は語つてゐたが萬事緊縮の際の上未曾有の炭界不況と滿鐵收入減の爲大削減の斧鉞を加へらるゝのやむなきに至り新規事業は哀れ全滅の形で遂に八百二十萬圓に削減された、その内譯の主なるもの左の如し

增設等に三百萬圓▲新發電所完成の爲百萬圓▲坑内掘の機械化の爲五十萬圓▲電氣鐵道、機械工場等百萬圓▲新築社宅費五十萬圓

以上がまとまつた方でその他は極めて少額のものである、五年度に比較し約二百萬圓の減額であるが鐵道部の如き五年度同豫算二千六百萬圓のものが六年度は千五百萬圓に削られたのに比すると炭礦部はまだいゝ方だと各方面ではあきらめてゐるらしい、尙營業費豫算は是れから始まると

古城子露天掘の電化機械化を計る爲ダンプカー、電氣ショベル

公主嶺

馬賊六名を逮捕
潛伏中を包圍して

高粱繁茂期となつた昨今馬賊の被害事件が續發し支那官憲は之れが逮捕に頭痛鉢卷とある懷德縣遼陽居住農王成祿方を去る三日襲ひたる馬賊の一味が公主嶺の支那町に潛入したるを探知した同縣公安局第四中隊長劉峰は私服の搜査隊を派し探索中確證を得たので隊長は二十名の部下を率ひ十七日午前七時賊の潛伏しをる何水海方を包圍賊頭鄭貫ほか五名を逮捕して縣署へ送つた

對抗競技豫選
十九日行ふ

鐵嶺開原公主嶺對抗陸上競技出場選手の豫選會は雨天の爲め延期されて居たが十九日擧行となつたので午後

州内外の强豪が晴れの爭霸戰
參加庭球チーム十三
八月十日奉天で擧行

全滿きつての庭球界の呼物「州内外對抗庭球爭霸戰」は愈々八月十日午前八時より奉天國立町滿鐵コートにおいて開催される事と決定した。本大會は昨年は大連で擧行されたが本年は第二回目で出場チームは州内外の粒選りの選手十三チーム、内二組は新顏である。

中固驛長更迭

中固驛長有馬純行氏は今回長春驛事務所に轉任を命ぜられた後任は元奉天鐵道事務所の藤田氏なりと

開原の戶口數

本年六月末に於ける開原地方所管内の戶口は
△戶數　内地人五四七戶、朝鮮人一三九戶、支那人一七五九戶、合計二四四五戶
△人口　内地人二二〇九名、朝鮮人六九七名、支那人一三三一名、合計一六三〇三名

國勢調査講演

十八日午前零時を期し全滿一齊に行はれる國勢調査に就き沿線各地において講演中の内閣統計局統計官森數樹氏は

安東

印花稅
支那街で復活

上田中佐入院

瓦房店

所員に据置貯金
小野寺所長が贈呈

小野寺所長は着任後所員を招待し懇談會を開く筈であつたが時節柄公私經濟緊縮を叫ばるゝ際であり且つ暑中でもある關係上つまらぬ飲食に浪費し身體の健康を害する樣な事ありては業務上にも影響するからとて招待を見合せ、其代りとして所員日支人五十名に對し七月十七日各自に若干の据置郵便貯金通帳を贈與し將來之を基礎として毎月幾分の貯金を勵行し勤儉節約の美風を釀成する事を獎勵せられたが所員一同の喜びは勿論今後偉大なる効果を得へしと稱せらる

果樹組合打合

滿洲果樹組合にては十七日午前十時より地方事務所に打合會を開き左の諸件を附議決定した

消組理事會

一、共同販賣に關する件は努めて價格の維持と販路の擴張とを顧慮し消費組合に委託する外ハルピン長春奉天大連等の沿線に輸出する事
一、物品の共同購入は主として箱及材料なるも全部組合にて共同購入する事となつた
一、常任理事として笠原民次郎氏當選就任した

當地消費組合にては十七日午後五時よりみどり旅館に理事會を開き種々打合をした

人事

▲小野寺地方事務所長　愛刈軍司令官の招待に依り二十日大石橋に
▲佐藤警察署長　同上
▲石井驛長　同上
▲杉井守備隊長　同上

鐵嶺

營口向けの貨物は滿鐵より戎克を
支那側特産商の傾向

陸上競技中止

七月一日から電燈料金値下

夏期警防隊
公安局で組織

詩吟會開催

城内夏期講座

四平街

四日以來の降雨量
坪二石六斗餘

哈市見學團
團員募集細目

金州

爲替と貯金
あすから半日扱

遼陽

西島貨物主任
小崗子驛長に榮轉

杵淵小學校長
夏季講習會出席

石岡氏送別會

この母を見よ　(六八)
日活現代劇臺本より
畸面座同人構成

時代の敗走者

搾取階級の神の假面をつけて踊る虛僞の姿

偉大なる悲慘だ！

新刊紹介

▲西洋哲學物語(下卷)

夕刊 滿洲日報
七月二十一日
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社

金融界共同調査の機關設立具體化
銀行營業の堅實化を其目的とする

【東京十九日發電通】日本銀行では十九日午前十一時より國際シンジケート銀行代表者の會合を催し九月一日償還期限の五分利債券借替解件並に募償引受に付き協議した後、過般の財界對策懇談會以來問題となつてゐた金融業者の共同調査機關設置計畫につき池田成彬氏より說明あり滿場一致の贊意を表し東京、大阪、名古屋の各シンジケート銀行に於て具體的立案を爲し追て實現を期することゝなつたが該機關は英國の產業助成會社又は證券投資會社と全く異り我國獨得の計畫によるもので今日迄に大體意見の一致を見たる點は

一、株式組織とすること
一、資本金は大體職員五十名位の人件費を支出するに差支なき程度とすること
一、主要產業部局の顧問に現役に非らざる經驗者を擧ぐる事
一、社長には現役に非らざる斯界の權威者を擧ぐる事

等であつて調査の目的は現在の個々の調査機關の缺點を補ひ完全なる科學的調査を爲し銀行營業の堅實を期せんとする

農村の救濟を協議
帝國農會で農村の負擔輕減を近く政府に要望する

【東京十九日發電通】陰鬱なる不景氣は農村を極度に窮乏せしめ農民は自暴自棄に陷り稍もすれば直接行動化せんとする傾向は全國の農民に及び事態漸く切迫を告げて來たので帝國農會では十八日午前十時から同會事務所に緊急幹事會を招集し農林省からも係官列席地方實情の報告に次ぎ對策を協議したが、各代表は交々立つて農村經濟不安の深刻化を訴へ全般に自暴自棄の氣風の横溢してゐる旨を陳べたが、此際何等かの對策を講ぜない限り憂ふべき事態が招來されるであらうと憂慮されてゐる、目下考へられてゐる對策は農村救濟資金の支出、自給自足の獎勵、農產物加工の講習、農民負債の有利借替等であるが、農村の窮況を打開するには手緩い限りで期待されてゐない、帝國農會では引續き全國評議員會、全國農民大會等を開催、危機に瀕した農村の救濟の爲め救濟資金の支出農村負擔の輕減の爲め官吏の減俸要求等を政府へ要望する由である

獨逸國會解散
九月に總選擧

【ベルリン十七日發電通】ヒンデンブルグ大統領は本日ドイツ國會に對し解散を命じた理由はドイツ國會が大統領の提出せる緊急税改正勅令の決令審議の結果三十六票對二十一票で否決せる爲めである總選擧は來る九月十四日以前に行す新國會は十月十四日以前に召集ひる旨發表した

米國上院の軍縮表決、來る二十二日

【ワシントン十九日發電通】アメリカ上院特別議會は十九日ロンドン條約の各條項の逐次朗讀を開始したが、これが終つて後總ての保留提案に對する投票を行ひ其の翌日愈々條約に對する最後の表決をなす事になつたが、各派とも月曜前の表決をせぬ事に同意したから結局最後の表決は二十二日の火曜日となる模樣である

朧海線の馮玉祥氏

朧海線出動中の馮玉祥將軍はこふした簡單な服裝で百姓等と世間話をしたり、軍隊の連中に百姓の耕作手傳をさせたりしてゐる、(上圖)は開封附近で百姓耕作の手傳をなしつゝある馮軍の下士卒(下圖)は砂の上に腰をかけ乍ら耕作を眺めてゐる呑氣な馮玉祥將軍(寫眞は最近戰線より北平へ歸つた支那側要人の撮影)

對支文化事業を國民政府が妨害
留學生の補助拒絕命令

【上海十九日發電通】國民政府敎育部は對支文化事業を日本の對支文化侵略なりとして妨害的態度を執つてゐるが、最近留日學生及び日本見學の支那學生は今後對支文化事業部の補助を受けるなとの命令を發した

擴大會議と各方面の情勢

【天津特電二十日發】左右兩派の合流にて國民黨擴大會議開催の宣言を見たが會議の成立に就いて次の如き觀測が行はれてゐる

汪精衛氏

汪精衛氏は聯名宣言に郭泰祺氏の代理で署名したが其從來の主張から果して眞實に贊成したか疑問だ現に陳公博氏の許に來たと言ふ贊成電報は發表されてゐない、飽く迄廣東第二期委員を國民黨の正統なる實體と認めてゐる汪精衛氏が西山會議派の共贊成宣言に言ふ共產黨驅逐の本家論を肯定するかどうか曾て妥協を說かず理論闘爭に終始してゐる汪氏には恐らく大なる不滿があらう、不滿あれば北上は殆ど難しいと見らなくてはならぬ

西山派

西山會議派は共產黨呼りをつゞけて來た關係から汪精衛氏と果して合流をつゞけ得るか、假りに擴大會議が成立しても實力派と提携して左派に對抗することにならう故に兩派の爭闘は今後もつゞけらる

閻錫山氏
ゝものと考へらる

閻錫山氏は兩派を妥協せしめたことに就いては成功したが右の如き關係から政府を黨部の上に置いて果して確乎たるものに組織し得るか 況んや反蔣派の實力は僅に黄河流域を出でざるに於てをやだといふのである

昭和製鋼所問題で仙石總裁と記者團の問答

【東京特電十九日發】昭和製鋼所問題は既報の如く去る十四日關係閣僚會議に於て遂に結論に至らず散會したので其後此問題が果して如何なる解決に向ふかは各方面の注目を惹いてゐるが、これに就いて仙石滿鐵總裁は十九日午後滿鐵東京支社に於て滿鐵出入記者と會見の際同問題を中心として左の如き問答を交した

記者 齋藤總督とお會ひになつたか
總裁 イヤ、未だ
記者 何時會はれるのか
總裁 何で齋藤と會はねばならぬのぢや
記者 昭和製鋼所の問題で總裁に會ふ心算だと齋藤さんが言つて居た
總裁 フン、左樣か
記者 一體此の問題で朝鮮總督と會ふ必要はないのか
總裁 先方ではあるか知らぬが此方では別に必要も感じて居ない
記者 昭和製鋼所問題も十四日の會議では結論に至らなかつたが第二回は開くかどうか
總裁 ソレは分らん、必要があれば開く、無ければ開かんだらう
記者 ソレでは問題は一體什うなる、中止するのかソレともやるのか
總裁 これから調査の上決めるのぢや
記者 ソレに就いて拓務省では近々何か聲明書を出すとの噂だが
總裁 餘計な事じや、拓務省がそんな事をする筋合では無いのぢや
記者 餘計な事と言はれるのが監督官廳ではないか、現に拓務省は昨年昭和製鋼所事業の中止命令を出したぢやないか
總裁 ソンな命令なんか受付けん直ぐ戻して了つたヨ、認可するとかせんとか云ふことなら話は分るが、事業をやるかやらぬかと云ふ樣な場合幾ら監督官廳でも餘計な事をする必要はない
記者 總裁の希望する政府の回答は有つたか何うか
總裁 大藏省から回答がないので十四日の會合となつたのぢや
記者 それで政府の回答があつた譯か
總裁 左樣ぢや、そして後から種々の參考書類を與れたヨ
記者 では問題は什うなるのか
總裁 その參考書類を調べて良く研究して極めるのぢや
記者 此の研究調査は何時終るか
總裁 ソレは未だ分らん
記者 一年後か二年後にでもなるのではないか
總裁 フ、ウン、そうかも知れん
記者 更らに專門家をして實地調査させるといふのは事實か
總裁 それは近い内の仕事ぢや、政府に關係無くやるのぢや
記者 此の仕事はもう政府に關係なく極めると云ふ意味か
總裁 ソウぢや、それでも遣れぬとなると止めるばかりぢや
記者 理事はもう全部決定したか
總裁 未だ三人殘つて居る
記者 其の內定の分を入れて理事は何人になるか
總裁 合計八人ぢや
記者 もう增員しないか
總裁 規定は四人以上ぢや、何人でも增そうと思へば增せる
記者 十二部も出來たから後は社員理事でも採用したら怎うか
總裁 適任者さへあれば……
記者 社員理事が無いので社員の士氣が沮喪せぬか
總裁 お互ひに緊張して働らけば士氣は沮喪せんぢや
記者 燈臺下暗しで案外脚許に人材が居るのでは無いか
總裁 先づ働らいて見せる事ぢや そしたら自然認められるやうになるものぢや

津浦線督戰のため閻氏濟南へ出發
石家莊で覃振氏と會見して政府問題を協議す

【北平特電二十日發】閻錫山氏は十九日正午太原發石家莊に着し同夜擴大會議代表覃振氏と正太ホテルで會見し政府問題を議し、直ちに形勢重大に變化せる津浦線の督戰の爲め濟南に出發した

覃振氏と記者團石家莊到着

【北平十九日發電通】擴大會議代表覃振氏と日支記者團は今朝石家莊に到着したが閻錫山氏より即時太原發石家莊に向ふべしとの電報に接したので一行は氏の來着を待ち會見し明日鄭州へ向ふ事となつた、閻錫山氏の來石は津浦線の形勢に鑑み總司令部を一歩進めたもので或は直ちに前線に出動して督戰すべしと見られる

馮、閻兩氏との間には完全な諒解がある
香港から赴燕の途中長崎で汪兆銘氏の時局談

【長崎十九日發電通】反蔣介石氏の旗幟を掲げ雌伏久しき支那革命の大立物汪兆銘氏は北方軍閥に擁立され十九日午後三時長崎に入港の郵船梧州丸にて香港より到着北平に向ふが、氏は陳步顯と變名し一行十名である、氏は語る
南京政府樹立の際は自分も同じ革命の志を有し蔣介石を支持したが、蔣の政治下に於ける支那は內亂絕へず、これ蔣の惡政の結果で遂に自分も反蔣的態度を採ることになつたのである、新政府の抱負は專政々治を廢し民主主義を確立するの一語に盡きる、今や反蔣各派は共同戰線を張り余と馮、閻との間には完全なる諒解を有してゐる、北方新政府の顏觸は今の處不明であるが樹立の上は即時議會を開き度いと思ふ、對張學良との關係は張は目下嚴正中立の態度を採つてゐるが今後我等に與するを希望する對外政策は孫文の遺志に依り親善主義を採る
なほ一行は上陸後ジヤパンホテルに滯在し門司發天津行便船につき照會中にて便船の都合にて大連經由北平に向ふかも知れぬが、船會社よりの返電なき爲め出發の期日經由地不明である

ヘレン陛下の御離婚取消し

【ブカレスト十七日發電通】ルーマニア皇帝カロル陛下の前皇后ヘレン陛下との御離婚は取消しとなつた旨本日公式に發表された

滿鐵雇傭支人は金建で支拂ふ
生活費の調査に基き一般相場の換算率によらぬ

銀價の暴落は全く底止する處なく暴落に暴落を重ねてゐるので日常品の大部分を外國品に仰いでゐる一般支那人の生活費は益々騰貴しつゝあるので最も多く支那人を雇傭してゐる滿鐵では賃銀を銀建にしてゐる關係上對策を講ずる必要があるので前月から今月にかけて生活必需品六十數種について物價調査を行つた處高粱、粟其他直接生活に關係ある食料品が大部分土產である結果、加工品に比し昂騰率が少ないのと且つ一面日本品中昨今値下げした商品が多いので五等品種についてウエートを附し作表した結果は銀の相場が一體六七分の暴落であるに反して生活費は八分乃至九分見當の騰貴であることが明かとなつた、滿鐵では右生活費の調査に基いて賃銀を金に換算して渡すことゝなつたので今後も滿鐵は必ずしも市中相場に依らず滿鐵だけの換算率を設けると

遼寧省の新豫算
軍費は月二百五十萬元

【奉天特電二十日發】遼寧省の十九年度新豫算は七月から實施されてゐるが、一ケ月軍費二百五十萬元、政費百二十萬元、臨時費三十萬元、合計四百萬元で前年度に比し月額約百三十萬元の減少である

無產三派の合同大會
黨首は麻生氏

【東京廿日發電通】日本大衆黨全國民衆黨地方無產中間派合同大會は廿日午前十時より芝協調會館に開會し黨名を全國大衆黨黨首に麻生久氏を推すに決した

西園寺公御殿場へ

【御殿場廿日發電通】西園寺公は十九日興津坐漁莊より當地別莊に轉地して來た

うらる丸船客

【門司特電二十日發】廿一日大連着うらる丸乘客中の主なる者左の如し
佐藤正典、田路舜哉、向田直正、中村五郎、高砂正太郎、淺見渉、片桐康憲、寺島由松(辯護士)猪子富齊之助、藤波修、汐見三郎(同志社大學教授)程國瑞、菱刈虎之助、宮崎三郎

人事

▲兒玉國雄氏(鐵道省事務官)廿日出帆はるびん丸にて內地へ
▲宮部幸三氏 同上
▲横山正男氏(ヤマトホテル事務) 同上

日曜閑話
颱風は生蕃語か
―歐洲から逆輸入さる―

七、八、九の三ケ月は日本にありては暴風雨の時季である。二百十日の前後、二百二十日となれば、まづ暴風雨の時節から解除され、やれやれといふところ。今年も早九州からH本本土、朝鮮方面を襲ひ、その餘波が、この滿洲にまで影響し、この頃、例によつて天候不順。だが本年は、支那の曆によるといふと六月が正閏の二ケ月あり、また七月も二十日といふのであるから、八月上旬頃までは大陸、天候不穩と見ても、八月中旬から九月にかけて、すなはち二百十日の前後、例によつて有り難くない暴風雨は見舞はれぬとも限らぬ。實に厄介な話。

× ×

それも臺灣島附近、殊に石垣島を中心として七、八、九月の間に低氣壓が發生し、それが東支那海を東北に進行して普通、九州から日本の本土を襲ふのであ。年々歲々、二百十日といへば、日本では直ちに大荒れを聯想するぐらゐになつてゐる。世界の何處にも例のないもので、これH本の國民性、民族心理を形成するに與つて、また力あつたともいへやう。

× ×

われわれ日本人が二百十日といふ觀念と同じやうな觀念が、臺灣の生蕃の頭にも刻みつけられ、恐ろしい大荒、大暴風雨、それがタイフーンといふ名稱で呼ばれてゐたものといふことも推測し得るのである。タイフーン、何か芝居の外題にもあつたと思ふが、とにかく何となく一種の壓迫を感ぜしめられるやうな言葉である。

× ×

タイフーン、日本でも元は大風などゝいつてゐたが、それがたまたま臺灣方面に起つた低氣壓の移動によつて進行する事實な特殊のものであるといふところから、これに颱風といふ新造字を當てはめることになつた。恐らく台がタイに通じて臺灣に發生して吹き來るといふ意味も含めたものであらう。颱の字は支那には全くなかつた。

× ×

ところで、このタイフーンといふ言葉であるが、西洋ではギリシヤ語から來てゐる、すなはち巨人とか風の神などといふ言葉から轉化したものゝやうにいふが、西洋の文獻に徵すると Typhoon なる字は一五六七年には Touffon 一六一〇年には Tuffon 一六八〇年には Tuffoon と呼ばれたやうに時代によつて變つて居り、例の航海家、冒險家などが、東洋から傳來したものではあるまいか。支那には大といふ字と風といふ字はあるが、タイフーンなるものゝ事實が支那の、殊に長江から以北、いはゆる中原に存在しなかつたところからすれば、それが臺灣の生蕃から歐洲の航海家、冒險家に傳はり、報告や記述として一般に歐洲へ流布せられたものと推定されぬこともないのである。

× ×

そのタイフーンに對し、われわれ新聞人が颱風の字を當てはめたなどは、最も要を得てゐるものといふべく、大風といふやうな言葉と區別したところに、颱風の特殊性の存することも承認された次第である。謠曲「翁」のうちの難解文句が、西藏語から來てゐるか、それとも北滿の韃靼などの傳來かは知らぬが、この頃、最も厄介なタイフーンなる言葉が、臺灣の生蕃語に發生してゐるといふのもマンザラではあるまい。而して吾人は、重ねて颱風なる造字をした新聞人に對し敬意を表する。(一記者)

天氣豫報

廿一日(南東の風)曇一時晴れ

各地の溫度

	十一時	昨日最高
大連	二四・六	二八・五
旅順	二四・八	二七・六
營口	二八・三	三〇・〇
奉天	二六・七	三〇・一
長春	二六・九	二七・七

滿潮 (午前五時四十分 午後五時卅五分)
干潮 (午前零時十分 午後十一時五分)

九州の暴風雨被害

福岡縣下の被害 一千萬圓に及ぶ 死傷者は九十名

【福岡十九日發電通】十九日午後一時迄に判明せる福岡縣下被害は死者八名、負傷者八十二名、家屋倒潰千六百四十八戸、半潰二萬二千七百四十九戸、其の他破損七千二百七十二戸農產物被害を合せて一千萬圓に上ると

長崎縣下も損害甚大 一千萬圓突破

【長崎十九日發電通】縣警察部では全縣下の被害一千萬圓以上と見られ之が復舊には材木、煉瓦、瓦等莫大を要すべく無謀の賣値を唱へ又は賣惜みを爲すものなきを保し難きに依り十九日附管內各署に宛て不正商人の取締方を嚴命した

完全な家は一軒も無い 長崎縣郡部の損害

【長崎十九日發電通】南松浦郡中有川、奈良尾、魚目三村の倒潰家屋十、非住宅二十、發動船沈沒七和船沈沒三十、堤防決潰三、北高來郡海岸方面の住家にして完全なものなく全部を通じて倒潰一割と見られ即死二、負傷八、農作物全滅の個所多し、南高來郡の內被害最も甚だしかるべしと見らるゝ東海岸方面島原町外十三ケ町村は結局未着なるも他の判明せるもの住家倒潰八十七、半潰百四十三、死者一名、負傷者八、馬の即死一、西彼杵郡矢上、喜々津、日見三ケ村の住宅倒潰九十四で縣當局の談に依れば水稻の被害はさしてなかるべきも大豆、小豆、粟、西瓜其の他果實、蔬菜類は全縣下を通じて五割以上の被害と見られてゐる

熊本縣の被害

【熊本十九日發電通】熊本の被害は本日迄までに判明せるもの死者四名、負傷者四名、倒潰家屋住家八十五戸、非住家百四十二戸、流失及沈沒せる船舶三十一隻

佐世保小學校 校舍全潰す

【長崎十九日發電通】長崎縣保安課に達したる佐世保市の被害は家屋の倒潰八戸、半潰十戸、佐世保小學校々舍全潰、沈沒船汽艇二隻發動機船、團平船十六隻ボート數十隻、破損五隻

東海道線開通

【東京廿日發電通】興津、江尻間故障の爲め不通となつた東海道線は二十日午前一時開通した

琴湖江大增水 附近村落危險

【京城十九日發電通】慶尚北道漆谷郡から洛東江に流れる琴湖江は十八日午後十一時六米增水更に二米を增せば琴湖、河陽等一帶は全滅の外ない、尙東海岸方面は船家屋の被害多く甘浦九龍浦兩港は全滅を傳へらるゝも通信杜絕の爲め詳細不明

天皇陛下御臨幸 士官學校卒業式に

竹田宮、李鍵公も御卒業

【東京十九日發電通】陸軍士官學校では十九日天皇陛下の行幸を仰いで本科四十二期學生二百十八名、豫科二十一期學生（支那學生）八十五名の卒業式を擧行した、此の日天皇陛下には午前七時四十五分御用邸御出門、同八時逗子驛御發同九時十五分東京驛御着、直ちに士官學校に行幸、諸員奉迎裡に便殿に入御遊ばされ、次で初給に御召され、校庭に於ける分列式を御閱兵の後優等生の講演を御聽取、劍術の熟演を御覽あり、再び校庭に於いて本年御卒業の竹田宮恒德王、李鍵公殿下を始め騎兵科二十二名の騎乘の妙技を天覽の後、卒業證書授與式に臨御、優等學生に恩賜の銀時計を下賜遊ばされ、十一時五十分同校御出門、午後零時五分東京驛御發、葉山御用邸に還幸遊ばされた

新選手で固むる安中軍 面目一新の奉中軍

豫選大會出場チーム

安東中學チーム

地平線上の彼方に——赤い夕陽が靜かに落ちて行くとアカシヤ樹の並木をゆるがせて新綠の葉末を流れて行く一風の淸涼に今まで汗とほこりとにまみれ球に夢中になつてゐた選手達の面上には包み切れぬ緊張の色が漂ふし疲れ切つた其の瞳にも何物かを搦はなければならぬ大きな抱負も見える

安東中學チームは創立の日尙淺く僅く三ケ年しかも本年度のチームは今春新らしく組織されたと言ふてもよい程選手の變り樣で、本年三月投手內村、捕手伊東のバツテリーの外に同軍の至寶主將宮岡遊擊手、打擊を以て恐れられてゐた吉塚左翼手の卒業を見[illegible]の爲め[illegible]練習の苦しさも[illegible]今春以來[illegible]選手筒瀨、酒井兩氏の熱心なコーチと市川教諭の涙ぐましい指導に依つて連日血のにじむ樣な猛練習を續けてゐる安中四百健兒の名譽を双肩に擔ひ炎熱九十度、シトシトと降る[illegible]の中汗と土に[illegible]の見分けもつかなくなつた十數名の野球部員は今や覇權目指して精進してゐる

▽——△

[illegible]中原さう言つた[illegible]よく素晴らしい長打をカンくと飛ばしてゐる打擊の練習がすむと少しの休む暇もなく直にシートノツクが開始される筒瀨コーチの猛烈なノツクは選手の疲れを問題にせず倒れて後止む迄續けてゐる

▽——△

內野の守備では宮岡主將の後釜として中原之に變り確實なゴロの構へ投球モーションの速さ宮岡先輩にはおとらぬ好守備振一段と光つてゐる、投手板には正投手として齋藤を置き五尺六寸の長身を利して投ずる大きなアウトカーブ、第二投手としての藤枝は左利にしてサイドスローの速球に敵の打擊を封ぜんとしてゐる

▽——△

今迄の歷史をたどつて見るのに新興チームにして優勝の榮を擔つたチームは極めて少ない、然し故人も言つた伸びんとするものは先づ屈すと一路優勝の榮を目指して邁進する同軍の必勝を祈ると共に此の言葉を同軍に捧げたい

▽——△

同軍選手は二、三、四年を以て組織されはち切れる樣な元氣を以て安東市を代表して來襲する同軍の力戰は必ずやファンの期待を裏切らないであらう、安東中學チームのメンバー次の通りである

投 齋藤（三年）　捕 巻淵（三年）　一 藤枝（四年）　二 松井（三年）　三 半田（四年）　遊 中原（四年）　左 高橋（四年）　中 桑門（四年）　右 上野（四年）　補 安房（二年）　山中（二年）　鈴木（一年）

奉天中學チーム

昨年の全滿中等學校野球豫選大會に於てイの一番優勝組たる青島中學チームと決勝し惜くも敗れた瀋陽の雄奉中チームは本年こそはと意氣物凄く同校細川儀一氏の獻身的努力に以て充實したるメンバーを揃へることが出來た、去る十日學校休暇に入ると同時に同校寄宿舍兩寮に合宿し猛練習を續けて居る

▽——△

チーム監督たる細川儀一氏は勿論名和校長まで炎天に汗ダクくで練習してゐる、チームの側に出かけ必勝を期しての最善の練習を督勵してゐるその陣容は左の通りである

三治雄男・上田幸男
良清盛志三男　仁
久　木登二
坂岡々口野戸好・池田正明
長松佐水細城木村男　俊夫
1 2 3 4 5 6 7 8 9
齋藤　片山勤・森尾護・館田利雄

監督 細川儀一　主將 松村清治

投手長坂は昨年大會にも出場し青中小平と双び稱されたが本シーズンに入るや益々元氣で彼の得意とするカーブは益々冴えを見せて居る、これを援くる松村捕手は強靱な體格の持主で元氣なことは同チーム第一で、最強打者として他チームより恐れられて居る、而して佐々木水口細野城戸の各々野手に堅壘を以て誇り池田木村齋藤片山の外野の好守は松村投手をして後顧の憂をなからしめる左翼手池田はまた投手として活躍すべく左翼片山は同チーム中の最年少者で現在二年生である

昨年に比し同チームは面目一新し青中、大商の牙城に食ひ込まんとして居る、同チームの活躍こそ本大會を飾るものと大なる期待を以て迎へられて居る（寫眞は安東中學チーム）

對伊デ盃戰 米國三勝 愈よ佛國とチヤレンヂ

【パリー十九日發電通】デヴィスカツプ、インターゾーンアメリカ對イタリー第二日ダブルスはイタリー組奮闘の効なくアメリカの勝となり斯くてアメリカは三勝してフランスにチヤレンジする事となつた

アリソン、ヴアンリン（米）五—七、六—二、六—四、一—六、六—三　モルプコ、ガスウリニ（伊）

詳細不明

工大學を押へ明大が優勢

鶴田、佐田共に一着 汎太平洋水泳大會

【ホノルル十八日發電通】汎太平洋水泳大會第一日の成績左の如し

千五百米自由型
一着　クラツプ（米）二十分六秒二
二着　カリリ（布）
三着　武村（明大）廿分四十三秒

二百米平泳
一着　鶴田（明大）二分三三秒
二着　馬渡（明）
三着　ソーザ（布）

二百米自由型
一着　佐田（明）二分十八秒
二着　カリリ（布）
三着　ゾリラ（アルゼンチン）

六百米リレー
一着　エール大學チーム　六分十九秒八
二着　フイマカニ、クラブ（布）
三着　全ハワイチーム
四着　明大

第一日の得點は明大二十八、エール大學二十一（飛込みの得點を含む）で明大はエール大學を押へた

【ホノルル、十八日發電通】第二日は前日に引續きワイキキ戰勝記念プールに開始された、此の日クラレンス、クラツプは八百メートル自由型で十分十五秒四の世界新記錄を作つた各競技の成績左の如し

△八百米自由型
一着　シー、クラツプ（米）十分十五秒四（世界新記錄）
二着　カリリ（布哇フイカマニ倶樂部）
三着　武村淸（明大）十分四〇秒
四着　安田末喜（明大）十分五〇秒
五着　ゾフラ（アルゼンチン）
六着　リーデイ（米）

△四百米平泳
一着　ミラード（エール大學）六分二二秒六
二着　鶴田義行（明大）
馬渡は四着

△百米自由型
一着　マユエル、カリリ（布哇フイマカニ倶樂部）五九秒六
二着　パツトラー（エール大學）
三着　プラインズ（エール大學）
佐田は六着となり佐多、浦木共に失格

△二百米背泳
一着　マイオラ、カリリ（布哇フイマニ倶樂部）二分三九秒
二着　竹村淸（明大）

△八百米リレー
一着　布哇フイカマニ倶樂部　九分二九秒四
二着　明大チーム九分三七秒三
三着　エール大學　タツチの差
四着　オール布哇

第二日迄の得點
明　大　五一點
エール大學　四六點

高松宮殿下 シヤンパンの古戰場御視察

【パリ十九日發電通】シヤンパンの古戰場御視察になつた高松宮殿下は十九日午後パリへ御歸還遊ばされた

列車顚覆は何者かの所爲

ボールドの犬釘を拔取つて 現場は全く修羅場

【ハルビン特電二十日發】五家站、雙城堡間に於ける列車顚覆の際、二等車にあつた滿鐵社員加藤氏は救護車にて歸哈、左の如く語る

ハツと眼を醒ますと列車はレールを外れて轉がり下るを見ると水溜に一方の窓硝子を破り逃げ出した、日本人は高橋隆一氏外女子供が乘つてゐたが幸無事であつた所が眞夜中の事で眞暗がりに皆目見當がつかず、荷物や懷中物を紛失したもの、重輕傷者の呻き叫ぶ聲に全くの修羅場と化し、鬼氣迫るを覺えた、原因は連日の雨に地盤が龜裂してゐたためと稱するがレールのボールドが外され、犬釘十數本拔いてあつた點からすれば單なる事故ではなく何か目的としたもので馬賊の所爲とすれば直に列車を襲擊せねばならぬが、そのことはなかつた

尙負傷者二十九名は何れもハルビンに送られ病院に收容加療中である

はるびん丸の御客さん 大商の選手を乘せて內地へ

廿日出帆はるびん丸……來る廿五日より三日間京都において開催される全國青年演武大會に出場の爲當地大連商業劍道部選手梅宮正外五名が高野教諭に引率され、同じく來る廿七日大阪濱寺において開催される全國中等學校庭球大會に出場の同校選手の石野健雄、國松隆市君が、先輩、學友等に勵まされ出發した、同じく早稻田大學滿蒙視察團十六名も同乘歸國の途に就いた

聯絡會議は先づ成功 兒玉事務官一行歸國

オデツサにおいて開催された歐亞聯絡會議に出席中であつた鐵道省事務官、兒玉國雄、宮部幸三兩氏は廿日出帆のはるびん丸で歸國の途に着いたが埠頭には關東廳關係滿鐵關係の人々で多忙を見せた同氏等は

「ロシヤが腰を入れて一生懸命にやつてゐてくれるので非常に好都合だ、會議の模樣等は哈爾賓でもお話したし重複を避けるが大體において成功と云へる、まづ歸つて報告した上改めて關係方面の協定をとげる筈だ」

老虎灘の惡船頭

高い船賃を貪る 船頭を取り締る

老虎灘海岸は夏に入つてから太公望や納涼船遊びで非常に賑やかであるが從來老虎灘の船頭はこれ等の船賃を高く貪るため太公望や納涼者にとつては頗る不愉快な氣分を與へることがあつた、これがため老虎灘派出所では今回營業舢舨に數字板を打ちつけ更に「一時間三十錢、半日（六時間）一圓五十錢、一日（十時間）二圓五十錢」といふ賃金標を掲示させることゝし若し不當の規定以上の不當賃金を要求した場合は船の番號と不當要求賃金とを是非派出所まで通知して貰ひたいと、尙老虎灘會でも老虎灘の發展策として派出所と共力し船賃を一定の上不當の要求を絕對に防止することゝなり遊覽者をして愉快に遊ばせることに努める筈だといふ

廣發丸を沈めた英船長 あす取調べ

旣報山東角沖合において當地松浦汽船所有廣發丸と衝突これを沈沒せしめた英國ブリユーフアンネル船エネアース號（一萬五十八噸）は廿日朝上海より入港した當時の模樣についてはW、K、オールス船長は口を緘して語らず「何れ役所の調べがあるでせう」それまでは」と事情發表を留保してゐるが當地海務局では目下石井廣發丸船長につき事情聽取中だが對手船たるエネアース號の入港を機として廿一日同船船長オールス氏を召喚木村理事より取調べる筈

本社劇艶色生膽秘譚の舞臺

訪日伊機 チ、ハル着

【ハルビン特電二十日發】イタリー訪日飛機はウエルフネに無事着陸してゐたが、十九日飛行を繼續ハルビン通過すると

【ハルビン特電二十日發】大倉男美術展に答禮の訪日イタリー飛行機は本日午前八時四十五分チチハルに着いた

奧元帥葬儀 二十四日執行

【東京十九日發電通】奧元帥の葬儀は二十四日午後三時より四時まで青山齋場で執行することゝなつた、葬儀委員長は金谷參謀總長と決定した、儀仗兵は多分一ケ旅團となる模樣である

侍從御差遣

【東京二十日發電通】畏き邊りでは二十日午前十時奧元帥邸に牧野侍從御差遣御慰問あらせられた

首相、鎌倉に靜養

【東京二十日發電通】濱口首相は午前九時新橋驛發鎌倉別莊に向つたが一泊靜養の上明朝歸京の筈

僞密偵が身體檢査 所持金を拔取る

二十日午前二時ころ大連若草山東顯本寺備ボーイ丁興樂（二二）は常盤橋附近を通行中、大連署の密偵と稱する一名の支那人に「一寸來い」と大連技藝女學校宿舍裏の空地に連行され折柄待ち合せてゐた二名の支那人と共に身體檢査をされ歸宅を許されたが、歸宅後財布を調べて見た處金十圓紙幣一枚拔き取られてゐるのを發見吃驚して大連署に屆け出たので目下犯人捜査中であるが、一面また丁興樂の申立てにも不審の點あるので取調中である

海水浴中溺死

十九日午後二時ごろ北平から避暑のため來連、老虎灘百四十七番地に滯在中の李志平（二三）は老虎灘と石槽屯との中間小老虎灘海岸で海水浴中心臟痲痺を起し溺死した

奉天で國產の自動車を製造

【奉天特電二十日發】兵工廠の迫擊砲廠では廠長李宜春氏の首唱により嘗て工廠內に自動車部を設けドイツ人及びフランス人技師を傭聘して自動車製作に努力中であつたが十八日迄に五臺を製造することを得たので近日中に各方面の參觀を求めて盛大なる試運轉を擧行することになつた、同廠では支那全國を通じて國產自動車の魁であつて將來自動車の舶來を止めて見せると大變な鼻息である

侠艶一代男
次回連載新講談梗概

加州金澤犀川の渡守平助の愁傷清吉は同藩家老松浦彈正の息市之介に些細なる事より無禮打にされんとしたを、同藩近習妻木鐵太郎に救はれ、後にそれが原因して妻木を暗打ちにせんとした市之介の附人二人迄を殺害切腹の餘儀なき破目の憫で食祿を召しあげれ罪の償ひとして江戸屋敷加賀部屋仲間（加賀鳶）に當時の慣習として落されたが意外にも清吉は一替ゐ江戸町火消八番組下か組の纒持として羽振を利かせ、昔、老父が蒙りし遺恨から神田祭禮の日に加州侯の供先を亂す椿事出來、この際もまた折よく供うちに加はる妻木鐵太郎の爲に危ふき一命を救はる。

三年後の同祭禮の夜、明神下料亭忍で舊事を回想して懷しき物語をしてゐる二人の座敷へ、堀の藝妓叶家の一葉か逃げ込んできた跡を追ふ加州藩士大塚源十郎との間に遺恨をかもすに到る。源十郎は自ら御てまと云ふ八丁火消取締役を志願し部下である鐵太郎に怨みを報ゆる機會を覗ふ。一方に加賀鳶と八番組とは消火區域を一つにせる爲め兎角に紛擾が絶えず、いつも双方で喧嘩の花許りを咲かす犬猿の間柄であるが、か組の清吉と鐵太郎は主従、兄弟よりも親密である。仕事の上で敵である兩人の間に、叶家一葉を絡んで、戀の花は咲くが、情と義のために兩人ともに妓を讓り合ふハメに陥る。外に小便組と云はれる大名旗本荒しの姿、竹代とその父、明き盲目の消玄、火の玉小僧典膳など洪網をくぐりて惡の限りを盡し、毒婦おさしみお象の執拗なる纒纂鐵太郎の男らしさに惚込んで、死を賭けて言ひ寄り、追ひ廻すのと、小便組竹代の美人局や悪計をあばく所から更に此等江戸を荒す奸惡なる一味との間にも事件を惹き起すに到る。鐵太郎をめぐつて三巴の妖艶の花は開らくが、仲間に身を落しても、あくまで士魂を失はぬ彼は加賀鳶と云ふ大名抱へ火消に一つの變つた礎を殘す程に、同じ役仲間を善良に感化する、本郷の火事に消し口爭ひによりか組の纒を奪つて、加賀邸へ引あげ、同組の清吉が單身、それを取り戻しに乗り込み、こゝでもまた三度、鐵太郎は清吉の危ふき生命を救ふことなどあり、表面は敵である兩人の間は一層に親愛の度を深める。

加賀鳶八丁火消組頭役である大塚源十郎は一葉に絡む戀の遺恨から鐵太郎を失はんとし、神田の失火の際に彼を火中に突き落さんと計るを、その身代りとしてか組の清吉が一身を犠牲にし、彼がこれ迄うけた恩義に報ゆる。源十郎は叩き斬られた。

清吉の死骸の側で、鐵太郎は江戸の花と云はれる町火消や人足の間にも[illegible]ない、美しい優れた情義を持つ者のあるのを知つて、男泣きに泣いて悲しみの底に悦んだ。

殿のお許しが出て、再び彼は武士に取り立てられる事になつたが堅く固辭して、一生を加賀鳶として送る自由を願つた。

作者の言葉
『侠艶一代男』執筆について
華紅ケアル米田祐太郎

元祿文化を誇る爛熟たる華の終に徳川幕府の末路は暗示されてゐる。

戰國の遺風は地を拂つて、優柔な卑俗が上下を侵蝕しつゝあつたそれは細身づくりの太刀に華車を競ふ武士階級が長夜の夢に現をぬかし、編笠茶屋に、猪牙舟に、赤岩の遊廓に、屋根船の粋を悦ぶ色里の味を覺えては、町人でなくも魂を天外に飛ばすのに變りはなかつた。

湯女の肌合ひ、若衆、女歌舞伎の色修行、辰巳、堀江の藝者は置いて、岡場所の地獄――山猫、けころ、船饅頭まで八百八街、脂粉の香に充ち、妖冶な媚態に眩惑した。

この間に生命を的に生きて居る一團があつた。士魂は僅そこに殘され、闇の夜に咲く江戸の花。町火消百五十二組、旗本定屋ひのガエン一組、大名火消の三種類が猛火の下に鎬を削つた。

加賀鳶は百萬石金澤城主前田侯のお抱えで。

太鷲の主流をなすもの、侠と義の二筋に生きる男の中の男一匹。舞臺は江戸から加賀の金澤、半妓才士は云ふ迄もなく、當時の世相と人情を描いて、善惡兩道の花をさまざまに咲かしてみたい念願である。

小便組や美人局、目明き按摩やおさしみお象などと云ふ變つた所も躍出する。

作者の手前味噌はこれ位に留めるが、どうか同作者伊藤松雄氏同様に御愛顧を賜らんことをお願ひします。

終りに一昔前、十年餘りを生活した滿洲の舊知に紙上で再びお眼通りする光榮を悦んで居るものであります。

今夜限りの『艶色生膽秘譚』
あすから二の替狂言
讀者優待割引で連日盛況

劇界の覇王河部五郎一座の實演は十八日初日以來非常な好評を博し連日盛況を呈し充實した舞臺の熟演は完全に觀客を魅惑して大喝采を博し御目見得狂言は今夜限りで特に本社劇「艶色生膽秘譚」は舞臺に油が乗つて興味の中心となつてゐるが、愈々今晩限りであるからこの機會を逸せぬやう昨夕刊を以て大團圓となつた「艶色生膽秘譚」を愛讀された方は見落しなく本社刷込みの優待割引券を利用して觀劇されたい、尚一座は明廿一日と廿二日の二日間は二の替りの新狂言として左の通り上場すべく何れも演藝等でお馴染の狂言揃ひで一層の好評を以て迎へられるであらう

河部五郎の笹川繁藏　二の替上演

二の替

▲天保長脇差（三場）

第一　八木村不動堂前
第二　飯岡助五郎宅の場
第三　笹川村の大亂闘

関八州に侠名を轟かせた任侠笹川の繁藏が飯岡助五郎の爲め非業の死を遂げ其上屍に唾吐く助五郎の態度に助五郎の乾兒三浦屋の孫三郎が餘りの暴擧に愛想つかして却つて笹川の後繼人等と助五郎を討ち自分も義理の刃に伏すと言ふ天保水滸傳中の粋を拔いたもの

▲修羅王（七場）

第一　山科街道の夜
第二　旗本山縣の邸
第三　柳橋千代香の寓居
第四　向島土手の大劍陣
第五　早繩重吉の迎住居
第六　隅田川畔の吹雪
第七　再び千代香の寓居

維新の風雲急の秋旗本に生れた山縣は心中勤王討幕の大義燃ゆる誠に毎夜覆面してひそかに佐幕の諸々を倒し自ら修羅王と號して洛中洛外にある同志と通じて江戸に於ける隱れたる活躍を描いた既に日活で映畫化された名篇でファンに印象深いものを劇化したる由

▲國定忠次（四場）

第一　赤城山の血煙り
第二　信州權堂ヶ辻
第三　同山形屋の店先
第四　本郷の小秋原の嵐

新國劇澤田正二郎氏の爲め行友李風作の習出した劍劇の擬參陽で今や澤田亡き後の忠次役者と自他共に許してゐる河部の忠次は極め付と折紙のつけられたもの場面は赤城に立籠つた忠次一家から山形屋ゆすりの小氣味よい所を見せ小松原仕返しの殺陣に到るまでを演出する筈で例の映畫の高速度撮影振によるテンポの早い舞臺とカワベジヤズバンド件奏ヶ相俟つて三〇年式大衆演劇の本領を發揮すべくファンの見逃し能はぬ狂言揃ひであると

米田華紅氏作新講談
『侠艶一代男』を連載
挿畫は伊藤幾久造氏の麗筆

構想の雄壯と變幻極まりなき事件の展開を有つた本紙夕刊連載講談「艶色生膽秘譚」は湧き返る讀者の好評裡に愈々二十日附夕刊を以て哀艶多彩な終末を告げたが、續いて連載の講談は支那文學研究者として將又大衆文藝作家として巍然として新興大衆文壇に聳立する華紅米田祐太郎氏原作「侠艶一代男」を登載する事となつた、物語は背景を混迷錯綜の時代維新前後に執り、凋落の悲秋に蹴旋する武家階級から意地と伊達とに氣競ふ加賀鳶に身を淪めた任侠一代男妻木鐵太郎と恩怨の義理に悩む江戸火消か組の清吉を主役とし、之に配するに暴戻無逆の武士、艶麗無比の藝者、旗本荒しの妖婦、洪の陰謀を横行する悪侍等々、筋は變轉として豫想を許さず、筆鋒は冴えて紙上に讀者を悩殺せずには措かない、挿繪は纖細怪奇な筆致を以て挿繪畫壇に輝く伊藤幾久造氏、先づ作者の言葉に原作の片影を窺ねて戴き度い

河部五郎觀劇會　讀者優待割引券
この券持參者に限り特等三圓卅錢、一等二圓八十錢、二等一圓六十錢、三等八十錢に割引
主催　滿洲日報社

河部五郎觀劇會　讀者優待割引券
この券持參者に限り特等三圓卅錢、一等二圓八十錢、二等一圓六十錢、三等八十錢に割引
主催　滿洲日報社

十人以上の團體優遇
特別に割引き

河部五郎一座の本社劇は連日好評裡に盛況をつゞけ本紙刷込みの讀者優待割引券持參者に限り特等四圓を三圓二十錢、一等三圓五十錢を二圓八十錢、二等二圓を一圓六十錢、三等一圓を八十錢に優待割引してゐるが、更に團體組見の申込みが殺到しつゝあるも團體に對する特典がなかつたので本社にては特にこの點を考慮し本日より十人以上の團體觀劇に對しては一般讀者割引以外に優遇法を講じ出來るだけ多くの愛劇家に内容の充實した河部五郎一座の劇を紹介することにしたから十人以上の團體觀劇は便宜上歌舞伎座で取扱つてゐるから電話四五三八番へ申込まれたい

野球にさんざんいぢめつけられた興行界

は久し振りでけふの日曜日は試合がないので大喜び▲朝來の曇天に海水浴行も懲からうと力み返つてゐる▲河部五郎の「妙法院勘八」で西尚弘が出演するとお客が無精に喜び殊にショッキリチャンバラは好評嘖々▲そして愈々大詰になると棧敷にならんだ美形連、もうお終ひになるの、心細い聲を出して▲戀人とでも別れるやうに河部の舞臺にイ殘り惜しむ▲いよいよ板についた舞臺に油が乗つて來た本社劇「艶色生膽秘譚」は今夜限り▲蛇喰ひ仙人は人間にあんなものを食すのは殘酷だと關東廳から嚴しいお達示▲本人に言はすとあんなものより喰べられないといふから困つたもの

嫂を悼む
—綠濃い夏の京都—
横澤宏

昭和三年六月、僕は何を思つたか京都の千本通り鞍馬口に住んでゐる兄の所へ手紙を出した。

一年も、二年も音信を聞きもせず聞かせもしない僕であつたが、嫂が病むでゐると聞いて急に思ひ立つた手紙である。

嫂についての記憶——まだ僕が京都に居つた時分は兄と結婚もしてゐなかつた。

時折兄の所へ來る手紙で其の人を識つたのと、一、二度兄の所へ訪ねて來た時に逢つた位の、薄い記憶ではあつたが、僕は嫂が好きだつた。

ちよツと跛足をひいて歩く癖があつた。

兄は、それを說明して、

「リユウマチなんだヨ、京都の女にはリユウマチが多いんだ」

そう言つてプレペアード、カフエの罐の蓋を開けて飲まして吳れた事がある。

繪日傘を丸めて、日本髮の既を氣に掛けながら淺い夏の日差のなかを跛足をひきながらやつて來る嫂と、糺の森の前で擦れ違つた事がある——。

そのひとが病む……と聞いて僕は兄の所へ一書を飛ばし「何にか姉さんを慰めるものを贈りたいがどんな物がいゝだらう」と質ねたのである。

返信は斯うだつた。

「女房の病氣はもう大分いゝ、醫者は、床上げももう直きだらうと云つてくれてる。

子供は名を均と云つて中々丈夫らしい。

ひとしつて名は君の名の語呂に似てをるのでいゝと思つたのだ——いゝと思つた理由なんざ別にない、たゞいゝだらうと思つたゞけだ。

女房は君の御手紙に感謝してをる、今の所はアイスクリームだけを甘がつて食べてる位の無元氣さだから「何々を欲しい」などゝ云ふやうな元氣は全くありはしない」

昭和三年七月六日の兄からの手紙である——それから二年間、例に依つて兄も僕も音信を聞きもせず聞かせもせずであつた。

それが突然、この十四日に「嫂の死」を知らされたのである。

實に暗然たる氣持だつた。

その前日は日曜日、夏家河子で散々遊びほうけての翌朝である、流石に報をみた時にはジインとした重量を胸に感じた。

色々の記憶が綠濃い夏の京都を背景に頭の壁に映し出される。

こんな時、何時も想ひ出されるのは京都の植物園である……あの芝生で寢轉んで、センチメンタルながら空の蒼さに見入りたい。

先日、此の鬱々たる氣持を抱へて、或る女のひとの許を訪れた。

勸められるまゝに辻占をひいてみたが、何度繰返しても「凶」だつた。

「凶いわネ」

女のひとは心掛らしく、そう言つた。

僕はごろりと寢轉んだまゝ無言だつた。

常日頃のように、それを一蹴するだけの氣力もなかつた、屈折した心をあぐねてこんな事にもふいと嫂の死などを結びつけて考へてみたりするのだつた。

—一九三〇・七—

艶色生膽秘譚の初日を観る
永賀見太郎

河部五郎の初日に「艶色生膽秘譚」を見る、本紙に百七十七回に亘つて連載された新講談を僅々五場に盛つたものであるから、その劇化に無理があるのは仕方があるまい、がしかし却々面白く出來てゐる、たゞ「艶色生膽譚」の主人公が野晒お仙であるが、河部は女形がやれないだけにその脚色に苦心のあとが充分に窺はれる。これを河部の演物に注文した方が無理だつたかも知れない、河部が左近と右近の二役を演るのではないかと豫想してゐた、双生兒の左近と右近を一人二役でたゞ髷か何かの扮裝で區別をつけて置けばいゝと考へたが、舞臺を見て河部の一人二役は演れないことがわかつた。これは映畫を腦裡に描いてゐた爲めの間違ひで、映畫では容易なダブルロールが舞臺ではそうたやすく出來ないことを、忘念してゐたからである。小佛峠の場と上野の場で左近と右近が顔を合すところを映畫ならダブルロールで行けばよいが、舞臺でこの兩場面だけに代役を使つたのでは面白くない、矢張り左近と右近は河部の一人二役で行けない。その代償に河部の左近に配して敵役で馴染の深い山本禮三郎の右近で、この二人の顔合せが興味をそゝつてゐる。

座附作者栗村俊二氏の脚色五場は小佛峠の場、大川端の場、諏訪明神の場、追分旅宿の場、上野の場の場割となり、小佛峠の序幕が一番芝居になつて面白い。双生兒の左近と右近の性格を先づ紹介して次ぎに血卍組の左近と三藏と鐵藏の三人が顔を合せて河部山本の顔が揃ひ、河部は大芝居を見せてゐる。

第二の大川端の濱町河岸は野晒お仙が登場して左近を見染めるが妖幻極まりないお仙の說明が不足してゐる、宇治龍子のお仙は凄艶さに食ひ足らないところがある、宇治龍子のあの臺辭なら矢張り私はもと一座してゐた五味國枝のお仙に未練が殘る、この女優は惡達者といふよりも舞臺擦れが邪魔をして臺辭りを變につけ過ぎて芝居をしてゐる。

第三の諏訪明神の森は死んだ筈の右近が歸つて來て妙香に言ひ寄り撥ねつけられた腹癒せに伯父の波多野典膳を殺す。右近の山本禮三郎の見せ場であるが、この優は滋味迄つてスクリーンで見るやうな小氣味のいゝ敵役を見せる、たゞ臺辭を言へば常に正面を切らず首をふつて臺辭をいふことである。

第四の追分の旅宿の階上は關川が淺間山で野晒お仙に誘眠術を教へての歸途でお仙の色氣は幕あきのお仙が横になつてゐるところが上乘。關川はいさゝか變な三枚目になり過ぎたが、それだけこの場の芝居を面白く見せてゐる。お仙が右近を左近と間違へる出會は初日と言ひ乍ら大分勝手が違つた。

大詰の五重の塔附近は左近と右近の立廻り。これに捕手も加つてチヤンバラの爽快味を見せるが河部の落ちついた太刀先に對して山本の必ず上段から太刀を下す御兩人の殺陣は大向ふを唸らして和洋合奏で映畫式に展開する立廻りの場面、お仙が左近と右近を間違へて左近をうつ短銃一發も生葵のやうにきいて序幕に次ぐ大芝居となつて事件は解決をつけずに右近を逃して興味をあとに殘してゐる。

さて出來上つた劍劇「艶色生膽秘譚」五場は同じ星の下に生れた左近と右近が血で血を洗ふ運命をテーマとして序幕の左近の臺辭から始まつて大詰に追ひ込んでゐるのであるから大詰の左近の双生兒の運命を呪ふ臺辭は幕切まで殘しておいた方がヨリ以上効果的であるまいか(初日の夜)

夏を描く
静田晴雄

黒松のこと

窓ぎわにふわりりと淡い秋草模樣お盆提灯のしツぽがすーと影を流した

「姉さん、どなたか初盆だね」

と中年の男。黒松の二階座敷、一寸見てくれのきく部屋、次が八疊の中古部屋で、はいり際にチラリと見たところでは佛壇があつて灯の入つた盆提灯が大分並んでゐる樣子——

浪速町から、磐城町と、歩き廻つたそのあげく、雨に降られた四人づれ、大連と云ふ處は大人の遊びに困る所だと疲れた足を引づり上げたのが黒松の二階である。

扇風機の風はなまぬるい……と止めてうちはをとり、左手に杯をあげる事にする。

「鮎ならございます、鰻が專門でも、外の魚は鮎り……」

名古屋生れが一寸出る言葉つき、儀に身を起すと、濃紫の襟を覗むやうに——ふつくりとした、頤の深い仲居さんが云ふ

「安東の鮎じやあ……」

言もなげに云ひ切つたが……

「が無いよりは……それに水貝がよからう」

と中年の男が納得顔

「では鮎でめしあがりますか」

「いや、響で食ひませうワハヽ」

肴がきて酒と話がはずむ。雨が本降りになつて、涼しい風が簾を搖り動かして部屋を廻る。

「藤棚や雨に紫末濃なる……夏の雨も句や歌にすれば美しいね」

フイと風流な話が飛び出す

「こん句もありますね、黒猫のさし覗きけり簀簾……簀簾はよいが黒猫は有難くありませんね」

と若いのが云ふ

「ごもつとも、簀簾、黒猫、盆燈籠……成程ぞつとしませんな」

と、突然中年の一人が……

「姉さん、佛さんは何樣かね」

不意にギヨツとした女

「……御主人で……厄年の四十二で……」

フツと立ち上つて窓から見下す……夏の夜更けの雨の路一筋白く彼方此方にぬれそびれた人力車の影がちら／＼と立つ。

金田氏の駁文
(三)
池内赤太郎

ほそぼそと塡山路をゆきかよう道ありにけり雨やみにけり

を評して「道ありにけり雨やみにけり」では歌の調をなさぬ。と斷じたのに對し

これに就いては作者の深い詠嘆を僕も認めるが、然かし三十一文字の外に「かうしては歌の調をなさぬ」といふ規則があるのだらうか、此處でも僕は評者が如何に形式主義者であるかといふことを痛切に否むことは出來なくなるのである。

と言つて居る。確乎たる定見なくして「糺明」等の語を用ゆるは沙汰の限りである。金田氏は「歌の調」の如何なるものであるかをさへ知らないのである「小書生達」とやらも聞くがよい。歌の調とは作者感動の調の表れを指して云ふのである。島木赤彦氏籠山上にての作に

海の日の沒りて明るき山の上こに戰ひて誰か歸りし

といふのがある。この歌に表はれたる沈痛極まりなき調を見よ。それは直ちに作者の深き感慨の調であることを思へ。これが假に

海の日の沒りて明るき山の上こに戰ひて誰が歸りけん

であつたとしたら如何であるか、調は出てゐないと斷言するに憚らないのである。即ち「誰が歸りけん」では、いまだ完全な一首の歌の調をなさぬと言ひ得るのである「道ありにけり雨やみにけり」は作者感動の調を表し得てない、歌の調をなさぬと云つたのはここにある。この論評は内容面も一首死活の重要點に就いてもの云つて居るのである。然るを「此處でも僕は評者が如何に形式主義者で」等と言つて居るのは、戸迷言の甚しいものであることを知るべきである。

◇

山を負ひて展けし村の閑寂さよ梨の白花いまさかりなり

四月のをはりの一日梨の花咲き散る峡に深く入りつゝ

に對する小生評言に對し

「四月」或は「閑寂」といふ用語に拘泥して居られるのあらうがそんな形式論は別としてこの場合これらの直截な用語が韻律の上から云つても歌全體の氣分にも何等齟齬を來してゐるとは思はれない。

と金田氏はこゝでも形式といふことを云つて居るが、氏は何を捉へて斯樣な盲目言をなすか餘りにも俳愛がなさ過ぎる。小生の評言は何處が形式論なるか。小生の評言は悉く内容のだらしなさを指摘せるものではないか。更に面白き事には、加能作次郎氏の齋藤茂吉選別歌會席上作

この俺に歌を作れといふけれど歌は作れぬ無事であれ茂吉

を擧げ來つて互選の結果斷然一等に入選した要するに格調—形式—もさる事ながら内容が大事なことは言を俟たない

等と判りきつた事を云つて居る。なる程加能氏のこの歌は高き評價を以ては臨めないが、宴會席上での作として充分探れる歌であり前掲二首の歌等より數段高等な出來榮である。またこれを直截なもの云ひぶりの歌とするに何等異存ない。歌は斯くの如く直截であるべきである。故に小生は「四月のをはりの一日」に對し「第二句の月日に作者にとつて何か特殊な事情があるならばこの場合それを具體的にいふべきである」と指摘してゐるのである。それを具體的に云ふことは、多少でもこの歌に直截味を持たし得る道であるからである。金田氏は小生の手數を省くために好見本を提供して吳れた譯である。この歌を擧げ來つて如上の批評歌が同一の直截さにありとなさんとするは即ち金田氏の歌に對する盲目を自ら天下に暴露せるものであることを思へ。

◇

金田氏の製作がそんざいに過ぎると評したのに對しても喋々と辯じ立てゝ居るが、小生の評言を微動だにせしめ得られないこと最早明白であらう。茲に於て失笑に價するのは

苦吟の跡が今評者をしてぞんざいに歌つたかの如く思はしめるならばそれは一面作者の成功とも見るべきものであらう。

と云ふ金田氏の盲目言であり「要するに氏の批評が當らざる如く」等といふヒヨツトコ言である。再び小生の前に斯くの如き言が吐けるか

◇

なほ金田氏は同氏を北原白秋氏が口を極めて讃めたと云つて居る。讃めたのは同氏の製作態度を讃めたといふのであるが、詩人白秋と雖もその位の讃め方位は知つて居るであらう。小生は白秋の如く同氏を歌道の書生扱ひしないのである。小生の態度は白秋より眞摯に眞劍に同氏並に其他の同人諸氏に對して居るのである。小生の評言は或は苦言であつたかも知れぬ。白秋よりも眞摯に眞劍に對へて居るからである。「認識不足」の語はこれに熨斗をかけて金田武一氏その人に呈上する。

社説 舊態を更めぬ支那の政局

蔣軍對反蔣聯軍の對峙、久しきにわたるに最近さらに發展の模様なく兵士には戰意なく幹部は徒らに政治的解決に狂奔してゐる。奉天側は高いところから見物してゐるので南軍は盛んに抱き込まんとするが北方は必ずしも援助を欲せず奉天側が嚴正中立を守つて呉れさへせば可なりと做してゐる模様である。奉天側とても必ずしも野心なきにあらざるも今日の場合、輕率に動くの危險を感じ現金ならば古い武器を賣却するぐらゐのもので先づ漁夫の利を占めつゝあるといふところ。從つて疲弊し切つた南北兩軍は兩すくみの形勢にあり結局は共倒れに終るのではないかとさへ觀測されるに至つた。尤も蔣氏の奧の手たる黄白を以ての政治的解決は財政的に不可能に陷り馮氏の攻撃も依然として停頓の狀態にあり而して戰局が永びけば中央政權を以て任ずる蔣氏の南京政府に不利なるは明白である。ここにおいて蔣氏は主力を徐州に集結し北進して濟南を奪回せんと作戰しつゝあるものの如く隴海線、而して京漢線南段、武漢の守りも抛棄せんとする背水の陣を布くものとも察せられるが兎に角かくの如く戰局が發展せずに疲弊に疲弊を重ねるよりは死中に活路を求むべくイチかバチかの作戰に出たものとも觀測される。

◇

併し支那の民狀から觀察してヨシ南軍が勝つても、また北軍が勝つたとしても歸するところ豐臣の末勢、疊縞を穿つ能はずといふことになり支那の國民革命、南北の統制といふやうなことは百年、黄河の清澄するのを待つと一般なりとせねばならぬ。馮氏は或ひは蔣氏の東退により隴海線より又は京漢線より南進して武漢を手に入れ廣西軍と連絡して湖南方面を反蔣軍の勢力範圍となすことが出來るかも知れぬ。また蔣氏は韓軍などと呼應し濟南の奪回に成功するかも知れぬ。併しながら孰れにしても結局は同然、大なる支那の政局には些の影響あるものといひ得ぬであらう。南北いづれが勝つも負くるも結局それだけのことであつて國民革命とか南北統一とかいふこととは何らの關係もないとになるのである。早い話が所在に割據し相對峙してゐる新舊軍閥は悉くこれ孫文の三民主義を祖述し國民革命を云爲せぬものはないのである。それは表面であり事實は蔣も馮も閻も張も何らの變哲もない同じ軍閥の列に墮したものといふことが出來やう。現に汪精衞氏と閻錫山氏らとが擴大會議を開き北方政權を樹立せんとしつゝあるではないか。そこに主義主張といふやうなものがあるとは何人も信じ得ぬであらう。ただ勢力抗爭の都合上、國民の希望や常識に反し年中の行事として相對峙しつゝあるに過ぎぬのである。そこに建設更生の意義なきは勿論、結局は軍閥自體をも燒却し去らずんば止まぬであらう。

◇

かくの如く考へて來ると吾人は支那の現狀に對し相當、絶望の聲を放たざるを得なくなるのである。先日最も眞面目なる歐米人などの間にも共管論などの擡頭しつゝあるも所以なきにあらずと思ふのである。勿論、吾人は支那人と共に支那の共管といふやうなことには絶對反對であるけれども支那の軍閥が今日の如く無意義な抗爭を繼續しつゝあるにおいては近所近邊の最も迷惑とするところとせねばならぬ。かくいへばとて吾人は必ずしも支那の前途に對し決して悲觀するものではないが現狀に對しては直ちに樂觀も出來得ぬことは支那の人士といへども認めねばならぬところであらうと思ふ。ここにおいて吾人は蔣介石氏が隴海線を抛棄して主力を徐州方面に集結し濟南の奪回を作戰しつゝあるが如く古い形ばかりの三民主義國民革命から覺醒し何らか新らしい新主義、新思想を創造し以て支那の國民革命の完成に努力すべきではあるまいか。形骸のみの主義思想には一般民衆も倦怠を來してゐる。支那の國民生活の實情に立脚し現實に即した辦法を以て南北統制、國民革命の部分的なる完成にても企圖するの必要を感ぜぬのであらうか。孫文の三民主義は餘りにも偶像化し去つた。

濟南奪回を目標として 中央軍愈よ最後の一戰

徐州に集結を了り北進を開始 津浦線漸やく風雲急

【北平特電十九日發】南北兩軍とも軍資金缺乏し中央軍先づ戰ひの永引くを惧れた結果、最後の一戰を濟南攻略に試みんと目下徐州には各戰線の軍隊、武器の終結を了り北上し始めた、西北軍は之に對し中央軍の退路を遮斷のため十八日孫殿英、吉鴻昌等十萬の軍は永城を占領、津浦線徐州に出でんとしつゝあり、津浦線は今や決戰狀態に入つた

西北軍も活動を開始 南軍の後方を衝くべく

【天津特電十九日發】蔣介石氏は再び作戰を變更し新たに武漢方面から輸送した金漢鼎軍らの主力を以て津浦線の攻擊に移つたが隴海線正面の西北軍はその虚に乘じて之を側面から衝くべく活潑なる活動を開始した、右の津浦線の戰ひは恐らく兩軍の最後的決勝戰であらうと見られ、若しこの戰ひも亦隴海線の如く交綏狀態に陷らばただださへ疲弊困憊してゐる南軍は最早勝敗を決する力なく從つて時局の軍事解決は不可能とならう、確實なる方面の調査によれば蔣介石氏は六月末までに既に四千一百萬元の戰費を消費し更に浙江財閥を說いて一千萬元を調達せしめてゐるが假りに調達出來るとしても一ケ月約一千五百萬元で戰ふとせば蔣氏の戰費も既に捻出不可能となり戰局はこの方面から解決を早めるであらうと見られてゐる、北軍も亦財政難は南方に劣らず到底長江沿岸に進出することは不可能であるから結局何者かの時局解決策が講ぜられるのではないかと傳へられてゐる

南軍今明日中に總攻擊命令 總司令部は徐州に

【天津特電十九日發】蔣介石氏は津浦線への兵力集中を終つたので總司令部を柳河より徐州に移した今明日內に兗州曲阜一帶に總攻擊命令を下す筈

山西派への武器供給

【山海關特電十九日發】最近當地を通過して奉天から山西派へ輸送された武器彈藥は確實なる數は不明だが山砲百、機關銃一千、步兵銃五千及び彈藥等で約三百萬元の額に上らうと觀られてゐる、張學良氏は南北兩軍へ現銀で武器彈藥を販賣するので戰亂を他所に一人好景氣風に惠まれてゐると羨望されてゐる

汪精衞氏 廿日門司到着

【東京十九日發電通】その筋着電によれば北方政府獨立の大立物汪精衞氏は改組派領袖顧孟余氏と共に去る十五日香港發郵船加賀丸に乘船廿日門司着の上、便船あり次第北平に乘込む豫定であると

閻馮を廻つて 獵官運動熾烈

【北平特電十九日發】北方政府が產れるので早くも各派の黨員は勿論、その他黨員に非ざる者までが夫々閻馮兩系の因緣を辿りて猛烈なる獵官運動を開始した山西派政客はこれを警戒してか、政府は申すまでもなく黨部から產出される委員部でもあるが委員の數は尚未定であるしかし問題が多い場合は先づ外交財政の兩部だけを臨時組織することになるかも判らないと語られてゐる

劉珍年氏再び中央加擔か

【青島特電十九日發】劉珍年氏は一時反蔣派の態度を現はしたが韓復渠軍が膠濟線に據つたので自己地盤の擁護から掖縣一帶に防禦陣地を築き蔣、反蔣兩派の膠東への侵入を武力を以つて防ぐ姿勢を取るに至つた、しかし南京側では劉珍年軍は韓復渠軍を助けて濟南奪回に努力するであらうと觀測してゐる

鹽水糖社債の支拂ひ延期か

【東京二十日發電通】鹽水港製糖會社々債一千萬圓の償還期限は七月二十日となつてゐるが三井銀行との借替へ交涉尚ほ纏まらぬので同社は社債所有者に對し八月末日まで元利金の支拂ひ猶豫せられ度き旨請願を求めてゐる

醫者と藥が大嫌ひの奧元帥

日露役當時の三元帥六大將 今や全く世を去る

◆…【東京特電十九日發】奧元帥の薨去で日露戰爭當時の三元帥、六大將は全く後を絶つて了つた、元帥の武勳は西南戰爭に始まる、當時元帥は熊本鎮臺軍に加はり城中から島津方面に突進して初めて城外の官軍と連絡を執つた以來流石の薩摩の兵も「官軍に奧少佐あり」と舌を卷いたといふ

◆…明治二十四年頃元帥が東宮武官長時代當神橋中佐(當時少尉)も東宮附武官として奉仕してゐたが橋中佐の元帥に對する尊敬は最大のもので中佐の日記中には「余は奧閣下を以つて我が陸將軍中の雄なるものとし常に欣慕せり」云々とあり、英雄は英雄を知る元帥の人格の全豹はこれだけを以つても窺ひ知ることが出來る

◆…元帥は日清戰爭には第五師團長として各地に轉戰し日露戰爭には第二軍司令官として到るところに惡戰苦鬪、その功により伯爵を授けられた、明治卅九年參謀總長となり四十四年元帥に列せられて今日に及んだが大正天皇に對し奉る忠誠、洵に涙ぐましいもので御不例に際しては終始一貫御座を續けて御平復を祈り奉つた

◆…元帥は常に「俺はイの字とクの字は嫌ひだ」といつてゐたがこの譯は醫者と藥が嫌ひだといふ意味で、これが今回の病氣にも大分障つたらしい、御大典以來病床にあつて專ら靜養してゐたが今回の統帥權問題では非常に痛慨し「この問題では俺にも話して然るべきだ」と洩してゐたが、それの解決を見ないで薨去したことは恐らく唯一の心殘りであつたらう

政友新經濟國策

特別委員會の意見

【東京十九日發電通】政友會では十八日正午から芝三緣亭において新經濟國策の確立に關する第二回特別委員會を開き勝田委員長以下出席し一般的意見の交換に移り鈴木、竹內、吉植、清瀨、東鄕、川島諸氏より大要左の如き意見の陳述あり

一、農工各部門の生產增進と金融とは離るべからざる關係あり殊に中小農工者發展の問題については深き講究を要す

一、當面の對策と新經濟國策の根本策とはもとより同一根幹より出でねばならぬ故に本委員會では當面對策の研究と相待つて併進する必要がある

一、生產增進の大方針に基づいては我黨の主義であるただ一面國家社會主義を考へて進むの要があらう

一、新經濟國策の基調を生產增進に置くは大賛成である殊に我國輸出の大宗たる蠶糸政策については現下實狀に鑑み大いに愼重の論議を要すべし

而してこれに對し山本會長は私見として左の如き意見を述べた

生糸の問題は現下の重大問題であるその方法としては生產を增して安く賣るか或は生產を制限して調節を圖るかの外はない、然るに試みにその輸出先たる米國人の衣服の嗜好の傾向を見るに最近十ケ年の統計によると毛織物は減じ綿布は二割增加し人造絹糸は十五倍となり天然絹糸は二倍となり絹に對し米人の嗜好增加せるは事實である、而も人造絹糸は基本數少なく天然絹糸の二倍といふ事は相當大なる數字である、既に米國では最近大人絹糸工場が四個も閉鎖した故に問題は値段であらう、斯かる場合人爲的殊更なる方策を加ふるは宜しくなくよろしく大量生產を以てその生產を增進しこれを廉價に輸出する事が自然の方策ではないかと思ふ

斯くて今後は夫々各部分擔の事項につき調査を促進する事に申合せ午後三時散會した

支那當局滿洲に燐寸專賣制

瑞典燐寸驅逐のため

【奉天特電十九日發】吉林の日滿兩燐寸會社がスエーデン系に買收されて以來東三省における中國人經營燐寸會社が聯合してスエーデン系燐寸に對抗し東省當局の後援を受けて猛烈な競爭を開始してゐることは屢々報ぜられたが兩者が缺損を覺悟の上競爭を續けるにおいては聯合會側は到底大資本を擁するスエーデン系燐寸に對抗するは不可能なので東北政務委員會にてはこれが對策を講究中の處愈々東北省に燐寸專賣制を布き外國製燐寸に對抗するに決し中央政府に認可申請中である。右專賣制實施の曉には奉天に本局を吉黑熱に分局を置き徹底的に外國燐寸の驅逐を圖ると

第六次巨頭會議

奉答文案及び手續等討論の爲 廿日海相官邸に開く

【東京十九日發電通】第六次巨頭會議は開かずその儘非公式軍事參議會に臨む筈であつた處谷口軍令部長、財部海相と協議の結果奉答文案及び手續きその他に關し最後の討議を行ふため廿日午前十時より海相官邸に第六次巨頭會議を開く事となつた、而して非公式軍事參議會は廿日夜輕井澤の伏見大將宮殿下に東鄕元帥を加へ廿一日午前八時半より開かれる事になつて居るが、當日討議の模樣によつては非公式會議は一日で終らざるやも知れぬ情勢である尚右會議後谷口部長は公式會議奏請のため葉山に伺候する豫定である

奉答文に但し書 海相より諒解を求む

【東京十九日發電通】濱口首相は十九日午前十一時江木鐵相を官邸に招致し軍縮條約問題に關し約一時間に亘り協議を重ねた即ち條約兵力量に對する軍部の情勢は奉答文中に缺陷又は作戰上支障の用語を以て國防上不滿足なる旨を表現する事に意見の一致を見つゝありこれは止むを得ずとするも右奉答文が條約案の樞府審議進行上政府にとり支障を來す事なき樣奉答文の後段において、但しこの缺陷に對しては補充方法を講じ得べき旨を附加せしむる要があるからこの點海相より充分諒解を求めさせる要があると言ふに意見一致し二十日の海軍巨頭會議の經過を注視する事となつた而して政府は正式參議會の終了を待ち大體廿五日の閣議に上程諮詢奏請の決定をなし直ちにその手續きを執る事としこれと同時に首相は倉富樞府議長を訪ひ暑休中と雖もなるべく速かに審議進行する樣希望するに決した

左右兩派が合流するまで

(上) 擴大會議成立經過

反蔣派の政府組織に就いては北方人士の一黨專政に對する深い反感が原因して種々の議論が行はれたが結局閻錫山氏は「先づ最高黨部を成立せしめ黨部より政府を產出せしむる」との屢次の聲明を易へず趙丕廉氏をして黨統の爭議に亘る左右兩派の調停に周旋せしめた結果さしもの難關とされた左右兩派の合流は蔣介石=南京黨部=南京政府打倒等の共同目標を同じにしては血は水よりも濃く七月六日頃に至り完全に成功し左派は汪精衞氏の六日一日附擴大會議の要[illegible]に於て黨統論の面目を保ち、右派は廣東上海の派別を放下せしめて之に贊成し、以て「第二期の併立」の自論に立場を明白にしたので遂に七月十三日懷仁堂に於て擴大會議の宣言を發表せられた、これ兩派[illegible]左右兩派の國民黨[illegible]國民黨史の一頁を飾る近來の事件である、而して北方に黨部を成立せしむる左右兩派の合流理論として左派は先づ第[illegible]……「國民黨第二期中央執行委員は今や討蔣運動の形勢にかんがみ即日北平に移り國民革命を領導すべく各執行監察委員中十六年秋の共產黨事件にて共產黨なるが故に除籍されたる者あり、蔣逆に阿附して資格を喪失したる者あり、守正不阿の同志なれど尚身を危地に處して北來し能はざる者あり、蔣逆の壓迫を受けて海外に逃亡せる者あり、全體會議に參與する者は極めて少ない、事實斯くの如きを以て茲に法理の窮するところを救ふの必要に迫られたので同人は中央黨部擴大會議を組織し所有る前委員並に現在討蔣運動に重責を負ふ同志の一致參加を求めて中樞の充實を期し更に第三期全國代表大會を籌備し黨國の基礎を奠定せんことを決した」……と提議宣言した、如何にしても法定數が不足であり死兒の齡を算へるが如き廣東第二期委員の現狀としては之を彌縫するに右の如く說かざるを得ないと同時に所謂討蔣革命には實力を其第一要素とすること申すまでもなく、斯くて黨員の實力派を加へ黨と武力の結合を高唱せざるを得ないのであらうが、此宣言に依りて多少の讓歩はあつても左派の面目は充分保持され合流理論は最も巧妙に高唱せられてゐる

◇ ◇

之に次で右派は同じく中國國民黨第二期中央執行委員會の名義に於て……「十四年三月總理逝世後第一期中央執監委員會は共產黨の黨を害し中國を害するに鑑み此冬北平西山に第四次全體執行委員會を開き共產黨の肅清を議決し並に中央執行委員會を上海に移した、次で十五年三月上海に第二次全國代表大會を開き第二期中央執行委員を選出したのが本會である、十六年南京、漢口兩中央執監委員會は先後清黨したので余黨の主張は一致し黨の團結に異議なく此秋三つの中央委員合して特別委員會を組織したが幾何もなく蔣介石は不正の手段を以て團結せる黨を破壞し黨政の權を獲得した(中略)今日討蔣の軍事緊急の時に全黨の團結は殊に急とするところであるが幸に汪精衞同志及現在重要責任を負ふ同志が中央擴大會議の組織を提出したが本會は之を必要と認め此に中央黨部擴大會議に贊成し以て中央の充實を期し並に第三次全國代表大會を準備し以て黨國の基礎を奠定せんことを議決した」と贊成宣言した右派の爭つた所は第二期委員の正統問題で廣東のみを正統とするならば上海も亦正統とすべきであるが二つを正統とせば正統なきに如かず故にこの際共に正統問題を論ぜず團結合流せやうといふのが主張であつたので調停派は之亦巧妙に廣東、上海の肩書を削り共に國民黨の第二期中央委員とした爲め右派の自論は完全に貫徹し左派と同じく面目は充分保持された

製鋼所問題で全滿大會を開く

來る廿四日大連にて

昭和製鋼所問題も去る十四日の首相官邸における關係要路の協議會にて決定を見ざりしにより今回昭和製鋼所滿洲設置全滿大會準備委員會を組織し來る二十四日午前十時より大連市役所會議室に全滿大會を開催、在滿邦人一丸となつて一大輿論を喚起し滿洲の適地に設置の要望を達成せしむ可く十九日準備委員長田中千吉氏の名を以て全滿各都市の居留民會並に商工會議所に宛左記勸誘狀を出した、尚これが爲め廿二日午後零時三十分より大會準備打合會を開くと

勸誘狀

拜啓盛夏の候益々御健勝の段奉慶賀候陳者吾が帝國の國策上重大意義を有する昭和製鋼所問題は御承知の通り去る十四日首相官邸に於ける關係要路の協議會に於て新義州、鞍山の兩說に分れ遂に設置場所の決定を見るに到らず、而も茲に至つて問題は重大化し而も齋藤朝鮮總督が全鮮二十萬の要望を容れ東上し新義州說を力說するに及んで今や本問題は天下輿論の焦點と相成候

昭和製鋼所は滿蒙開發の特殊使命を有する滿鐵會社の國家的事業にして國策上、技術上將また經營上より看ても當然吾が滿洲に設置さるべきものなるに拘らず單なる朝鮮統治のみを基礎として新義州に設置するが如く謬論に牽制さるゝが如き事あらばこれ國家百年の大計を誤るものにして苟も帝國の臣民たるものは斷じてこれを容れず今や經濟難は益々深刻味を加へ前途甚だ悲觀すべきものあり此秋に當り新義州に基礎工事たる本事業を設置さるべき事あらば吾が帝國の滿洲における將來を卜するを得可く從前吾人在滿同胞の進展は永久に葬り去られん事火を睹るより瞭なり、帝國々防の第一線に立つ我が滿同胞の危機に際し囂々たる新義州設置反對の聲を聞くは當然の歸結とは言へ吾人同志の大に意を強ふするところ有之不肖等輿論の嚮ふ所に憤起し層一層全滿同胞の輿論を擴大し強調して昭和製鋼所滿洲設置全滿大會を開催し以て滿洲設置の素志貫徹を期する事に致度候に就いては貴會の御賛同を得代表者(成る可く多數)御派遣方、願上度此段得貴意申候

尚御手數ながら準備の都合も有之候に付御出席代表者の氏名を御知らせ下され度願上候

村上氏、十九日滿鐵理事を承諾

仙石總裁と會見して

【東京特電十九日發】滿鐵理事に內定した大阪鐵道局長村上義一氏は十九日入京、直ちに鐵道省において依願免本官の辭令を受け、次いで午後二時滿鐵東京支社に到り仙石總裁に面會、理事就任を承諾した、氏は語る

まだ辭令を受けてゐない、多分廿八日頃正式任命を見るであらう、滿洲は先年日支連絡會議があつた時大連に二三泊して奉天を廻つて歸つたといふホンの駈足旅行をしたばかりだ、從つて滿洲の實際については殆んど智識がないといつてもよい、然し滿鐵には大分先輩や同僚もゐるので色々教へられる所が多からうからその點は非常に心强い、國有鐵道で働くのもよいが滿鐵で働くのはそれ以上に國家のためになるといふ先輩の言葉もあつたので自分としては今回滿鐵に入るのを幸ひ自分の身で出來る限りの努力をしたいと思つてゐる、何卒今後宜しくお願ひしたい

滿鐵新理事の着任期

【東京特電十九日發】滿鐵の十河理事は來る二十三日午後九時二十五分東京發西下し大阪に數泊、用務をかたづけ多分二十七日神戶出帆の定期船で赴任するはず、また二十三日理事に決定する村上前大阪鐵道局長は即夜西下して事務の引繼その他の用務をかたづけ二十七日もしくは一船便遲れて出發赴任する豫定であると

前年との比較 七月中旬貿易

【東京十九日發電通】大藏省發表七月中旬に於ける外國貿易は(單位千圓)

輸出	三三、六九二
輸入	二九、三六一
合計	六三、〇五三
出超	四、三三一

で昨年同期に比し

輸出	二六、三九五
輸入	二四、七四七

を共に減少した一月以降累計

輸出	八〇一、二二七
輸入	一、〇一七、八一二
合計	一、八一九、〇三九
入超	二一六、五八五

で昨年同期に比し五千八百七十萬七千圓の入超減となつてゐる而して本旬出超の原因は棉花の輸入減退に依るもので生糸絹織物の輸出不振は依然として前途樂觀を許さざるものがある

中旬貿易 出超四百餘萬圓

【東京十九日發電通】中旬貿易は左の如し

輸出	三三、六九二、〇〇〇
輸入	二九、三六一、〇〇〇
計	六三、〇五三、〇〇〇
出超	四、三三一、〇〇〇

產品輸出獎勵 支那側意氣込む

【奉天特電二十日發】東北各省は土產品の移輸出を獎勵する目的を以て現在土產品の輸出關稅は三割減、鐵道運賃は五割減の特典を與へてゐるが、金高の今日は國產品發展の絕好機會であるとして東北政務委員會は今回關稅及び鐵道運賃を更に現在以上に低下することに決定し既に同會より交通委員會及び海關に夫々交涉を開始した

洮索鐵道工事 進捗し一部開通

【奉天特電二十日發】興安屯墾區督辦署の手に依つて工事中の洮索鐵道は資金難の爲め一時工事停頓してゐたが最近大いに進捗し本月十一日に葛根廟まで百二十支里の軌道竣工したので近々列車運轉を開始すると

ジョンソン氏の新提案

【ワシントン十八日發電通】上院條約反對派の巨頭ハイラム、ジョンソン氏は今十一日攻擊演說をなし巡洋艦を二種類に分類する事に反對し

アメリカが若し希望するならばアメリカは全部八吋巡洋艦を建造する事を得

との留保案を提出した

三晝夜七十五時間坑內に生埋になつてゐた二人の男が十八日午後七時微傷だに負はず元氣で出て來た▲撫順の老虎臺採炭工宿舍九棟採炭夫王利成(二三)及び同程千玉(三一)と云ひ十五日午後四時老虎臺坑圓形十八片に入坑交替時間にもあがつて來ず行先不明となり大騷ぎになつたどうも坑內崩れの爲生埋めになつた形跡があるので▲十八日朝來二十數名で同人等の入坑個所を掘進んだ所前記二名は七十五時間呑まず食はず土砂のなかに生埋めになつてゐたのがのこ〳〵這ひ出したのでやれ〳〵と一同大喜び珍しい生埋めで助つたレコードである

法政終始壓迫 滿倶慘敗す
十九日の第三回戰

16A—5

法政大學對滿倶第三回戰は十九日午後四時より滿倶球場にて上原(へ球)岩瀬、平田(壘)三氏審判の下に滿倶先攻で開始、前日の接戰に興味を呼ぶファン殺到したが法軍終始滿軍を押し十六A對五で法軍大勝す閉戰六時三十分

滿倶投手總出
法政安打十二本

大なる期待を以て迎へられたゲームは大荒し荒して遂に十六A對五で滿倶慘敗す此日滿倶藤枝、大橋、山口、青山の四投手總出の出陣で調子づいた法軍の各打者を押へ得ずとしたが各投手とも制球力なく加ふに安打十二本ブッ放され遂に法軍の前に屈伏すバックネットのスタンド上に練習帰りの慶應の腰本監督が終始熱心に觀戰して居たが四投手總出陣さぞかし腰本監督もくさくさったことだらう、滿倶の投手難にひきかへ法軍若林投手を連投さす同投手は勝頭肩の定まらざる内に吉野の遊越單打と六回再び吉野に遊左單打の二本を許せるのみ

法政二點リード

第一回吉野遊越單打に出で芥田の犠バントに送られしも二者凡打し法軍もまた三打者出でしも三走者とも二盜を企て〻死し、第二回裏法軍一死後久保中前に單打し續く若林遊前トンネルし久保三進す、この遊前トンネルが因し加ふるに藤枝制球力なく矢野を四球で出し刈田に一ボール後直球をたゝかれて二走者を還らす、續く第三回裏一死後島四球に出で藤井の右飛後二盜、捕手悪投に三進これを刺さんとして時任三壘に高投すこの時すでに島は三壘間近にあり例へ絶好の投球あつても到底殺すことは不可能であつた斯くしてまた一點を加へ火に油をそゝぐが如く法軍益々油に乘る

法政一擧六點

而して遂に波瀾重疊の第四回裏を迎へ一擧六點を加へすでに大勢決す、この回法軍登場人物十名滿倶藤枝を大橋に代へ大橋を山口に代へる、安打三本で六點、但しこれに四球二死球一旦失二を加へるの六點である、若林先づ左側テキサスに出で矢野のバントで二進田坂

八回の波瀾

の遊前を上條凡失す、上條ベンチに戻り中澤監督に何事か切望す、結局時任と上條交代す續いて刈田二ボール後二遊間單打に若林生還て田坂刈田還り島刈根に打たれ壘となる、漸く大橋坂根に打たれ押し出しの一點を與へ二點を加へ山口にプレートを讓る久保の三前に片岡本壘で坂根を殺したが一壘に悪投して島藤井を還らし若林のヤりもほつと一息する第六回滿倶中飛で漸く波瀾止む見るものプレ打點よく何事かあらんと期待されたが僅かに一點を得たのみ

第八回滿投の若林漸く疲れしと見え制球力なく吉野、上條に打たれ鈴木に交る、鈴木又代ると直ちにPH和田に遊越單打を放たれ綠田を四球に出して遂に四點を與ふ、かくして勝敗十對五で終るであらうと想像されしに第七回山口のPHに中井を出した爲めに青山立ち遂に第八回第三回目の波瀾を生む即ち倉に好打されし後四球四、本壘打一本、三壘打一本の長打を放たれ六點を加へ第九回滿倶最早攻擊の力も失せて十六A對五で敗る滿倶として近來稀な不成績だ、緊褌一番あつて欲しい

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
(滿)得點	0	0	0	0	0	1	0	4	0	5
(法)得點	0	2	1	6	0	0	[illegible]	[illegible]	A	16A

試合經過

▲第一回 滿倶吉野遊越單打し芥田のバントに二進したが疋田左飛片岡右飛△法政武田遊側内野單打したが二盜に死し坂根遊側失に出たが島の三側に封殺島も二盜に死ぬ

▲第二回 滿倶三者凡退△法政一死後久保中前單打し若林の遊側トンネルで一擧三進若林も二壘を占む矢野四球で一死滿壘田坂遊飛で刈田遊越單打して久保、若林生還矢野は一擧三壘に進み刈田直ちに二壘を盜む武田遊ゴロ法政二點をリード

▲第三回 滿倶二死後吉野三側悪投に生きたが芥田右飛△法政坂根一邪飛島四球藤井の右飛後島二盜し捕手の悪投に三進更にその球を三壘手三壘に高投して島生還久保遊飛

▲第四回 滿倶疋田四球に出たが片岡右飛し上條の三側に疋田と併殺△法政若林左前テキサスし矢野のバントに二進、田坂遊側失に生き若林三進(滿倶時任遊擊上條二壘に更代)刈田二遊間單打して若林生還田坂二進(滿倶藤枝退き大橋投手となる)武田盛んに粘つた後頭部に死球を受けて出で(代走矢野)一死滿壘坂根三遊間單打し田坂、刈田生還矢野二進島四球で亦滿壘藤井四球で矢野を押出す(滿倶大橋退き山口起つ)久保の三側坂根本壘を衝き死したが捕手一壘に悪投して島、藤井生還し久保は二進打順一巡し若林の中飛で漸く止んだが法政六點を加ふ

▲第五回 滿倶(法政武田退き長澤中堅に入る)二死後鈴田(時任に代る)二側失に出たが山口二飛△法政(滿倶時任退き上條遊擊鈴田二壘となる)走者無し

▲第六回 滿倶吉野遊擊左單打芥田遊側失で吉野二進疋田の二側芥田を封殺する間に吉野三進疋田二盜片岡遊側で吉野生還疋田三進上條左飛△法政長澤以下凡退

▲第七回 滿倶高須以下凡打△法政藤井三遊間單打久保中飛若林遊擊右單打矢野の投側で走者二三進PH成田(田坂に代る)三遊間單打して藤井生還若林もホームに滑り込んだが惜しくも左翼の返球にアウト

▲第八回 滿倶(法政田坂退き倉捕手となる)山口投側失吉野遊側グラウンドヒットで山口二進芥田の投側野手三壘に投げたが壘手落して無死滿壘疋田一側で死ぬ間に山口生還し吉野芥田二三進片岡の三側で吉野生還芥田三進上條一二間單打して芥田も生還高須四球で上條二進PH和田(綠川に代る)(法政若林退き鈴木茂投手となる)遊越單打して上條生還鈴田四球で二死滿壘PH中井(山口に代る)を送つたが三振△法政(滿倶山口退き青山投手となる)刈田長澤四球坂根のバント投飛となり島三振の時刈田三盜投手のボークで刈田生還長澤二進藤井右翼線に打つた球轉々とし本壘打となり長澤藤井生還久保四球で二三盜鈴木四球矢野右中間三壘打し久保鈴木生還倉二越單打で矢野生還刈田二個失に生きたが倉一擧三壘に走つて挾殺法政一擧に六點

▲第九回 滿倶吉野四球芥田中飛疋田の投側で吉野併殺

(法政)

	選手	打數	得點	安打	犠打	盜壘	三振	四球	刺殺	補殺	過失
8	武田	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0
8	長澤	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0
4	坂根	5	0	1	0	0	0	0	4	4	1
7	島	3	2	0	0	1	1	2	2	0	0
9	藤井	4	3	2	0	0	0	1	4	0	0
5	久保	4	2	1	0	2	0	1	1	3	2
1	若林	3	2	1	0	0	0	0	0	1	1
1	鈴木茂	1	1	1	0	0	0	1	0	1	0
3	矢野	3	1	1	1	0	0	1	9	0	0
2	田坂	3	1	0	0	0	1	0	3	1	0
PH	成田	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
2	倉	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0
6	刈田	4	2	2	0	1	0	1	2	1	1
	計	35	16	12	1	4	2	8	27	11	5

(滿倶)

	選手	打數	得點	安打	犠打	盜壘	三振	四球	刺殺	補殺	過失
5	吉野	4	2	3	0	0	0	1	1	4	0
8	芥田	4	1	0	1	0	0	0	2	0	0
3	疋田	3	0	0	0	1	0	1	10	0	0
2	片岡	4	0	0	0	0	0	0	4	2	1
616	上條	4	1	1	0	0	0	0	2	2	3
7	高須	3	0	0	0	0	0	1	1	1	0
9	綠川	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0
9	和田	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
46	時任	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
4	鈴田	2	0	0	0	0	1	1	0	1	1
1	藤枝	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
1	大橋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	山口	2	1	0	0	0	0	0	1	3	0
PH	中井	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
1	青山	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	計	33	5	5	1	1	3	4	24	14	5

本壘打(藤井)三壘打(矢野)併殺—法2(久保、坂根、矢野。鈴木、刈田、矢野)死球—大橋—(武田)與へし安打—若林(八回)4鈴木(茂)1藤枝(四回)大橋(一回)1山口(五回)3青山(一回)3殘壘—滿7法5時間—二時間三十分

法政滿倶試合 (四回裏法政最初の得點)

大暴風雨東へ進み 東海道地方を荒す
東海道本線興津江尻間遂に不通
列車は折返し運轉

【淸水十九日發電通】東海道本線興津江尻間の庵原川鐵橋附近は今なほ降雨甚だしく增水しつゝあるので二百名の工夫が必死となつて復舊工事に努めつゝあるも二十日正午頃までは開通の見込みなく各列車は取り敢ず折返し運轉をなしてゐるが東海道線の杜絶は近來稀有の事である

庵原川氾濫

【淸水十九日發電通】庵原川氾濫の結果國道に架せる庵原橋流失東海道線鐵橋に乘り上げたるため列車不通となり午後一時五十六分靜岡發の特急は沼津驛に不時停車その他各列車とも停車し開通を待つてゐる

興津附近で 土砂崩潰

【靜岡十九日發電通】十九日午後四時四十分頃豪雨のため興津由比間に土砂崩潰あり線路埋沒せるも二時で漸く復舊した

天皇陛下 御軫念遊ばさる
各地暴風の被害天聽に達し 御救恤金御下賜か

【東京二十日發電通】天皇陛下には十八日九州、沖繩、朝鮮地方暴風雨被害甚だしき趣きを聞し召され深く御軫念遊ばされたが被害程度判明すれば時に御救恤金御下賜の御沙汰あらせらるゝ筈

發動機船沈沒 十七名行方不明

【淸水十九日發電】靜岡縣志太郡燒津町田中金太郎所有發動機船琴平丸(十九噸)に二十八名乘組鰹漁の爲め十七日午後六時同港出帆相州北ト浦に向つたが同十一時半頃下田港沖合で激浪の爲め暗礁に乘上げ船體眞二つに割れ二十八名の乘組員中船長代理近藤信作外十一名は沿岸漁民に救助されたが他の十七名は行方不明となつた

佐賀縣被害

【佐賀十九日發電通】佐賀縣の死者六名、負傷者六名、倒潰人家二百戸餘り、半潰四十八、非住家倒潰三百四十、半潰十九、學校倒潰十四棟、半潰三棟、難破船三十六隻、工場倒潰二、電柱數知れず倒れ、罹災者九百名、農物農作物を含む縣下の被害千數百萬圓に上らん

鹿兒島地方 被害甚大

【鹿兒島十九日發電通】鹿兒島縣警察部に達した報告死者六名行方不明一名重輕傷十八名全潰家屋九百卅戸半潰家屋四百五十八戸烈風中に宮ノ城町市來町等に火災あり九棟全燒發動機船流失十九隻農作物の被害十數萬圓に上り薩摩半島最もひどく作物全滅へ者の被害も甚だしき見込み宮ノ城警察管内家屋倒潰井戸死者一名重傷一名始良郡加治木町倒潰家屋六十戸漁船五隻沈沒し東國分村倒潰家屋百十六棟燒草被害一部鹿兒島郡谷山署管内倒潰家屋十一戸工場六棟發動機船四隻流失漁船十九隻破損燒草被害一萬圓大島郡古仁屋署管内倒潰家屋十戸半潰家屋百六十九戸その他建物二百十棟倒潰し道路數十に橋梁五、堤防百五十間崩潰古仁屋川氾濫し農作物全滅である

大分縣被害

【大分十七日發電通】暴風雨は十八日午後二時歇んだが詳細の報告未着なるも被害は他縣に比し幾分輕微の模樣

宮崎縣被害

【宮崎十九日發電通】宮崎縣警察部十八日午後五時調査、住家倒潰二十六、倒潰十一、非住家倒潰二十七、半潰十五、煙突倒潰六、塀の潰倒四百九十四、電柱九本、道路の崩潰二

熊本の被害

【熊本十九日發電通】本日午前零時迄に警察部に達した報告に依れば倒潰家屋七十一、非住家屋倒潰七十八、死者三名、負傷者一名、流失船舶二十三、工場煙突吹き飛ばされたもの六、玉名郡中被害大なるは横島村で住家全潰十三、半潰十八、非住家全潰二十五、半潰十四、船舶流失二十、天草郡は熊本縣中最大の被害ある模樣なるも通信機關杜絶の爲め詳細不明である

福岡の被害

【福岡十九日發電通】十八日夜十二時迄に縣保安課に達した情報に依れば死者十一名、負傷者百名、倒壞家屋一千三百五十六、半潰一千二百五十、遭難船、沈沒船百餘隻、これに伴ふ行方不明九十餘名である

黑石礁水泳大會
擧行の日割決定す

滿鐵黑石礁水泳部では本シーズンにおける始めての水泳大會を擧行する筈で選手は今からポツ〳〵練習を開始してゐる、因に遠泳大會は來る二十七日に五哩、八月三日に十哩を擧行し八月十三日には一哩競泳を行ふと

東鐵列車顚覆 事件後報

一昨夕刊所報東支線双城堡附近の旅客列車顚覆現場は五家より約二キロの南方にして原因は犬釘及線路ボールドが除かれ居りし爲めである、同所は頗る高くカーブなりし爲め列車は徐行中であつたが被害は意外に大きく機關車、手荷物車を殘し前部一二等車、三等車各一輛三等寢臺車二輛脫線轉落し殘部は何れも脫線した死者はないが負傷者廿名邦人の被害はなかつた旅客の半數は救援列車でハルピンに引返し十九日午前十時ハルピンに引返し十九日午前十時ハルピン着九時十五分發第五列車は未だ發車せず發車時間未定、復舊も未定尚因みに同列車には高橋代議士佐藤北海道廳技師吉田函館海產組合理事が乘車してゐた

一刀流達人殺し 局送り

【東京十九日發電通】夫と格鬪中の北辰一刀流の達人を殺した目黒町上目黒一四三二大久保龍之助の妻サク(三一)は十九日傷害致死罪、同際之助はその共犯者として送局さるた、今夕市ヶ谷刑務所に收容の筈

待たるゝ大相撲 愈よ廿八日から
朝鮮の興行が雨で延期され 一行は總勢二百名

好角家より大なる期待をかけられて居る東京大相撲協會西方の當地興行は二十三日から晴天五日間例年の如く電氣遊園下で興行されることになつて居たが朝鮮における各地の興行が雨のために延期された結果當地の興行も止むなく延期されることになつた、即ち一行は二十二日長春、二十四、二十五の兩日奉天においてそれ〴〵巡業し二十六日十七時着列車で來連二十七日は旅順で白玉山奉納相撲を行ひ二十八日より愈々好角家連中の熱狂裡に興行されるのである、一行は夏場所の西方力士に新大關玉錦及び若葉山の兩力士を加へ總勢約二百名で例年の如くそれ〴〵市內各旅館に分宿することになつた一行の顏觸れ左の如くである

▲東方 ▲西方

	東方		西方
橫綱	宮城山	大關	豐國
大關	玉錦	關脇	能代潟
關脇	若葉山	小結	朝汐
小結	錦洋	前頭	眞鶴
前頭	雷の峰	同	星甲
同	寶川	同	劍岳
同	幡瀨川	同	吉野山
同	若瀨川	同	大蛇山
同	太郎山	同	朝光
同	沖ツ海	同	池田川
同	晴の海	同	高浪
同	汐ケ濱		

又五日間の各力士後援會は左の如くである

▲沖ツ海後援會 二日目、三日目
▲玉錦後援會 三日目
▲幡瀨川後援會 三日目
▲若瀨川後援會 三日目
▲豐國會 四日目
▲朝汐會 四日目
▲高知縣出身力士會 四日目
▲海光山後援會 四日目

なほ又入場料は特等三圓五十錢、一等三圓、二等二圓五十錢、三等一圓五十錢正門棧敷四人マス十四圓三方同四人同十二圓尚兩棧敷とも五日間申込の方は十圓割引の由

大連チームが 壓倒的に優勝す
全滿クレー射擊大會

【湯崗子特電二十日發】大連獵友會主催本社後援に係る昭和五年度全滿クレー射擊大會は二十日午前八時から湯崗子射擊場に於て擧行されたが、參加チームは大連、奉天、安東の三チームで出場を期待された鞍山選手は出場せず、競射の結果は豫想の如く大連チーム兼頭選手を始め間山、辻、安藤の諸選手又好調を續けて斷然他チームを壓倒し、本年度の伏見若宮殿下御下賜優勝カップは大連チームの手裡に輝き、個人競射では辻周一氏(大連)良く射當て、前滿鐵總裁寄贈カップ授與の榮を負ひ、同午後三時閉會した、因に成績は左の如くである

伏見若宮殿下御下賜優勝カップ受賞者
一等 兼頭助一(大連)五〇點
二等 間山平松(大連)四八點
三等 辻周一(大連)四七點
△四等 平賀薰(安東)△五等 安藤忍(大連)△六等 大友啓次郎(奉天)△七等 林半九(大連)△八等 田村四郎(大連)△九等 小日山淺吉(大連)△十等 市川金太郎(大連)
前滿鐵總裁カップ賞受賞者 辻周一氏(大連)

公學堂兒童の 體力を測定
今秋十月體研と共同

州內各公學堂兒童の體力測定に關する打合會は十九日午前十時より關東廳體育研究所で開催、師範學堂の古野主事、山本體研主事、山口金州公學堂長その他州內の各公學堂より十一名出席協議の結果左の通り決定した

第一、測定の種目
一、身長 二、體重 三、胸圍 四、比胸圍 五、肺活量 六、背筋力 七、懸垂力 八、跳力

第二、測定の時期
今秋十月、體研と合同して實施

第三、測定の方法
內地と聯絡を保つ爲一般に認められし測定方法により其結果は統計法により處理すると

總つて各參集者は山本主事指導の下に實地測定の講習を受け午後三時散會したが、從來體力測定を行つた事のない各公學堂がこれを開始するに至つた事は近年久しく此事を顧みざりし各小學校の注目を惹くに足る事と期待されてゐる

米田華舡氏作新講談 『俠艷一代男』を連載
挿畫は伊藤幾久造氏の麗筆

構想の雄壯と變幻極まりなき事件の展開を有つた本紙夕刊連載講談「艷色牛膽秘譚」は涌き返る讀者の好評裡に愈々二十日附夕刊を以て哀艷多彩な終末を告げたが、續いて連載の講談は支那文學研究者として將又大衆文藝作家として嶄然として新興大衆文壇に聳立する華舡米田祐太郎氏原作「俠艷一代男」を登載する事となつた、物語は背景を混迷錯綜の時代維新前後に執り、凋落の悲愁に戰慄する武家階級から意地と伊達とに氣競ふ加賀鳶に身を滴めた仁俠一代男要木鐵太郎と恩怨の義理に惱む江戸火消か組の淸吉を主役とし、之に配するに暴戾悪逆の武士、艷麗無比の藝者、旗本荒しの妖婦、法の陰翳を橫行する惡侍等々、筋は變轉として豫想を許さず、筆鋒は冴えて紙上に讀者を悩殺せずには措かない、挿繪は纖細怪奇な筆致を以て挿繪畫壇に鳴く伊藤幾久造氏、先づ作者の言葉に原作の片影を尋ねて觀き度い

年一割六分の 利廻り
ある新築借家

新しく建てられる借家は一割乃至二割方は安いが現在市內の貸家業の採算工合を一例を擧げてみる、これは最近譚家屯に鐵筋コンクリート借家八戸を建た某家主の採算控へである

▲土地三千圓(百坪)
▲建築費一萬四千圓計一萬七千圓
▲この家賃、六十圓一戸、三十圓七戸計二百七十圓

而して普通家主は公費、修繕費其他諸雜費として家賃の二ケ月分を削除して考へるから右の借家は六疊二間四疊一間で三十圓であるから實收入は一年十ケ月分即ち二千七百圓となる、即ち年一割六分の利廻りであり、又六年と四ケ月せば家賃の上りで土地と建築費は上つて了ふ譯である

奉天

强制を避けて家賃相談會組織

單に調停機關として穩健なる行動を執る

家賃値下げに關する各機關代表の打合せ會は十九日午前九時から奉天倶樂部に於て開催されたが結局該問題は特定人間の問題であつて外部から嘴を入るべきものでない しかしこの問題が現下の社會問題となつてゐる以上若し奉天の家賃にして好況時代の家賃がこのまゝ固定してゐたり或は價格評價の下つた古家の家賃が引下げられなかつたりする場合は相當考慮方承認せねばならぬし又家主の立場から考へても理窟ぜめにも行かぬ點もあるので差當り餘り堅苦しくない調停機關を設置しやうと云ふことになり地方事務所、居留民會、商工會議所、地方委員會、金融業者、不動產組合、一般貸家業者から一名宛の委員を出し家賃相談會なるものを組織し毎月二回位例會を開き家賃に關する借家人、貸家主間の申出でに對する審議の上調停をなすと云ふ極めて穩健な方法で進むことになつた

左の如く協議決定して五時廿分閉會した

協議事項

一、人力車々體に關し警察に要請の件 警察側は從來部分的に車體の檢査を行つてゐるが之を徹底的に行ひ車體の改善を圖るやう警察當局に要請することに決す

二、失業者救濟機關設置に關する件 提案者安倍委員缺席のため保留となる

報告事項

一、江島町支那人家屋改築方に關する件 前記家屋は滿洲起業、土木建築及び某氏の所有のため滿鐵としては所有者に對し街の發展、衛生、治安維持の見地から書面を以て改善方を慫慂してゐる

二、道路調査に關する件 調査委員の報告あり次いで地方事務所土木係と懇談した結果滿鐵側も道路の惡いことを認め極力改善すべき旨を言明し尚氣付の點は申出るやう希望する處もあつた

三、市場物價に關する件 市場會社の香取專務と會見し種々懇談したが香取氏は逐次改善をなしつゝある旨説明した

尚家賃値下問題に關しては各機關代表と協議の上具體案を決定することになつた

地方委員懇談會

既報地方委員懇談會は十八日午後二時からヤマトホテルに於て開催

莫大な額に上る車夫への支拂ひ

日本人だけで五百六十圓に達す

奉天署では十九日市內要所三ヶ所に於て人力車夫の一日の收入高につき調査した處最高金票の八十錢最低卅二錢で平均四十錢であるが附屬地內の人力車は二千臺と見て一日の稼高は八百圓であるその中七割は附屬地內の日本人が支拂つてゐるので日本人が車夫に支拂つてゐる車賃は一日五百六十圓、一ヶ月六千八百圓、更に一ヶ年にすると實に廿萬二千六百圓といふ驚くべき金高となつてゐる

東北迫擊工廠では豫て獨逸技師フオメン氏を招聘し同氏監督の下に貨物並に乘客飛行船二臺製作中の處去る十五日完成したので近く飛行試驗を行ふ由

◇

十九日午前七時頃驛前千代田通入口に於て市內乘合自動車運轉手オルロフ(四〇)と大西邊門外馬車夫徐子忱(五三)の馬車が衝突し馬車は後部右側車輪が使用出來ぬまでに破壞したが被害金現大洋五圓は双方にて半額宛出すことにして解決した

國勢調査講演

沿線各地において講演中の內閣統計局統計官森數樹氏の奉天における講演會は廿四日午前十時から公會堂に於て開催される事になつたが多數來聽を歡迎すると

町の便り

北寧線白旗堡、饒陽河間水害で不通であつたが十八日十五時開通した

◇

佐賀高等學校講演部員は廿七日來奉盛大な講演會を開く由であるが會場は未定である

◇

十九日午前十時頃葵町一番地先を古場部長が巡邏中風呂敷包を所持する二名の支那人を發見し一名を取押へ調べた處彼は饒陽生れ工業區細順綫無職馬志(二二)と稱し他の一名と共謀して葵町一番地元井某方の留守宅にしのび込み女衣類その他三十點價格五百四十七圓を竊取し逃走中と判明した引續き取調中であるが彼は附屬地荒しの空巣狙ひの大泥棒であると

◇

人事

▲兒玉鐵道省書記官 十八日過奉赴連
▲菊竹鄭家屯公所長 十八日來奉
▲大內第卅八聯隊長 十九日長春より來奉
▲青木奉天車輛事務所長 十八日來奉
▲高山安東警察署長 十九日朝來奉
▲森岡安東領事 同上
▲奉天水泳選手一行 十八日京城へ
▲廣島文理科大學陸上部選手一行十六名 十八日大連より來奉
▲佐藤代議士一行二名 十九日長春より過奉赴連

鞍山

煙草試作視察 藤田農務課員

滿鐵本社藤田農務課員は十八日來鞍し煙草試作地を視察したが沿線各地に比し成績頗る良好であるから近く再び來鞍して懇ろに指導する豫定であると

三浦內務局長 二十七日來鞍

新任關東廳內務局長三浦碌郎氏は二十七日午前十一時四十四分着列車にて來鞍し製鐵所、警察署、郵便局其他を視察し午後八時發列車にて北行の豫定である

秋田鑛山教授 製鐵所視察

秋田鑛山學校教授豐島輝義、栗原浩次郎の兩氏は近く來鞍し大孤山製鐵所選鑛工場、第三熔鑛爐等を見學の豫定

久留島庶務課長 赴連

鞍山製鐵所庶務課長久留島秀三郎氏は二十一日大連滿鐵消費組合本部に於て開催せられる理事會議出席の爲め二十日急行にて赴連豫定

庭球試合 橋頭軍を迎へ

鞍山庭球部では二十日午前十時より滿鐵コートに於て安奉線橋頭軍を迎へて對抗試合を擧行すると

笑話會例會

鞍山笑話會では二十二日午後七時より昭和町倶樂部に於て月例會を催すと

撫順

新規事業費は八百廿萬圓

炭礦部の六年度豫算

炭礦部六年度事業豫算會議は十九日午前を以つて終了したが各採炭所その他より提出せる原案は一千四百萬圓であり既報の如く結局一千萬圓位で落付くものと關係者は語つてゐたが萬事緊縮の際の上未曾有の炭界不況と滿鐵收入減の爲大削減の斧鉞を加へらるゝのやむなきに至り新規事業は哀れ全滅の形で遂に八百二十萬圓に削減された、その內譯の主なるもの左の如し

增設等に三百萬圓▲新發電所完成の爲百萬圓▲坑內掘の機械化の爲五十萬圓▲電氣鐵道、機械工場等百萬圓▲新築社宅費五十萬圓

以上がまとまつた方でその他は極めて少額のものである、五年度に比較し約二百萬圓の減額であるが鐵道部の如き五年度同豫算二千六百萬圓のものが六年度は千五百萬圓に削られたのに比すると炭礦部はまだいゝ方だと各方面ではあきらめてゐるらしい、尚營業費豫算は是れから始まると

古城子露天掘の電化機械化を計る爲ダンプカー、電氣シヨベル

州內外の强豪が晴れの爭霸戰

參加庭球チーム十三 八月十日奉天で擧行

全滿きつての庭球界の呼物「州內外對抗庭球爭霸戰」は愈々八月十日午前八時より奉天橘立町經濟會コートにおいて開催される事と決定した、本大會は昨年は大連で擧行されたが本年は第二回目で出場チームは州內外の粒選りの選手十三チーム、內二組は補缺である、勝敗は勿論今逆睹し難いが昨年州內はホームコートで惜しくも敗北してゐる點と過般の撫順に於ける州外聯盟庭球大會の實力から推して今年も優勝旗並びに優勝盃は州外の手に歸するもの丶如く當日の壯觀は沿線各地のファンから待たれてゐる

公主嶺

馬賊六名を逮捕

潜伏中を包圍して

高粱繁茂期となつた昨今馬賊の被害事件が續發し支那官憲は之が逮捕に頭痛鉢巻とある梨樹縣邊鄙居住農王成義方を去る三日襲ひたる馬賊の一味が公主嶺の支那町に潜入したるを探知した同縣公安局第四中隊長鐘峰は私服の搜査隊を派し嚴探中確證を得たので隊長は二十名の部下を率ひ十七日午前七時賊の潜伏しをる何水海方を包圍し賊頭靄貴ほか五名を逮捕して[illegible]した

中固驛長更迭

中固驛長有馬純行氏は今回長春車輛事務所に轉任を命ぜられた後任は元奉天鐵道事務所の藤田秀雄氏なりと

對抗競技豫選 十九日行ふ

關內公主嶺對抗陸上競技出場選手の豫選會は雨天の爲め延期されて居たが十九日快晴となつたので午後二時から中央公園に於て開催した

開原の戸口數

本年六月末に於ける開原地方事務所管內の戸口數

戸數 內地人五四七戸、朝鮮人一三九戸、支那人一七五九戸、合計二四四五戸

人口 內地人二二〇九名、朝鮮人六九七名、支那人一三[illegible]名、合計一六三〇三名

にて之を前年同期に比する時は戸數八七戸人口二四一八名の減少であると

國勢調査講演

十月一日午前零時を期し全滿一齊に行はれる國勢調査に就き炭礦は特殊地域の爲困難な事情あるもその完璧を期する爲警察方面では着々その準備を進め既に調査員百九十名を選びその下準備を進めてゐるが二十日午後四時新公會堂に於て內閣統計局統計官森數樹氏を聘して同調査に關する目的主義等に關し頗る有益なる講話があつた

七月一日から電燈料金値下

鐵嶺電燈局の料金値下が實施となつた事は既報の如くなるが實施期につき滿電本社からは八月一日よりと通知して來た模樣であるが電燈局では狀況に鑑み七月一日に遡つて實施されたく申請し結果七月一日附を以て實施する事になると

鐵嶺

營口向けの貨物は滿鐵より戎克を

支那側特產商の傾向

利に敏い支那商人は最近の銀暴落に際し、滿鐵が鐵嶺營口間大豆一車(一七二石積)に對し金二百七圓七十七錢を徵するに對し遼河の戎克は現大洋三百九元六十錢(金換算百八十五圓七十六錢)で其間實に四十二圓の開きがあるため、當地の支那特產商人は滿鐵輸送より遼河の戎克を利用せんとする傾向が濃厚であり、而も連日の降雨で遼河の水深を增し戎克は一齊に活動してゐる際とて此傾向は日本側商人の注目を惹いてゐる、既に城內永源盛より大豆高粱各十車を營口に發送し、續いて公濟棧なども戎克輸送開始の模樣であるが、鐵嶺輸出の特產を舟運に奪はれるやうになれば滿鐵の打擊も尠からぬものがあらうと

夏期警防隊 公安局で組織

遼寧省政府は全省五十八縣各地公安局の夏期警防を充實せしむるため一等縣五十名、二等縣三十名、三等縣二十名の公安馬隊增員を命じたので、鐵嶺縣公安局では取敢ず三十名の馬隊を增員編成し、豫備二十名は公安大隊の援助を求むる事として夏期警防隊を組織した

つたと

陸上競技中止

奉天中學對全鐵嶺の陸上競技は廿日鐵嶺新設グラウンドに於て擧行される豫定であつたが過般の大洪水で工事中のグラウンドは基礎工事が破壞せられ使用出來ぬ爲め延期の止むなきに至り此旨奉中に通知したところ奉中も支障多く今年は到底對抗出來ぬ爲め來年又改めて對抗する旨回答して來たが鐵嶺軍は鐵開四公大會を前の豫備戰であり奉中は全滿中等學校大會を前の豫備戰で兩軍共に頗る緊張してゐたのに中止となつたは惜く鐵嶺ファンも非常に殘念としてゐる

詩吟會開催

篠崎軍吉氏を中心として豫てより質實剛健の氣風を涵養し身心の陶冶或は明治維新の志士の面影を偲ぶべく詩吟會の計畫があつたが十九日午後七時より同志のみ集つて鐵嶺神社前に第一回を開催篠崎氏得意の美聲で壯烈なる數々の詩が吟ぜられ一同これに和し一寸時代ばなれのしたやうな珍しい會であつたが今後は日を定めて回を重ぬる筈であると

城內夏期講座

開原城內では毎年同地出身の大學生が夏季休暇で歸省するを好機とし歸省學生を講師とし城內中等學校の生徒を集めて夏期講座を開催するを例としてゐるが今年も東北大學生六名が歸省せるを以てこれを講師とし中等學校男女學生百餘名を二組に分ち夏期講座を開催する事になつたと

安東

印花稅

支那街で復活

支那街々印花稅問題は數ヶ月前物議を釀したため沙河稅捐局は一時徵收を中止して居たが十六日から再び附屬地で購入して支那街に入るもの、及び支那街邦人商店から購入する商品に對し購入支那人に一齣の印花稅を賦課する事となつた、之がため日本商店の商品賣行に相當の打擊を蒙るので對策につき論議されて居る

上田中佐入院

獨立守備安東第六大隊長上田中佐は過般來安した菱刈關東軍司令官を送つて間もなく腸カタルのため滿鐵醫院に入院加療中であるが經過は良好であると

瓦房店

所員に据置貯金

小野寺所長が贈呈

小野寺所長は着任後所員を招待し懇談會を開く筈であつたが時節柄公私經濟緊縮を叫ばるゝ際でもあり且つ暑中でもある關係上、まらぬ飲食に浪費し身體の健康を害する樣な事ありては業務上にも影響するからとて招待を見合せ、其代りとして所員日支人五十名に對し七月十七日各自に若干の据置郵便貯金通帳を贈與し將來之を基礎として每月幾分の貯金を勵行し勤儉節約の美風を養成する事を奬勵せられたが所員一同の喜は勿論今後偉大なる效果を得べしと稱せらる

果樹組合打合

滿洲果樹組合にては十七日午前十時より地方事務所に打合會を開き左の諸件を附議決定した

一、共同販賣に關する件は努めて價格の維持と販路の擴張とを顧慮し消費組合に委託する外ハルビン長春奉天大連等の沿線に輸出する事

一、物品の共同購入は主として箱及材料なるも全部組合にて共同購入する事となつた

一、常任理事として笠原民次郎氏當選就任した

消組理事會

當地消費組合にては十七日午後五時よりみどり旅館に理事會を開き種々打合をした

人事

▲小野寺地方事務所長 菱刈軍司令官の招待に依り二十日大石橋に
▲佐藤警察署長 同上
▲石井驛長 同上
▲松井守備隊長 同上

四平街

四日以來の降雨量

坪二石六斗餘

降り降らずみの鬱陶敷天候續いて一般市民は齊しく天を仰いでゐるが俄に霽さうな空模樣も見えないが大體去る四日より十七日まで四平街の地上坪當りにどの位の雨が降り注いだか今其の雨量を掲ぐれば

日	ミリ	升
四日	一七、八	三二、六七
五日	二、三	四、二一
七日	一、四	二、五六
九日	三、八	六、九七
十日	〇、九	一、六五
十二日	七、五	一三、七五
十三日	二六、五	四七、六六
十四日	〇、三	〇、五五
十五日	〇、五	〇、九二
十六日	五四、〇	九八、九八
十七日	二七、〇	五〇、五九

十一日間の坪當りの雨量は合計二石六斗四合七勺となると

哈市見學團 團員募集細目

既報當地方事務所社會課主催のハルビン見學團員募集方法は左記の如く決定した

●旅程 八月三日十六時三十五分四平街出發十九時三十五分長春着(同地滿鐵社員倶樂部に於て休憩)二十三時三十九分長春出發▲同四日八時〇分哈爾賓着(各所見學を終り一泊)▲同五日二十二時四十五分哈爾賓發(但し當日午前中は各所見物、午後は自由行動)▲同六日六時四十四分長春着(朝食後解散)

●經費 社外金二十圓見當(但し四平街長春間乘車賃金を含まず)▲社員(右金額より東支鐵道往復賃金を控除す)長春—哈爾賓寢臺付三等往復乘車賃金、宿泊、チップ、食費、車馬賃、諸所見物其他團體行動による諸經費

●募集人員 二十名(但し定員に充ちたる時は期日前と雖も締切)

●申込期間 七月卅日午後三時まで

●申込所 四平街地方事務所社會係

●申込金 金二圓

尚ほ社員は四平街長春間パス各自携行すると東支線無賃乘車證は社外線無賃乘車證貸與願(所屬庶務にあり)に記入の上當所宛入會申込と同時に添付の事

金州

爲替と貯金 あすから半日扱

金州郵便局及び驛前郵便所においては來る二十一日より八月三十一日まで一般官廳同樣爲替貯金事務の扱ひは午前八時より正午までに改正する

遼陽

西島貨物主任 小崗子驛長に榮轉

遼陽驛貨物主任西島廣吉氏は大連小崗子驛長に榮轉、後任は長春の貨物助役藤原龍一氏に任命の旨社報で發表された

杵淵小學校長 夏季講習會出席

大連彌生高等女學校において南滿教育會主催の夏季講習會には遼陽から杵淵小學校長が出席すと

石岡氏送別會

遼陽地方委員、輸入組合員其の他の有志は十九日午後五時半から正金酒家において地方事務所石岡係長の送別會を開催した

この母を見よ (六八)

日活現代劇臺本より 畸面座同人構成

桑木倭子の死—。

子供に對する「愛」を大きく掴まうとして結局握つたものが、こんな悲慘な「死」であつた。

彼女は、子供より他に何物をも愛する事が出來なかつた。

凡ゆるものに眼を與へる餘裕がなかつた—人は或は倭子を「弱い女性」だと觀るかも知れない、だが彼女は子供に對する愛に於て恐らく、斯うも「强い」人はないと言つていゝ位に强固なものを持つてゐた。

觀方によつては、同じような道程を辿り、異つた途を選んだ絆子の方が寧ろ「弱い」と言へるかも知れない。

—千呂は、倭子の死に逢つて心に或る轉換を感じた。

倭子は所謂生死の境界に立つような場合でも始終冷靜な自分を大事に守つてゐた、恰で不落な城壁を其の意志の周圍に築いてゐた、それがよし「明日の生活」に全然自信の持てない場合でも崩壞しようとはしなかつた。

家庭教師……。

造花工場……。

大村書店……。

働くも彼女が足を掛けた此の三つの階段は、勿論足許から崩れて行つた。

第一に……。

時代の敗走者

そういふ自分を發見した。

第二に……。

搾取階級の神の假面をつけて踊る虛僞の姿

その醜惡なる手段を見た。

第三に……。

利己!

顏み難い人の世の態を眼かに見せつけられた。

踏んで行かうとする途は悉く陷沒して行くのだつた。

然し最後まで倭子の意志だけはビクともしない、人に物をこふ事すら彼女は厭はしいとは思はなかつた、どたん場まで……彼女は立派な自分を保持してゐた。

その思想は「女大學」であつたかも知れない、然し夫を確固として握つてゐたゞけ倭子の偉い所だ何でもいゝ。

自分の信じてゐる途を、まつしぐらに突破する事の出來る人間は偉い。

自分の行つてゐる事に後悔を持たない人間、自分の姿を自信なげに時折返つてみるような事のない人間—それ程强い人生は恐らく無いだらう。

倭子は、あの紙幣を盜んだ時ですら自分を正しいと自信してゐたらう……。

死の瞬間まで、「子供への「愛」に專念した桑木倭子—彼女は、そして「偉大なる悲慘」のなかに死んで行つた。

正に……。

偉大なる悲慘だ!

千呂は、深く自分が今日まで辿つて來た薄弱な意志の軌道をよろ〳〵としてゐた生活を恥た。

「何んて出鱈目だつたらう」

—あたしは生き死の境界に立つた時、醉ッぱらひの滿村等に導かれて道を右にとつた、其處はシャンデリアの明るさがあつた、だが明るい處には常に影が附き纏つてゐた、倭子さんは生き死の境界に立つた時、あたしに逢つた、あたしは滿村等の傀儡みたいになつてあの人に右の道を勸めた、だがあの人は敢然として左の道を自ら選んで行つて了つた、左の道は暗かつたが暗い處には一切影がなかつた、あたしはあの人の行く末を案じた、案じられたようにあの人の行末は結句「行く處迄」ではあつた、だが何んといふ自信ありげな倭子さんの一生であつたらう。

絆子は、漸く人影の斑になつた線路の上で、永い間考へにふけつてゐた。

ふと—警官の佩劍の音が絆子の側へやつて來た。

彼女は急に永い物想ひから顏を振り上げた。

手帳を開いた警官の顏が、白く夜のなかに浮んだ。

その白い顏を見た瞬間、絆子は初めて倭子が殘して行つた遺兒の事が氣になり初めた。

「そうだ、ぼんやりしちやア居られないのだ」

急に轉換した心が、矢も楯も堪らない程、巾子の方へ走り出すのだ—彼女は、いきなり程近い民家の闇をめがけて駈出した「寫眞入江たか子」

新刊紹介

▲西洋哲學物語(下卷)(デューラント著村松正俊譯)最初の第六章では現代哲學の祖カントを說き、有名なる「純粹理性批判」「實踐理性批判」を始めとして彼の哲學を紹介し、第七章ではショーペンハウアー、第八章はハーバート・スペンサー第九章ではフリードリヒ・ニーチエを執筆してカント以後の代表的哲學者をそしてその哲學思想を、平易に讀み易く面白く紹介してゐる、而して第十章、十一章では現代の歐洲及びアメリカの哲學に筆を向けベルグソン、クローチエ、ラツセル(以上歐)サンタヤナ・シエイムズ・デュイ(以上米)を掠し來つて現代の歐米哲學思潮を明らかにしてゐる、尚ほ本著の特色はその書方が大衆的であることだ、實際面白く讀める哲學書である(四六版九百五十七頁東京神田今川小路アルス發行)

▲おれたちの歌(新興短歌聯盟編)無產勞働者の心の叫を集めた歌集(定價十二錢東京芝神明町七星社發行)

▲交通經濟(七月號)定價四十錢東京澁谷伊達町共社發行

▲新興文藝(七月號)定價二十五錢東京本鄉森川町紅玉堂書店發行

▲少女倶樂部(八月特大號)有益なものでは「少女物識り日記」面白いものでは「夏休み漫畫舟」「お話持寄り涼み臺」など例によつて面白い話、涼しい話可哀さうな話など夏休みの御孃さん中心に編輯されてゐる、他に大附錄として「日本名勝畫觀」十枚の色彩寫眞を添へてゐる(定價五十錢東京本鄉駒込坂下町大日本雄辯會講談社發行)

▲少年倶樂部(八月特大號)本册だけで三百頁餘の大册、熱血小說「一直線」愛國美談「最初の日本人」又は甲賀三郎の探偵小說大佛次郎の南海秘話、菊池幽芳の教育小說等全般に亙つて興味の深いものを滿載してゐる、しかも百十二枚のカードから成る貼込みブック一册は本當に素晴らしい附錄である(定價五十錢東京駒込坂下町大日本雄辯會講談社發行)

▲露西亞事情(百十三號)露國共產黨の近況並各國共產黨の概況(定價廿錢東京丸ビル露西亞通信社發行)

▲同仁(七月號)定價廿五錢東京神田北神保町同會發行

▲ベースボール・スコアブック(小泉葵南著)差替式のもの他に野球試合記錄法方の小册子を附す(定價四十錢東京日本橋兩國柳橋通り河內書店發行)

▲雄辯(八月號)學生大討論會「日米戰ふの日ありや否や」奇想天外漫畫納涼會、野球漫語「球は何故カーブするか」(新田恭一)等可なり目新らしい編輯である(定價五十錢東京本鄉駒込坂下町大日本雄辯會講談社發行)

▲婦選(七月號)定價廿錢東京麴町區麴町四—五 婦選獲得同盟發行

▲協和(三十號)環境より見たる滿鐵の前途(林君彥)淘汰と我等の所感(山本勝康)等(定價廿錢大連滿鐵社員會發行)

▲大乘(八月號)定價四十五錢京都紀伊郡堀內村其社發行

▲健康時代(八月創刊號)健康生活のパイロットとして創刊されたものである、けだし生存生活の激しい健康問題のやかましい現時にあつては適時の雜誌と言はねばなるまい、創刊號では「世界的選手織田幹雄の脚」「映畫女優及[illegible]を語る」「頭腦[illegible]する[illegible]轉換法」等其他盛澤山な有益かつ面白い讀物で埋めてゐる(定價卅錢東京京橋銀座西 實業之日本社發行)

▲[illegible]パック(八月號)定價廿錢東京巢鴨宮下[illegible]社發行